

テキチユウ	的中	たしかにあたる	テク	木偶	にんぎやう、一ーぼ
テキド	適度	ほどよきこと	テクシー	徒歩のこと、てくをタクシー	にもじつたもの
テキトウ	偶儻	すぐれたること	テグス	天蠶絲	糸の一種
テキニン	適任	そのやくにかなふこと	テクダ	手管	かけひきの手ぎは
テキバエ	出来映	出来上りのよきこと	テクテクス	徒歩主義	
テキハツ	摘發	あばき出すこと	テクニカル	Technical Term	術語
テキヒョウ	適評	適當な批評	テクニーク	Technique	技術、手練、藝
テキホウ	適法	法に適合し合法といふも亦同じ	テクニク	Technic	學術語、專門語、學術的、專門的事項
テキホッコ	適法行爲	法律の認めて保護する行爲例へば契約の如し	テクノポウ	傀儡	木偶、のろまなる人
テキホク	適法條件	強行法に違反せず又は公の秩序善良なる風俗に反せざる條件といふ意味	テクバリ	手配	したく、用意、部署
テキボツ	溺没	おぼれしぬ	テクモビル	徒歩のこと、テクをオートモビルにもじつたもの	
テキホン	敵本主義	「敵は本能寺にあり」から稱じ	テグリー	Degree	程度、等級、階級
			テクル		徒歩の意、てくてく歩くから出たもの

テグルマ	手車	人手でかつぐる車	テジョウ	手錠	手にはめる錠
テコ	挺	柄杓	テショク	手燭	小さき燭臺の如きもの
テコタエ	手應	わが手に應ずる感覺	テスウリ	手敷料	役所に手敷をかける爲めに支拂ふ料金をいふ、戸籍簿木下付の手敷料の如し
テコボコ	凸凹	でくぼくの訛	テスカミ	手掴	手で食物をつかむこと
テコマイ	手兒舞	踊の一種	テスキ	手透	てあき
テゴメ	手込	腕力で他人の身體などを自由にする事	テスギ	出過	さしでがましいこと
テコレー	デコレーション	裝飾	テスク・システム	Desk-system	机上に所要のものをすべて準備して、坐つたまゝ、あらゆる用を便するやうにした執務法、敏速に多くの仕事をすることが目的
テゴワイ	手強	てづよい	テスト	Test	試験、吟味、試運転
デザート	Dessert	定食で料理を終へてデザート・コースに出る食品、英國では果物と生菓子を用ひ、米國ではブディングを含む	テスベア	Despair	絶望、断念
デザート・コース	Dessert-course	食後・菓子・コーヒー、果物を用ひる時間	テスメリ	手詰	嚴重におしつめる
デザイン	Design	素描、大體の風姿形状を寫すこと、設計、意匠	テズリ	手摺	きかいずりに對して

テスル	手蔓	てがかり、たより	テツカン	鐵艦	鐵製のぐんかん	テツケツ	剔抉	ほりくじる
テゼイ	手勢	手まはりの兵	テツカン	鐵管	てつのくだ	テツケン	鐵拳	かたきこぶし
テゼマ	手挾	家または場所などのせまいこと	テツカン	鐵管ビール	水道の水をシヤレていふ	テツコン	鐵棍	鐵の棍棒
テダテ	手段	方法	テツキ	鐵船の甲板、汽車電車の昇降盤		テツサ	鐵鎖	てつのくさり
テタラメ	出鱈目	ではうだい	テツキユウ	鐵灸	鐵製で魚をあぶりやく具	テツサク	鐵柵	鐵のかき
テチガイ	手違	失敗	テツキョウ	撤去	とり去ること	テツサン	鐵柵	鐵のかき
テチヨウ	手帳	手帳	テツキョウ	鐵橋	鐵づくりのはし	テツショウ	鐵相	鐵道大臣のこと
テツ	鐵	金屬の名	テツキンコ	鐵筋コンクリート	建築上の一様式、梁柱等を鐵にし、その他をコンクリートで固めたもので、耐久堅固な建築法、近時洋式の大建築は大抵これによつてゐる	テツジョウ	鐵杖	てつのつゑ
テツイテ	手序	あることを行ふついで	テツクネ	手担	手でこねて作つた陶器	テツジョウ	鐵條網	戰時防禦物の名
テツカイ	撤回	取消、取戻、取りおぼしめ、例「世界的名作を風俗壞亂などの名目で撤回せよ」といふその筋の無理解には……」	テツケ	手附	買賣契約の際當事者から相手方(多くは買主)に金銭等をいふ、賣買の履行	テツセン	鐵扇	扇の一種
テツガク	哲學	Philosophy 宇宙全般を對象としてその根本的原理を研究する學問	テツケ	手附	買賣契約の際當事者から相手方(多くは買主)に金銭等をいふ、賣買の履行	テツソウ	鐵窓	鐵ばりのまど、牢屋

テツソ	姪孫	甥又は姪の生みたる子	テツド・タ	Dead type	飛行機が高空から地上に向つて急角度に下降すること、(死降)の字を當てる	テナシゴ	父無兒	私生兒
テツチ	丁稚	商店の小僧	テツド・ポ	Dead ball	投手の投げた球が打者にあたること、死球	テナ	テナ	高音を云ふ、テナールともいふ、また「我等のテナール」藤原義江といふが如く、この音色を有する獨唱家を指して云ふ場合がある
テツチヨウ	鐵腸	かたき心	テツド・マ	鐵瓶	器具の名	テナベ	手鍋	とりなべ
テツツイ	鐵槌	鐵のつち	テツビン	鐵粉	てつのこな	テナレル	手馴	つかひなれる
テツツキチ	手續遅延	勾引狀、勾留狀が遅れること	テツペン	鐵壁	堅城、金城	テニオハ	テニス	テニス
テツツキノ	手續ノ連鎖	手續のつらなり、つゞき	テツペン	天邊	あたま、いたゞき	テニス	テニス	テニス
テツツキホ	手續法	實證法に定められたる權利を實行するに付ての手續を定めた法律をいふ、民事訴訟法刑事訴訟法の如し	テツボウ	鐵砲	銃	テニス・コート	Tennis court	庭球場
テツテイ	鐵蹄	馬の爪にうつかなぐつ	テツメンビ	鐵面皮	はじしらす	テニモツ	手荷物	てまはりの荷物
テツテイテ	徹底的	表面だけでなく底まで、十二分に意を盡して	テツヤ	徹夜	よどほし	テヌグイ	手拭	手又は身體をふくも
テツトウ	跌宕	勢あること	テツリ	哲理	おくぶかい學理	テヌルイ	手緩	物事の始末がのろい
テツトウテ	徹底徹尾	終始、一から十まで	テテール	哲理	おくぶかい學理	テノモノ	手者	自分に従ふ者、手物は熟練したもの、お

デバ	出刃 刃物の名	テブクロ	手袋 手袋	デモ	「あれでも……か」の意、でも
デパート	デパートメント・ストアの略	テブリ	手振 手のうごかし工合、有様	デモイシヤ	庸醫者 へたないしや
デパートメント・ストア	Department store 百貨店、一商店内に幾多の部局を設け、百般の需要に應じ得る施設のある店をいふ、三越、松屋、白木屋等々	テベロブメント	Development 發達、發展、開發、(寫眞)現像	デモクラシ	Democracy 普通「民主主義」或は「民主主義」と譯されてゐるが、その一般にはこの二つは同一のものであると解せられてゐるが、兩者の間には大きな差がある、即ち民主主義に於ては、主權者人民の方では必ずしも人民でなく、本位として、その利益幸福を増進することを主張する政治である、即ち立憲制度に依つて、(專制制度でなく)政治を行ふことを要する、この點でも兩者共通である
テハズ	手筈 手順	テホドキ	手解 始めて教へること	デモクラチ	Democratic 民主主義の、民主黨の
デバナ	出端 はじめ、出ぎは	デマエ	出前 料理を注文したる人に調理して送ること、又其料理	デモクラツ	Democrat 民主主義者
デバル	出張 前へ突き出す	デマゴギズム	Demagogism 群衆煽動(主義) 義(主義)	デモチブサ	Democrat 民主主義者
デバル	出張 前へ突き出す	デマドヒ	手惑 どうしようかとまどこと	テモチフサ	手持無沙汰 何も爲さず、れづなること
テビカエ	手控 おぼえがきの帳面	テマネキ	手招 手で招くこと		
テヒドイ	手酷 てづよくあらあらし	テマリ	手毬 おもちやのまり		
テビル	Devil 鬼、悪魔、極悪人	テマワシ	手廻 準備		
テビロ	手廣 構へ廣し、事多し、交際廣し	デマンド	Demand 要求、請求、需用		
デフイニシヨ	Definition 定義、限定	デミセ	出店 本店のわかれ		

テモト	手元 手許	テラコヤ	寺小屋 維新前まで庶民教育たる諸書、習字など教へし處	テレグラム	Telegram 電信、電報
テモドリ	出戻 もとへかへる、一	テラコシヨ	寺小姓 住持の侍に仕へる童子	テレタイプ	Teletype 電信機とタイプ、ライターとが一つになつたもの、即ちタイプライターの使用すれば、それが直ちに受信局に通じ、同時にその文言をタイプライターの表示す装置になつてゐる、最近の發明
テモリ	手盛 自分又は味方のため、優に利益を計ること、自分で飯を盛り、多少とも、自分で手なるよりいふ	テラス	照 月の明かに及ぶ義、日照に同じ	テレフオー	Telephone 電話
デモンストレーション	Demonstration 示威運動、元々軍事用で、軍隊がその威力を示し攻撃の意を表明して敵を威怖せしめる	テラス	光 「ヒカリ」と訓み轉じて光のてりかややく義となる	テレン	手練 てくだ
レイシヨ	レイシヨ	テラス	鑑 光のかやみにうつる義	テロ	テロリズム、テロリストの略
デューティ	Duty 義務、本務、税	テラセン	寺錢 賭博開帳者が博徒の各人からとる手数料場代をいふ	テロス	Stereo の説、鉛版
テラウ	街 みせびらかす	デリカシー	Delicacy 優美、きやしや、美妙、緻密、例「顔は奇麗だが、惜しいことにデリカシーなところが無い」	テロリスト	Terrorist テロリズムを實行
		デリケート	Delicate 優しき、柔かな、繊細な、手際よき		
		テリョウリ	手料理 家庭でこしらへた料理		
		テレヴィジョン	Television 電送活動寫眞、物體の活動する現狀を、電		

テロリズム	Terrorism	革命主義、元來凶暴、凶暴政治の意であり、即ち機打、暗殺等の過激な手段によつて政治上、社会上自己の主張を貫徹せんとする主義方針をいふ
テロル		暴力行為に出ること、腕力に訴へること、やつつけることである、労働運動等の際つたら、いよ／＼テロルとにしようぜしなど使はれる
テワケ		手分 部署、分擔
テワタシ		手渡 相手方に直接渡す
テン		點 ぐぎりのしるし、點數を數へるにいふ語
テン		紹 けもの名
デンアツ		電壓 電動力のこと、二つの導線上に於ける電位の差
テンイ		天威 天子の威光
デンウ		殿宇 ごてん
デンエンシ		田園詩人 田園(田舎)に住み、又は田園の天然自然を主としてうたふ詩人
デンエント	Carderolm	田園都市 所謂都會生活を斥け、田園を中心とした清新な市民生活をなすために、田園の風致、農村趣味を骨子として經營される都市
テンオン		天恩 天子の御恩
テンカ		點火 火をつけること
テンカ		轉訛 ことばのなまり
テンカ		添加 そへくはへる
テンカイ		轉嫁 再嫁、責任又は負擔を他におけすこと
テンガイ		展開 ひらくこと
テンカイ		展開 ひらくこと
テンガイ		天涯 そら
テングイ		天蓋 寺院の法具の一、又あみがき
テングク		轉學 甲校生が乙校に轉ずること
テングン		癩癩 病の名
テングン		展觀 ひろげみる
テングン		轉換 いれかへる
テングン		點眼 めに薬をさしこむ
テングン		轉官 甲官に在る者を乙の官に轉ぜしむること
テングン		天機 神のひめごと、天子の御機嫌
テングン		轉義 同じ語が違ふ意味になること
テングン		轉歸 病氣が全快し又は病人の死亡したること
テングン		轉機 物事の變り目、方向の變換
サクブツ		電気工作物 爲めに設けられたる建物、電線、電柱、

デンキシヤ		發電機、變電機其他各種の物件をいふ
デンキシヤ		電氣寫眞 電氣を應用して輕便迅速に仕上げらる寫眞
デンキトウ		電氣燈 電氣の作用で光を放つ燈、電燈
デンキヨ		轉居 住居をかへること
デンキヨウ		癡狂 きちがひ
デンキヨウ		轉業 業務をかへる
デンキヨホ		天氣豫報 あらかじめ天氣の變化を察してしらすこと
デンキン		天金 書物の上の切口に金箔をおいた製本の様式
デンキン		轉勤 勤め場所のかわること
テング		天狗 想像の鼻高動物、自慢する人
テングリカ		顛倒 さかさまに倒れる(テントウ)
エル		天啓 神のおしめし
テンケイ		典型 お手本とすべき型
テンケイ		天刑病 らいびやう
デンケキ		電擊 電氣に打たれること
デンケン		點檢 しらべあらためること
デンケン		點檢處分 物を能くしらべること
デンケン		天險 天然のけはしき所
デンコ		典故 ふるいこと、故事、故實
デンコ		點呼 よびしらべること
デンコウ		天工 天のわざ
テングク		篆刻 印に文字をほりつけること
テングク		典獄 刑務所の長となる司獄官をいふ、高等官である
テンス		碾茶 ひきちや、一をたてる
テンス		天災 地震、落雷、暴風雨、海嘯の如き自然力に
テンス		天才 生れつき持つてゐるはその人はその人
テンス		天災 天然の災
テンス		甜菜 砂糖をとるかぶら
テンス		天才教育 優秀な特質を有する兒童を、その性質に應じて十分に注意し指導して能く限りの天分を發揮助長せよとする教育、即ち天才をして更にその光と質とを教育によつて増大せしめんとするもの
テンス		天災事變 地震、大暴風、海嘯、落雷の如き自然力に依る出来事
テンス		添削 詩文などを直すこと
テンス		殄殺 ころしたやす
テンス		點竄 和算の代數學
テンス		天産物 天然自然に存在する物で人の衣食住

テンシ	天資	の用に供し得るものをいふ
テンシ	天使	天使の命を、例へば小兒の寝姿は、まるで天使のやうだ
テンジ	典侍	宮中に奉仕する最高の女官
テンジ	點字	盲人の讀むため作られたる文字の符號
テンジ	篆字	字體の一
テンジク	天竺	印度のこと
テンシヤ	天赦	天赦日、陰曆にて第一の吉日即ち何事もなすに吉なりといふ日、春は戊寅、夏は甲午、秋は戊申、冬は甲子とす(天社日)
テンジャ	點者	歌の評をつける人
テンシヤ	傳寫	うつしを更にうつす
テンシヤ	殿舎	ごてん、やかた
テンシヤキ	電寫機	Autotelegraph 電氣を利用して書寫の類を遠方へ書寫させる機械
テンシヤク	天爵	うまれつきえた才能
テンシユ	天守	城の木丸に高く設けた物見
テンジュ	天授	うまれつき
テンジュ	天壽	定まれる命
テンジュ	傳授	つたへさげけること
テンジュウ	填充	ふさぎみたすこと
テンシヨ	添書	そへ手紙
テンシヨ	轉所	勤める所をかへること、例へば東京地方裁判所判事とするが如し
テンシヨウ	篆書	書體の名
テンシヨウ	典章	おきて
テンジョウ	天壤	あめつち
テンジョウ	殿上	御殿のうへ
テンシヨウ	傳承	つたへきこと
テンジョウ	天井知らず	株値や物價が高くなつて、どの程度でとまるか分らぬの意
テンシヨク	天職	人間のつとめとしてなすべきこと
テンシヨク	轉職	官は其まゝで其職をかへること例へば府縣の書記官である警察部長を内務部長とするが如し
テンシヨバ	傳書場	文書を持運ぶはと
テンシン	點心	あひだぐひ、ちやう
テンシン	天真	生れついたらまゝのこ
テンシン	田紳	田舎紳士
テンスウ	點數	數字の多少によつて批點の高下を表はしたるもの

テンセイ	天性	うまれつき
テンセキ	典籍	しよもつ
テンセン	點線	點をつないだ線
テンゼン	恬然	へいきなこと
テンセン	電線	電氣を通す針金
テンソ	天祚	天皇のくらゐ
テンソク	填裝	彈丸をこめること
テンソク	傳送	つたへおくること
テンソク	傳奏	天子に上聞すること
テンソク	填塞	ふさぐこと
テンソク	纏足	足をくくつて發達を妨げる支那人の風習
テンソン	天孫	神の御子孫、瓊瓊杵尊の特稱
テンドー	Tender	柔かな、優しい、柔和な
テンタイ	轉貸	またがし
テンダイ	天台	佛教の一派
テンダイ	椽大	たるきの大きき、椽堂々たる大文章を草すること、又其文才
デンタツ	傳達	甲の意思を乙丙丁其他の人に傳ふること
テンタン	恬淡	心ののどやかなこと
デンチ	電池	電氣を貯へる器
デンチスト	Dentist	齒科醫
デンチャ	點茶	抹茶をたてる
テンチュウ	天誅	天罰にて殺さるゝこと
テンチュウ	天聽	天子の御耳に入るゝこと
テンチュウ	天長節	天皇の御誕生日
ウヨウジヨ	轉地療養場	肺病患者などが轉地療養をする場所
テンテキ	點滴	あまだれ
テンテツ	顛跌	つまづく
テンテツ	點綴	つゞりまとめること
テンテツキ	轉轍器	鐵道にて一線路より他線路に列車及車輛を移動するために設置する線路装置
テンテン	轉轉	ねがへり
ツンドラマ	Tendenzdrama	傾向劇、作家の持つてゐる主義とか思想とかを宣傳するために作られた劇、作家に或る思想を宣傳しようとする意圖なり成心があるもの
テンテムム	蝸牛	蝸牛の名、かたつわり
テント	Tent	天幕
テント	饑部	みやこをさだめる
テントウ	纏頭	藝人などに贈る物品
テントウ	典當	しちもつ

テントウ 轉動 さまじく、みだれ
 テンドウ 傳道 教旨をつたへひろめること、一師
 テンドウ 殿堂 寺や社のこと
 シュキ 傳統主義 Traditionalism
 ス・パレスの提唱、民族の傳統を尊重しその本質を保持してそこに民族の本質と個性とを求め、その主張と成長民族の特色を發揮し、文學上では、信仰習慣等を宗教上では、信仰習慣等を極端に重んずること、傳統に習慣

テントセイ 轉任 任務を轉ずること
 テント生活 夏季、高原林等に天幕を張つて、簡易な生活をすること、大自然のふところに抱かれて、自然の妙味を探り、また學術上保健上の種々な好果を目的とするもの、キャンピング生活

テネンカ 天然果實 物の用方に従つて採取する産物
 テネンカ 天然色活動寫眞 Kinecolor 三原色の光學を應用して、背景人物とも活動寫眞の色彩をあらはす活動寫眞
 テネンセ 天然生活 衛生に於いて、健康な現代生活から脱して、天然自然の間に悠々として、純潔自然にして清新な生活をすること
 テノビロ 天美祿 酒の異稱
 テノノ大權 天皇が他の諸國や裁判所に委任せられ、ないで親裁して、行政を行はれる權力をいふ
 テノノ體説 天皇が統治の主體の一なりといふ説、即ち天皇の一人

テンビン 天秤 ばかりの一種
 テンビン 天稟 うまれつき
 テンフ 添附 所有權取得の原因たる附合、混和及加工の三つの状態を併せて添附といふ
 テンフ 天賦 うまれつき
 テンフ 腎部 お腎の部分
 テンフ 田駄 食品の名、鯛一
 テンフク 顛覆 ひっくり返へすこと
 テンフクハ 顛覆破壊 汽車電車等をひっくりかへして破壊すること
 テンフケン 天賦權 人間が生れながら権利、即ち生命權、身體權、自由權等をいふ
 テンブテ 誘惑、誘導、引込み、煩惱
 テンブテ ショウテン

テンボラ 天鉄羅 揚物の名、轉じて即ち木ものでないの意
 テンブン 澱粉 葛粉、かたくりの類
 テンベラ Tempura 油繪具の一種
 テンベン 天邊 そらのけて、あたま
 テンベン 轉變 うつりかへること
 テンボ 店舗 店、商人の營業場所
 テンボ 典舖 しちみせ
 テンボ 田圃 たはた
 テンボ 填補 うめ合はせること
 テンボウ 展望車 沿道の風景情況等を自由に見られるやう特別の装置をした客車
 テンボウハ 傳法肌 いさみはだ
 テンボバイ 填補賠償 債務の全部又は一部を履行せず又は履行するもそれが不完

テンボリソ 全なるとき債權者に生じたる損害を賠償するを云ふ
 テンマ 填補利息 俗に單に利息とて、即ち債務者が債權者の金錢を利用する報酬として支拂ふ所の金錢を云ふ
 テンマ 天魔 ばけもの
 テンマ 傳馬 宿つき馬
 テンマク 天幕 天井にはりかざるま
 テンマーク Denmark 國名
 テンマツ 顛末 事の始終
 テンマド 天窓 屋根にあけてある窓
 テンメツ 殄滅 亡し盡すこと
 テンメン 纏綿 まとひつくこと
 テンメン 轉免 轉官、轉所、免官等をいふ
 テンモウ 天網 天のあみ

テンヤク	轉役	やくがへ	デンリョウ	田獵	野山の狩
テンヤク	典藥	昔時宮廷又は幕府などの醫藥を掌りし者	デンレイ	典禮	ぎしき、作法
テンユ	詔諛	こびへつらふこと	デンレイ	典例	儀式のこと
テンユウ	天祐	天のたすけ	デンレイ	電鈴	電氣によつて鳴らす
テンライ	天嶺	風のこ	テアハセ	手合せ	買賣契約を締結すること(取引所用)
デンライ	傳來	つたはり來ること	テイガクモ	定額戻入	仕佛命令官が一度仕佛命令を發したるも返納金ある場合に之れを現年度の歳入に租入れずして處理する方法
デンライ	傳來取得	繼承取得とも云物權又は債權を自己に繼承すること云ふ	テイカネン	低價年期	荒地が免租年期を經過した後尙ほ原租價に復し難き場合尙ほ一定年期間地租を軽減するその期間
シユトク	シユトク		テイキホケ	定期保險	一定の期間内に被保險者が死亡
テンラク	顛落	くつがへりおつる			
テンラン	天覽	天皇の御覽になること			
テンラン	展覽	ならべてみせること			
デンリユウ	電流	電氣が導線を傳はつて通すること			
デンリョウ	天領	天皇や將軍の領地			

補遺

ト	戸	家の出入口	ト	及	の如く上下同等軽重なし
ト	斗	一升の十倍	ト	兼	かぬる義より轉用、上重く下輕し
ト	門	建物の外側の出入口、水の流れの出入する處	ト	Door	戸、扉、正しくはドアー
ト	堵	宅地などの、まはりのかき	ト	度合	ほどあひ
ト	徒	かち、かちあるき、歩行	ト	Door-keeper	門衛
ト	外	そと、ほか	ト	樋	水をひくために設けたるもの
ト	努	弓の一種	ト	大息	暫く呼吸をやめて後
ト	奴	しもべ、やつこ	ト	砥石	刃物をとぐいし
ト	驚	にぶく劣りたる馬の驚	ト	獨逸	國の名
ト	度	さし、かくど、たび、ほどあひ	ト	Toilet	化粧室、便所、厠
ト	與	ふ辭、花與し月、我與し汝	ト	問	とひたづねる、訊也
ト			ト	訊	問なり問ふに言を以てひつめる意あり

テイチギョ	定置漁業	行政官廳の免許を業期一定地域の水面に漁具を敷設し又は建設して爲す漁業	テガタノワ	手形交換所	組合銀行が一定の場所
ギョウ			リビギ	手形の割引	「割引」を見よ
テガタコウ			テジマヒ	手仕舞	買賣の約あるもの
テジマヒ			テダイ	手代	主人の委任により其の營業に關する事項につき代理權を有するものと推定せられたる商業使用人の一種なり
テゾメカヒ	手詰買	手詰となつて少引ふので買戻しすること(取引所用語)	テンブツ	典物	買物の目的物、通常買物と稱す

トウ	詢	念を入れてはかりとふ也	トウ	塔	五又七石を積み上げて至るもの
トウ	杏	諸に同じ詢に略同じ	トウ	籐	植物の名
トウ	訪	ひろく相談する義、こ	トウ	臺	ふきのとう
トウ	塔	とから往きて謀り問ふ	トウ	東亞	亞細亞の東部
トウ	籐	植物の名	トウ	Door-engine	自動扉開閉機
トウ	臺	ふきのとう	トウ	Door-engine	自動扉開閉機
トウ	東亞	亞細亞の東部	トウ	Door-engine	自動扉開閉機
トウ	Door-engine	自動扉開閉機	トウ	Door-engine	自動扉開閉機

トウアサ 遠淺 海岸から遠くまで淺きこと
 トウアン 儉安 一時の樂をむさぼること
 トウアン 答案 試験の—
 トウイス 籐椅子 藤製のいす
 トウイツ 蕩逸 身を持つくずす
 ドウイツサ イメイ 同一罪名 刑法第五十五條の行爲が同一種類に屬する、といふ數個の行爲が同一種類に該當するを規定する法文に該當すること
 トウイト 唐糸 はくらのいと
 ドウイン 導因 原因
 ドウイン 動員 除隊の兵士を戰闘準備のため召集すること、今、軍隊以外にも轉用する
 ドウウ 堂宇 御堂
 トウエイ 冬營 軍隊の冬ごもり

トウエイ 投影 物體を或點より見たる形の平面圖
 トウエン 遠縁 遠い血の續き
 トウオンセ 等温線 等温度の地點を連ぬる線
 トウカ 踏歌 足ふみならして歌ふこと、おどりつ、歌ふこと
 ドウカ 同化 他の異つた性質のもの、自分の中に引入れて、自分と同じ性質にすること
 トウカ 登遐 天子の崩御
 トウカ 唐畫 からやうのゑ
 トウガ 凍餓 こごまらること
 トウガ 冬瓜 瓜の一種
 トウガ 燈蛾 ともしびに集つて來るかのこと
 ドウカ 銅貨 銅錢
 ドウカ 堂下 堂のした、又古へ武家の稱

トウガイ 當該 そのもの
 トウガイカ 當該官廳 權限ある官廳の檢束することを得る人民のある行政官廳は其所轄警察署長なるが如し
 トウカク 同格 同じ位
 ドウカク シヤ 道學者 道德學者、轉じて無視して、舊い道德を頑固に主張する人を、道學者といふは道學者流といふ
 ドウカツ 桐啗 しかりおどすこと
 トウカツ 統轄 と 一般的に支配すること
 ドウカセン 導火線 くち火
 トウガラシ 蕃椒 野菜の名唐辛
 トウカン 投函 ポストになげ入れること
 トウカン 盗汗 ねあせ
 トウカン 等閑 なほざり

トウガン 冬瓜 瓜の一種
 ドウガン 童顏 子供らしい顔
 トウキ 投機 株値又は物價の變動を見越して、巨利をつかまうとすること
 トウキ 陶器 せともの
 トウキ 投棄 ながすて
 トウキ 登記 登記所即ち區裁判所の登記簿に或こと例へば法人を設立したることを登録するをいふ
 トウキ 贖賈 物價の上ること
 トウキ 鬪技 わざをくらべて其優劣をたかかす
 トウキ 討議 意見をたかかす
 ドウキ 銅器 銅でこしらへた器具
 ドウキ 動悸 むなさきざき
 ドウキ 動機 違因に同じ、罪を犯すに至つた理由、目

ドウキ 動的 臨時に會議の席へ或出でて新議題とする
 ドウキ 閉着 防寒のためにきる短衣
 ドウキ 道義 人の行ふべきみちす
 トーキー Talkie トーキング・ピクチャー (Talking picture) の略稱、攝影に當つて機械による録音操作を経たフィルムを、映寫と同時に再生装置によつて、音響効果を現はす映畫である、サウンド・ピクチャーなどと云ふ
 トーキー フィルムの側方に發聲帶を持つフィルム式と、特になのトーキーによるレコード式めから終りまで、せりふ音樂音響をいれたものをオー・トーキーと云つてゐる
 トーキー 登記官吏 登記事務を取扱事又は區裁判所出張所の書記

トウキジ 投機事業 株式や米等の相場の事業をいふ
 トウキジ ム 登記事務 登記簿に關する法令等により登記所を爲す仕事
 トウキジ ム 登記所 登記事務を取扱ふ區裁判所又は其出張所をいふ
 トウキマツ ショウ 登記抹消 登記を消すこと
 トウキマツ ショウ 犯罪によつて他人の物が自分の物として登記したる場合に其登記を取消すが如し
 トウキメイ ギン 登記名義人 登記に依りて登録された人名を云ふ
 トウキユウ 討究 論じきはめること
 トウキユウ 等級 くらゐ
 トウギョ 統御 すべをさめる
 ドウキョウ 同郷 おなじくに

トウキョウ 道教 老子のをしへ
 トウギョウ 同行 同じく行くこと
 トウキョク 登極 即位
 トウキョク シヤ 當局者 其局に當る者。國は政府の地位に立つ人をいふ。
 トウキョノ シンゾク 同居ノ親族 一緒に住まふ族をいふ。親族の何であらうか。民法七二五條に規定してある。同居の兄弟姉妹の間の同居の伯叔父伯叔母姪の間の同居の如きをいふ。
 トウギリ 當限 株式の語
 トウキン 同衾 ともにねること
 ドウグ 道具 その道々につかう
 トウグウ 東宮 皇太子
 トウグシ 唐櫛 齒のこまかい櫛

トウグワ 唐鍬 鍬の一種
 ドウクンコ 同君國 二以上の獨立國が共同に同一人の君主を戴けるを云ふ。
 トウケ 峠 山みちの上りつめたる所
 ドウケ 同家 一家より岐れたる多數の分家ある場合に、一の分家より他の分家を稱する語
 ドウケ 道化 おどけ
 ドウケイ 鬪鷄 鷄を戦はすこと
 トウケイ 刀圭 醫家
 ドウケイ 憧憬 あこがれ
 ドウケイ 同慶 同祝
 ドウケツ 同穴 偕老—
 ドウケツ 洞穴 ほらあな
 トウケン 刀劍 かな
 トウケン 倒懸 さかさかぶらさげる

トウケン 桃源 安樂な仙境
 トウケン 洞見 みぬくこと
 トウケンレ 登舷禮 軍艦上の禮式
 ドウコ 銅壺 器具の名
 トウコウ 投稿 原稿をよせる
 トウコウ 陶工 陶器職
 トウコウ 投合 より合ふこと、相合ふこと
 トウコウ 瞳孔 虹彩にて圍まれたる眼球内の小孔
 トウゴウ 同行 ともにゆく
 トウゴウ 銅坑 銅をほりだすあな
 トウゴウ 東郷日和 海上のよきはれ
 トウゴウ 慟哭 聲をたて、なきさけぶこと
 トウゴウ 島國根性 しまくに—
 トウゴウ 唐胡麻 胡麻の一種
 トウゴン 刀痕 刀のきりきず

トウコン 痘痕 あばた
 トウサ 等差 同じちがひ
 トウザ 當座 さしあたり、そのば
 ドウサ 動作 ふるまひ
 ドウサ 禁砂 明礬を膠にとかしたものをいふ
 ドウザ 同座 同じ席にすわる
 トウサイ 搭載 船に乗せること
 トウサイ 當歳 生れた其年
 トウサイ 登載 かきのせること
 トウサイク 籐細工 藤で作つたもの
 ドウサツ 洞察 はかりさつする
 ドウサハン 動作犯 犯罪行為たる一定の結果あるのみならず、犯罪の成立する犯罪なり形式犯と同一犯罪なり

トウサン 倒産 財産を傾けること
 トウザン 唐棧 織物の名
 トウザン 遁散 のがれちる
 トウザン 逃竄 にげかくれること
 トウサン 動産 不動産でない一切の物。衣類、食物、商品類、自動車、電車、荷車、船舶等皆動産である
 トウサンシ チケン 動産質権 債権の代りとして、受取たる動産を占有し、その動産につき他の債権に先だちて償還を受ける権利即ち動産を目的とする質権を云ふ
 ドウサンノ センシユト 動産の先取特權 債権者の動産の上に存する先取特權なり。例「旅店の宿泊」は荷物の運送「公吏の職務上の過失」動産の保存及賣買「種苗又は肥料の供給」「勞務」等の原因より生じた先取特權がある

ドウサンノ タンボ 動産ノ擔保 借金のひき動産を買入れするが如きをいふ
 ドウサンノ バイノセ 動産賣買ノ先取特權 動産を賣渡したる買受人が、其代價及び利息を支拂はざる場合に賣渡人が賣渡したるその動産の上に有する特別なる先取特權
 ドウサンノ ホ 動産保存 債権者の動産とすることを防ぎ、又は其動産に關する権利が時効に罹らんとするを中斷したるが如し
 ドウサンノ ホ 動産保存ノ先取特權 債権者の動産を保存したる費用又は動産に關する権利の保存に要したる費用を支出したる者が、その動産の支上に有する特別の先取特權
 トウシ 投資 ある事業に資金を投ずること
 トウシ 透視 不透明な物を隔てて見る。千里眼

トウシ 透刺 さしとほす
 トウシ 凍死 こゝえじに
 トウシ 唐紙 紙の一種
 トウシ 唐詩 からうた、和歌の對
 トウシ 湯治 温泉などに入浴して
 トウシ 冬至 十二月廿二日頃
 トウジ 答辭 答の挨拶
 トウジ 統治 一國の元首が其國土
 トウシ 導師 引導をつとむる僧
 トウシ 動詞 文法の語、はたらき
 トウシ 動止 うごく、とまると
 トウシ 道士 道義を體得したる人

トウシ 瞳子 ひとみ
 トウシウチ 同士打 みかたどうしのあ
 トウシキ 等式 等號を以て二つの式
 トウシク 等軸 結晶體の軸の長さの
 トウジケイ ヤクセツイ 統治契約説 統治權の變
 トウジケン トウジケン 統治權 國を治むる權力
 トウサヨウケン トウサヨウケン 統治權ノ作用 國を治むる方法、形式であ
 トウジケン トウジケン 統治權の主體 統治權を
 トウシタイン トウシタイン 統治權の主體 統治權を

トウジシヤ 當事者 ある事に直接關係
 トウジシヤ 當事者間 相對立する者の
 トウジシヤ 當事者能力 犯罪嫌疑者
 トウジシヤ 同始祖 共同始祖の義、即
 トウシツ 刀室 刀のさや
 トウシツ 同質 おなじ性質
 トウシツ ショク 壽祀ノ職 おいのりや神式
 トウシヤ 射 射げる

トウシヤ 騰寫 文書圖畫をうつすこ
 トウシヤ 硝砂 鹽化アムモニウムの
 トウシヤ 堂舎 大小のいへ
 トウシヤ 瞭若 おどろきあきる、さ
 トウシヤバ 騰寫版 一種の油紙に鐵筆
 トウシヤ 頭首 かしら
 トウシユウ 踏襲 あとをふみつぐ、ま
 トウシユウ 銅臭 財貨によりて成功し
 トウシユウ 投宿 宿につくこと
 トウシヨ 答書 返事
 トウシヨ 當處 このところ
 トウシヨウ 凍傷 しもやけ

トウジョウ 搭乘 のりくむ
 トウジョウ 洞簫 笛の一種
 トウジョウ 道場 劍道一
 トウジョウ 同情 おもひやり
 トウジョウ 同時履行ノ抗辯 双務契
 トウシン 等身 からだとひとしい
 トウシン 投身 身なげ
 トウシン 燈心 燈油に浸してあかり
 トウシン 蕩盡 遊びことに金を使ひ
 トウシン 道心 菩提心、中年からの
 トウシン 同仁 ひとしくめぐむこと
 トウス 東司 禪寺の廁
 トウスイ 統帥 天皇が大元帥として
 トウスイ 統帥 陸海軍をひきみる給ふ

トースト Toast ことをいふ
 トウセイ 黨勢 黨の勢力
 トウセイ 同勢 共につれだつ人
 トウセイ 同棲 とともにすむこと
 トウセイ 動靜 活動振、様子、消息、
 トウセイ 同性愛 男同志又け女同志
 トウセイ 當世向 今の世に適する時
 トウセキ 黨籍 黨員たる名籍
 トウセツ 當節 このごろ、當今、當
 トウセン 當籤 くじにあたること
 トウセン 登仙 仙人になつて天への
 トウゼン 東漸 次第に東へす、み行

トウゼン	陶然	酒に酔て心の何とな く樂しきこと
ドウセン	銅線	銅のほりがね
シヨウセンソ	當選訴訟	選挙に於て落選 者が當選者を相 手取つて當選の無効 裁判を相 裁判所に求める訴訟
トウソ	登祚	天子の御位につかせ られる
トウソ	豆素	レグミン
ドウゾ	何卒	なにとぞ
トウソウ	黨争	黨派の争
トウソウ	鬭争	喧嘩、争ひ
トウソウ	痘瘡	ほうそうといふ病氣
トウソウ	凍瘡	しもやけ
ドウゾウ	銅像	銅でつくつた肖像
ドウソウカ	同窓會	同窓たりし人の集 合
イカシヨウケ	痘瘡經過證	醫師が其診 察したる場合に 痘患者の全治したる場合に 交付する書面
トウゾク	盜賊	ぬすびと
トウソク	黨則	黨の規則
トウソツ	統率	すべひきめること
ドウソン	同村	おなじむら
トウタ	淘汰	えりすぐること
ドーター	Daughter	少女、娘
トウタイ	凍餒	うまごゆること
トウダイ	燈臺	あかりだい、燈明臺
トウタイ	導體	熱或は電氣を傳ふる 物體
トウタツ	到達	とどく
トータル	Total	合計、總數、全體
トウダン	登壇	演壇に上ること
ドウダン	同斷	同様
トウ・ダン	Toebance	指先で身體の鈎 合ひをとりながら踊るダン スの一 種
トウチャク	到着	いたりつくこと
ドウチャク	撞著	あとさきのそろはぬ こと
ドウチュウ	道中	途中
ドウチヨウ	道廳	道の事務を處理する 役所
トウチヨウ	島廳	島地の事務を處理す る官廳
トウチリメ	唐縮緬	メリンス
トウツウ	疼痛	うづきいたむ
ドウツキ	胴突	健築のとき礎の下な どをつきかためるこ と
トウテイ	到底	つまるところ
ドウテイ	童貞	女の肌をしらぬこと
トウテツ	透徹	すきとほる
トウデン	答電	へんじの電報
トウデン	盗電	電氣を盗み使ふこと
トウデン	唐土	もろこし
トウド	陶土	やきものにするつち

トウトウ	萎靡	たいこのおとの形容
トウトウ	蕩蕩	水のひろくした形 容
トウトウ	滔滔	水の盛にながれる形 容
トウトウ	到頭	おしまひに
ドウトウ	同黨	おなじなま
ドウトウ	堂堂	いかめしい形容
トウトク	統督	統一し監督するの意
トウトシ	尊	卑の反對、たふとび敬 ふ義、徳と爵とを 三達尊と云ふ
トウトシ	貴	賤の反對、位の高き也 又上品として重んずる 也
トウトシ	崇	重也高貴也、たふとび 迎へ意
トウトシ	上、尙	たふとびて上座に 置く意
トウトシ	宗	木家としてたふとぶ義
トウトツ	唐突	だしぬけ
トウドリ	頭取	かしら、銀行又は組 合などの、代表者
トウナス	唐茄	南瓜
トーナメ	Tournament	(多數競技者間 の)試合、(選手権争奪の) 大試合、多く、足球の試合 にいふ
トウナン	盜難	盜賊にあつたこと
トウニク	凍肉	凍らした肉
トウニユワ	豆乳	Soy-bean milk 豆腐、牛乳に代用さ れる
トウニョウ	糖尿病	腎臓より多量の葡 萄糖を分泌する新 陳代謝病
ドウヌキ	朋抜	賈物の朋へ他のきれ た用あること
ドウネン	道念	道を求むるの念
トウノイモ	唐芋	いもの一種からいも
トウノウ	豆羹	豆ぶくろ
トウハ	踏破	ふみやぶる
トウハ	黨派	徒黨のわかれ
トウバ	塔婆	そとば
ドウハ	道破	完全にいひあらはす
ドウハイ	同輩	なま
ドウハイ	銅牌	銅製の賞牌
トウハツ	頭髮	かみのけ
トウバツ	黨閥	同じ黨派の者のみの 榮達を圖つて、他の 進路を妨害すること、閥
トウバツ	盜伐	立木を盗み伐ること
トウバツ	討伐	うつ
ドウハン	同伴	つれだつ
ドウハン	同藩	おなじ藩
ドウハン	銅版	印刷版の一種
トウヒ	橙皮	だいだいのかは
トウヒ	當否	あふかあはぬか
トウヒ	等比	二つの比の等しきこ と

トウヒツ	唐筆	支那のふで	トウブツ	動物虐待	舶來品 牛馬其他の動物をむこく取扱ふこと	トウホン	贖本	室、機關室の噸數を除きたる殘餘の噸數を云ふ
トウヒョウ	投票	一定の用紙に候補者の氏名を書いて定められた箇に投げ入れらるをいふ	ダブルイ	胴慄	身體のぶるぶるふること	トウマキ	洞卷	腹にまきつけるほそ長い袋
トウヒョウ	凍氷	氷のこと	トウペン	等邊	邊の長さのおなじいこと	トウマゴエ	洞間聲	調子はづれの大聲
トウビョウ	投錨	船舶がいかりをおろすこと	トウヘンボ	答辯	いひひらき	トウマチク	稻麻竹葦	物の入り亂れたるさま
トウビョウ	痘苗	種痘の材料	トウボ	登簿	帳面にのせること	トウマワシ	遠廻	ちかでなくよそごとからきかせるやうにする
トウヒョウ	投票區	選挙人が投票を爲すべき場所即ち投票所の管轄區域をいふ	トウボエ	遠吠	犬等が遠くで吠へること	トウミ	唐箕	農具の名
トウヒン	盜品	盜賊から盜まれたる物品	トウボウ	當方	この方	ドミトリ	Dormitory	寄宿舎
トウフ	豆腐	食物の名	トウボウ	逃亡	にぐるること	ドクミン	トクメイ	透明
トウフ	糖楓	砂糖を採る楓	ドクボウ	同胞	はらから	トクメイ	トクメイ	同盟
トウフカラ	豆腐滓	おなじ母から生れたること	トウボト	登簿噸數	船舶の總噸數より乗組員の常用	トクメイカ	トクメイカ	同盟解雇
トウフク	同腹	支那又は其他の諸外國より渡りたる物品	トウボト	登簿噸數	船舶の總噸數より乗組員の常用	トクメイカ	トクメイカ	同盟解雇
トウブツ	唐物	支那又は其他の諸外國より渡りたる物品	トウボト	登簿噸數	船舶の總噸數より乗組員の常用	トクメイカ	トクメイカ	同盟解雇

トウメイコ	同盟國	第三國に對する政治的防衛を共にすること、或は又攻撃及防衛を共にすること、國際條約に依りて締結したる國家と國家を謂ふ	トウモク	獠猛	たけんししい	トウリヤク	船略	戰の計略
トウメイジ	同盟條約	利害關係の共通の外國に當らんとする條約を云ふ	トウモク	頭目	かしら	トウリユウ	逗留	とどまること
トウメイヒ	同盟罷業	他人の爲め勞務種の條件を資本主に對して要求すべく協同團結して勞務を停廢することを云ふ	トウヤ	陶冶	生育する、養成すること	トウリョウ	棟梁	かしらだつもの
トウメイヒ	同盟罷工	同盟罷業に同じ	トウヨ	黨與	なまき、くみ	トウリョウ	統領	人のかみにたつ人
トウメイヒ	遠眼鏡	遠方を見るめがね	トウヨク	登庸	あげ用ゐること	トウリョウ	同僚	どうやく
トウメイヒ	童蒙	幼年	トウヨク	童謡	子供のうた	トウリョウ	動力傳導裝置	電力の如きを或場所までひつぱつて來る設備
トウモク	童蒙	幼年	トウヨク	桐葉章	勳章の名	トウリョウ	登臨	下をみおろすこと
トウモク	童蒙	幼年	トウヨク	桐葉章	勳章の名	トウリョウ	通	窮、塞の反對、よく通ひて塞がることなき也
トウモク	童蒙	幼年	トウヨク	桐葉章	勳章の名	トウリョウ	亨	屯の反對、すらすらと行く也
トウモク	童蒙	幼年	トウヨク	桐葉章	勳章の名	トウリョウ	徹	すらりとうちぬけてとほる也
トウモク	童蒙	幼年	トウヨク	桐葉章	勳章の名	トウリョウ	透	徹也通也、向うの見えらるやうにぬけとほる也

トウル 洞 「ホガラカ」とも訓み、つきとほる也
 トウルイ 黨類 おなじたぐひななま
 トウルイ 糖類 砂糖類
 トウレイ 答禮 禮をかへすことあいさつ
 ドーレー Doremi 音階の唱へ方、即ち、1.2.3.4.5.6.7.をド(Do)レー(Re)ミー(Mi)ファー(Fa)ソー(So)ラー(La)シ(Si)とす
 トウロ 當路 要路にあたること
 トウロ 頭顱 あたま
 ドウロ 道路 一般通行の爲に設けられたる土地の區劃を謂ふ、營造物の一たる公用物
 トウロウ 燈籠 火をとます具
 トウロウ 螳螂 かまきり蟲

ドウロカン 道路管理權 道路を保存し、修理して公衆の使用に供する機能をいふ
 トウロク 登録 戸籍簿其他の公の帳簿に記載するをいふ
 ショウクイ 登録意匠 或る意匠を専用する目的を以て公の帳簿に登録したる意匠を云ふ、而して其権利者は此の專用に關し第三者に對抗することを得
 トウロクシ ヨウビヨウシ 登録商標 自己の商品なるが爲め商標を専用する目的を以て商標の登録を受けることと其の商標を登録商標と云ふ
 トウロクセ 登録税 登記を申請する際に印紙を貼用して納むる税
 サツ 道路警察 道路に於ける通行の安全を期し、道路上に於て公安風俗衛生を害するが如き行為の行はるゝを防止警察作用
 ソク 道路壅塞 仕舞ふこと
 トウロン 討論 論じあふこと

ドウワ 童話 おとぎばなし
 トウワク 當惑 思案にくれること
 ドウワスレ 胸忘 ふと忘れていかにも思ひ出されぬこと
 トーン Tone 調子、口調、語調
 ドエキ 奴役 奴隷のする様な仕事
 トガ 都雅 みやびやか
 トガ 答 科、つみ
 トガ 榊 木の名又ツガ
 トカイ 渡海 うみをわたる
 ドカイ 土芥 つちあくた
 トカイ 土塊 土くれ
 ドガイ 度外 心にかげぬこと
 ウカイビョ 都會病 都會の強烈喧騒な方面に受けて、神經肉體兩面に過敏なる然も過度の勞働と煩雜な生活の困難

トカキ 斗掻 升の上をたひらにせる小棒
 トカク 兎角 ば 左右、や、ともすれば
 トカケ 蜥蜴 子 蜥蜴類の爬虫、石龍子
 トカス 溶 水でとがす、金でとがす、熔……火でとがす
 トガマ 利鎌 よく切れる鎌
 トガメル 咎 なじる、せむ、たがす
 トガル 尖 先がするどくなる
 トキ 関 鯨波
 トキ 齋 僧の食事
 トギ 研 とぐこと
 トギ 伽 人の相手をすること
 トキ 怒氣 いかり

トキイロ 鴉色 薄紅の灰色を帯んだ鴉の翅のやうな色
 トキオリ 時折 たまには
 トキンシ 時折 腐敗した動植物の中に含まれる毒性のアルカロイド、毒素
 トギス 螳螂 かまきり
 トキツカゼ 時津風 時になへる風
 トギユウ 屠牛 牛をほふること
 ドキユウカ 弩級艦 ドレッドノート型
 トギョ 鯨魚 しみむし
 ドキョウ 度胸 物事に臨せざる意氣
 トキワ 常磐 永久かへらぬ意
 トキワズ 常磐津 日本音聲の一派、磐を盤に作るは誤り
 ドキョウ 讀經 聲をたて、經文を讀むこと

トキン 賭金 ばくちにかけた金
 トキン 鍍金 めつき
 トキン 兜巾 山伏の頭につけるもの
 トキンノハ 鍍金ノ剝脱 めつきのはげたること
 トク クダツ 徳、心に得て行爲にあらはるゝこと
 トク 解 ほどく、せつめいする
 トク 疾 はやく
 トク 研 磨、刷、磨
 トク 淘 磨りて水で洗ふ、米を漸く
 トクイ 得意 意のまんぞくしたこと
 トクイク 德育 道徳的本能を開發して品性を陶冶し倫理的義務の觀念を完全にすることを目的とした教育、智育、體育に對していふ
 ドクエンカ 獨演會 講談又は落語の類を單獨でする會

ドクワ	毒牙	毒を有する牙、毒辣なる手段	ドクザ	獨座	ひとりですわる	トクシユケ	特殊警察	各種の助長行政を補助するに於て、警察官を補助するに當り、森林警察、衛生警察、産業警察の如し
ドクカイ	議會	議場に於て議案の討論、議決の準備として、議案其の他の討論を爲す手續を云ふ	ドクサイ	獨裁	帝王の意の儘に政を行ふ	トクシユコ	特殊小學校	貧民階級の子弟の爲めに、特殊の施設（職業教育等）をした小學校
トクガク	篤學	學問に忠實なること	トクサク	得策	利のあるばかりごとあつきこゝろざし	トクシユホ	特殊の財産權	物權及債權以外の特許權、實用新案權、商標權等、其他種類頗る多し
ドクガク	獨學	ひとりりまなび	トクシ	篤志	特別のおぼしめし	トクシユホ	特殊法人	公益法人又は營利法人のいづれにも屬せしむることを得ざる法人、例、産業組合の如し、農會法、取引所法等、其他種類多し
ドクガス	毒瓦斯	敵を窒息させるため、放出する有毒ガス、歐洲大戦に獨軍がはじめて用ふ	トクシ	讀師	歌會でよみあげる人	トクシユホ	獨唱	(音楽)一人で歌曲を歌ふこと、合唱の對特色
ドクガスダ	毒瓦斯彈	砲丸中に毒ガスを爆發と同時に毒ガスを發散する装置のもの	トクシ	特質	特別の性質	トクシユホ	獨唱事件	官公吏がその職務その他の不正行為をすること
ドクガン	獨眼	かため	トクシ	毒手	殺害のしわざ	トクシ	得心	承知すること
ウツクギキョ	德義狂	殆んど病的に一定の犯罪を好む者、放火狂色情狂の如し	トクシ	讀誦	經文をよむ	トクシ		
ドクギン	獨吟	獨り詩歌などを吟ずること	トクシ	毒手	殺害のしわざ	トクシ		
トクサ	木賊	草の名	トクシ	讀誦	經文をよむ	トクシ		

トクシン	特進	一將校	トクソク	得喪變更	權利を取得し又喪といひ、權利を他人に移しむるとか、一部を消滅せしむるとか、いふことの変更といふ	トクテイ	特定物	取引をする際この指定せられたる物をいふ
トクセイ	徳政	よいせいざ	トクソク	督促	うながしさいそくすること	トクテン	特典	特別な恩典
トクセイ	特製	とくべつの製造	トクタイ	期待	特別あつかひ	トクド	得度	佛道に歸依する
トクセキ	督責	せめうながすこと	トクタイ	期待	特別あつかひ	トクド	得度	佛道に歸依する
トクセツ	特設	とくべつに設ける	トクタク	徳澤	めぐみ	トクド	得度	佛道に歸依する
トクセン	特選	特別のえらび	トクタク	徳澤	めぐみ	トクド	得度	佛道に歸依する
トクセン	獨善	自分一己の善をはかること、一主観	トクタク	徳澤	めぐみ	トクド	得度	佛道に歸依する
ドクセンケ	獨占權	自分獨りでせしめる權利	トクタク	徳澤	めぐみ	トクド	得度	佛道に歸依する
トクソウ	徳操	道徳性、美德	トクタク	徳澤	めぐみ	トクド	得度	佛道に歸依する
トクソウ	得喪	えるとうしなふと	トクタク	徳澤	めぐみ	トクド	得度	佛道に歸依する
ドクソウ	獨創	模倣でなく、自分の力によつて新機軸を出すこと、創作すること	トクタク	徳澤	めぐみ	トクド	得度	佛道に歸依する
ドクソウ	獨奏會	ひとりでする演奏會	トクタク	徳澤	めぐみ	トクド	得度	佛道に歸依する
トクソウ	獨奏會	ひとりでする演奏會	トクタク	徳澤	めぐみ	トクド	得度	佛道に歸依する
トクソウ	獨奏會	ひとりでする演奏會	トクタク	徳澤	めぐみ	トクド	得度	佛道に歸依する

トクソウ	獨創	模倣でなく、自分の力によつて新機軸を出すこと、創作すること	トクソウ	獨創	模倣でなく、自分の力によつて新機軸を出すこと、創作すること	トクソウ	獨創	模倣でなく、自分の力によつて新機軸を出すこと、創作すること
トクソウ	獨奏會	ひとりでする演奏會	トクソウ	獨奏會	ひとりでする演奏會	トクソウ	獨奏會	ひとりでする演奏會
トクソウ	獨奏會	ひとりでする演奏會	トクソウ	獨奏會	ひとりでする演奏會	トクソウ	獨奏會	ひとりでする演奏會
トクソウ	獨奏會	ひとりでする演奏會	トクソウ	獨奏會	ひとりでする演奏會	トクソウ	獨奏會	ひとりでする演奏會
トクソウ	獨奏會	ひとりでする演奏會	トクソウ	獨奏會	ひとりでする演奏會	トクソウ	獨奏會	ひとりでする演奏會

トクリヨク 獨力 ひとりのちから
 トクレイ 奮勵 とりしまりはげます
 トクレイ 特例 とくべつな例
 トクロ 蟻局 虫の屈まり行く貌
 トクロ 欄 されからべ
 トゲ 刺 草や木のはり
 トケイ 徒刑 舊刑法にて重罰に科する主刑の一
 トゲザ 土下座 大地にひざまつきて禮すること
 トケツ 吐血 血をはくこと
 トケン 吐鵝 ほとぎす、鳥の名
 ドコ 何處 いづこ
 トコウ 渡航 外國に行くこと
 トコウ 渡口 わたしば、渡頭
 トコウ 左右 とやかく
 トコウ 土寇 どひ、ひやくしやう一揆

トゴウ 怒號 いかりさげぶこと
 トコシエ 長 とこしなへ
 トコシナエ 常 長
 トコスレ 床擦 蒼敷、長類ひの擦腰などにできるくま
 トコナツ 常夏 いつも夏であること
 トコフシ 常節 あはびに似たより小さな貝
 トコヤミ 常闇 永久にくらきこと
 トコヨ 常夜 つねに夜なこと
 トコヨ 常世 とこしへ、一の國
 トコロ 野老 蔓草の名
 トコロ 所 方角と場所の二義を兼ぬ、助動詞に用ひて物を指すの辭、又見、被の二字と共用す、又下に置きて「ホド、バカリ」などと譯す
 トコロ 處 場所をいふ、所よりは重し、處は古字
 トコロ 攸 所と同じ

トコロ 許 「ホド」バカリ」と譯す
 トコロエガ 所得額 こころとばかりに
 トコロテン 心太 夏の食品の名
 トザイ 賭財 ばくちに於て金品をかけること
 ドザエモシ 土左衛門 水死人の異名
 トサカ 鳥冠 鶏、雉など頭部に露出せる肉質の冠狀物
 トザス 鎖 戸をとぢ錠をおろす
 トザマ 外様 從臣、藩代の反
 トザンネツ 登山熱 近ごろ學生その他山嶽の間を跋渉すること、漸々盛になつて、一種の流行性を帯びて來た、その傾向をいふ、例「登山熱に浮かされ、猫杓子も山のぼり」
 トシ 徒死 いぬじに
 トシ 敏 さとりばやし
 トシ 疾 速也急也すばやき也

トシ 迅 疾と略同じ、迅疾と用ふ
 トシ 速 速の反對、スミヤカと訓みてはやき也
 トシ 敏 さとくして速かなる也
 トシ 捷 手ばやくしてすばしこき也
 トシ 駿 鈍からずしてはやき也
 トシ 利 鈍の反對、きれ味のよき也
 トシ 銳 鈍の反對、きつさきのするどき也
 トシ 緩 とぢること
 トシ 徒爾 いたづらこと
 トシ 刀白 婦女の稱、老母の尊稱
 トシ 途次 みちのついで
 トシ 賭事 賭博をやる者の動作以外、來事によつて勝收の較る、ばくちをいふ、相撲のかけをするが如し
 トシカサ 年嵩 年齢の多いこと

トシケイカ 都市計畫 都市の道路交通限をつけ、また全市を商業區・工業區・住宅地等にわけ、それに公園や娯樂機關等を適宜に配置して、秩序正しく氣持よく且衛生的、文明的にする目的で、種々の改良案を立てること
 トシコシ 年越 としをこえ新年に移ること、節分の夜又は大晦日の夜
 トシコム 閉籠 戸をとぢおしこめる
 トシコム 緩込 多くの書類を一にとぢること
 トシマ 年増 年のふけた女
 トシマリ 戸締 戸のしまり
 トシメ 緩目 本などのとぢたるところ
 トシヤ 吐瀉 はきくだし
 トシユ 徒手 からて、すで
 トシユツ 吐出 はきだす

トシヨ 屠所 牛、馬等を殺す所
 トシヨウ 徒涉 ちかにて水をわたること
 トシヨウ 徒消 むだづかひ
 トシヨウ 斗筭 一斗二升をいれる竹、器、轉じて器量の小なる人をいふ
 トシヨウ 屠場 牛馬羊豚をつぶす所
 トシヨウ 登城 おしろへ出仕する
 トシヨウ 都城 都市でしろのある所
 トシヨウ 土壤 つち
 トシヨウ 途上 みちなか
 トシヨウ 泥鱈 魚名
 トシヨウ 圖書館 圖書を蒐集し公衆めに設けたる營造物
 トシヨウ 徒食 あそびぐひ、みぐひ
 トシヨウ 圖書出版 著作物を作つて有償又は無償に

トツコウ	特效	特別のききめ	トツブ	トテシヤン	とてもしヤン、即ち顔る美人の意	トトク	都督	すべ卒あること
トツコツ	突兀	高くそびえる	トツプ	トテツ	途轍	トドケシヨ	屈書	とどけがき
トツサ	咄嗟	しばし	トツベン	トテモ	途	トドコウル	滯	つかへる
トツシン	突進	つきすすむこと	トツメン	トテモロ	女學生流行語、非常にと云ふこと	トトノウ	調	よく和合する義、調和、調合
トツツキ	初端	はじめ、しよつばな	トテイ	トテラ	襦袍	トトノウ	整	齎也、物を束ねて又少し整ちて正しくそろへる意
トツテ	取手	とりての音便	トドイ	トテラ	著物の上に着る綿入	トトノウ	齊	整也、出入なく一様にそろふこと
トツテイ	突堤	波止場	トドク	トテラ	都都逸	トドマル	勻	物の萬べんに、むらの無き也
トツバ	突破	「...」以上に達する見客、午後二時までに二十萬を突破した	トツ	トテラ	俗歌の一種	トドマル	楸松	えぞまつ
トツバツ	突發	思ひがけず突然におき(生ず)るの意例「某重大事件突發のため」	トツ	トテラ	怒濤	トドマル	止	行に對す、やめとどまる意、中止
トツパン	凸版	亞鉛凸版	トツ	トテラ	あらなみ	トドマル	留	去に對す、その場にゆるりと留り居る也
トツビ	突飛	することの尋常ならぬこと	トツ	トテラ	あらなみ	トドマル	駐	馬をとどむる意
トツ	突飛	Top 絶頂、極端、新しい表現では尖端、モダンのトツ	トツ	トテラ	あらなみ	トドマル	過	中止也、その場にしばらく止まる也

トドマル	逗	途中に滞り留まる義、逗留	トノカタ	殿	男方	トバシル	逃	とびちる、タバシル
トドマル	泊	舟をつなぎとまる義	トノゴ	殿御	女より男をよぶ稱	トハツ	怒髪	怒りのために逆立てる髪
トドマル	淹	久しく留まる義、淹留	トノサマ	殿様	貴人の敬稱	トバリ	帳	帳、帳
トドロク	轟	なりひびく	トノサマ	金縁籠	蛙の一種、殿様蛙	トパン	土蕃	もとから、そこに住む野蕃人
トナエル	稱	となふ、よぶ、なづけ	サノモツカ	主殿	とりもれら、宮内省の府官に屬せし寮	トヒ	徒費	むだづかひ
トナエル	唱	となふ、高く呼ぶ	トバ	駑馬	のろいうま	トビ	鳶	鳥の名
トナエル	徇	ふれまはず、したがへ	トバ	賭場	賭博を爲す場所	トヒ	土匪	土匪
トナカイ	馴鹿	動物の名	トハイ	奴輩	やつぱら、あいつ	トビイシ	飛石	少しづつ難し敷き列べた石
トナベ	土鍋	土製の鍋	トバク	賭博	ばくち、かけごと	トビワオ	飛魚	魚の名
トナリ	隣	ならびつゞく	トバク	賭博	ばくち、かけごと	トビカケル	翔翹	空の中を高くとびゆく
トナル	呶鳴	聲高く呼ぶ	トバク	賭博	ばくち、かけごと	トビグチ	鳶口	消防夫の用ゐる具
トネウ	舍人	官の名	トバク	賭博	ばくち、かけごと	トビクラ	飛競	とぶ競争
トノ	殿	尊稱の語	トバク	賭博	ばくち、かけごと	トビコミ	跳込	とびこむこと
トノイ	宿直	とまり番	トバク	飛沫	水のはねかり、とば			

トビツク	Topic 題目、論題	トボケ	恍惚 ぼけたる風をなすこと	トミニ	頓 にはかに、急に
トビドグ	飛道具 弓、銃の如きもの	トボス	火をつける、トモス	トム	富 ゆたかなこと
トビノモノ	鳶者 火けし人足、轉じて日雇	トボソ	戸、とびら	トムシロ	籐席 藤でつくつた席
トビラ	扉 開き戸の戸	トボル	トモルと同じ	トムライ	弔 とむらふこと、くやむ
トビラ	Titlepage 書物の巻頭にある書名著者名などを記した紙、雑誌では巻頭の頁	トマ	苦 菅、茅などで造つたもの	トムライ	訪 たづねる、おとづれる
トビン	土瓶 湯をわかす具	トマツ	塗抹 ぬること、ぬりけす	トムライ	留置 物をとめおく、人を拘留する
トフ	塗布 ぬりつける	トマドイ	戸惑 まごつく	トメオキ	留針 針の一種、ピン、釘
トフ	鍍布 ぬること	トマヤ	苦屋 とまぶきのいへ	トモ	留針 針の一種、ピン、釘
トフ	飛 空にかける、をどる、ひるがへる	トミクジ	富籤 多数の籤を大勢の者の中に賣つて其中の一部の人即ち當つた者にのみ金品をやる場合に於ける其籤札をいふ	トモ	留針 針の一種、ピン、釘
トフ	溝 みぞ	トミクジ	富籤 多数の籤を大勢の者の中に賣つて其中の一部の人即ち當つた者にのみ金品をやる場合に於ける其籤札をいふ	トモ	留針 針の一種、ピン、釘
トフ	濁醪 濁酒のかすをこさぬもの	トミクジ	富籤 多数の籤を大勢の者の中に賣つて其中の一部の人即ち當つた者にのみ金品をやる場合に於ける其籤札をいふ	トモ	留針 針の一種、ピン、釘
トホッ	途方 ゆく方向、手段	トミクジ	富籤 多数の籤を大勢の者の中に賣つて其中の一部の人即ち當つた者にのみ金品をやる場合に於ける其籤札をいふ	トモ	留針 針の一種、ピン、釘
トボク	奴僕 しもべ	トミクジ	富籤 多数の籤を大勢の者の中に賣つて其中の一部の人即ち當つた者にのみ金品をやる場合に於ける其籤札をいふ	トモ	留針 針の一種、ピン、釘

トモエ	巴 柄繪	トモネ	合ふは俱の字なるが如し	トライ	TRY 試みる、調べる
トモカセギ	共稼 一緒にかせぐこと	トモマワリ	共寝 ともに一つ衾に入つて寝ること	ドライ	Dry 乾からびた、無味乾燥な、無意味な、また米國では禁酒の意、ドライ、クリーニングといへば、乾燥洗濯
トモガラ	輩 やから	トモル	燃 もえる、とぼる	ドライア	Dry Ice 固形炭酸瓦斯、零下十八度で普通の氷より非常に冷い
トモシ	乏 とぼしい	ドモル	吃 言のゆきつまらざる義、取吃不能言	ドライア	Dry Up 禁酒、生活困難、いづれも最近の流行語
トモシビ	燈 燭	ドモル	吃 言のゆきつまらざる義、取吃不能言	トライアル	Trail ためし、試験、試験、審問
トモシラガ	共白髪 夫婦共に老人になること	トヤ	鳥屋 とりを入れるこや	ドライヴ	Drive 車を御す意味であるが、今日では自動車で運乗りすることにも用ひられる、乗人と相乗りの車で初夏の風の中をドライブすること、モダンの尖端的享樂である
トモズナ	纜 船をつなぐなは	トユウ	都邑 都會の土地	トラヴェ	Traveller 旅人
トモナウ	伴 つれ立つ	トヨ	豊 ゆたかなること	トラクター	Tractor 飛行機の牽引器、プロペラーが主翼の前についである飛行機、牽引者、牽引車
トモニ	與 篇與の義にて、くみあふ義にてともにと調む	トヨアシハ	豊 草原 日本のこと	シユギ	Shy 羞 試みる、調べる
トモニ	共 公共と爲す、へだてなく寄り合ひ、相援けて事を共にする義	ドヨウ	土用 曆にて十八日を一期にしてたる季節、一年に四回あり今は専ら夏の土用をいふ		
トモニ	借、俱 同義、共にうちそし借は俱より意強し、例へば花見に往くには始めは例へべて同じく行くには借の字少々前後しても一所に行き	トラ	銅羅 樂器の名		
		トライ	渡來 わたつてくる		

トラジカリ	Tragically	悲劇的に、無惨
トラジテ	Tragedy	悲劇、怪劇、災難、凶變
トラジック	Tragic-comedy	悲喜劇
トラスト	Trust	信用、信任の意、合同企業、市場の獨占を目的とする企業間の信託組織、之は合同せんとする各会社の株式の全部を、信託委員に委託して、其利益は一切の營業に比例して分配する。之は數に比しての如く各企業者が獨立してゐる聯合するものではなく、其成分分子の全部が合同して一つの企業に入るものである
トラック	Truck	貨物自動車
トラック	Track	鐵路、陸上競技に於て、長距離競争に使用する圓形競走路
トラノマキ	虎卷	秘密の兵書、大事なかきつけ、たねぼん
トラビスト	トラビスト修道院	Trapist
イン	Trapist	キリスト教の一派。トラップ教派員の修業するところ、無言禁欲のうち、に神に奉仕の生活を、わが國では北海道函館在にある
トラブル	Trouble	苦勞、面倒、悶着
ドラマ	Drama	戯曲、脚本、演劇、芝居
ドラマティ	Dramatist	戯曲・脚本の作者
スト	劇作家	
ドラマティ	Dramatic	劇的、芝居風の、變化ある、變化の急な
ク	Dramatic League	研究的立場からその道の作家・批評家・愛好家がつくつた觀劇同盟
イグ	囚	拘囚
トラワレ	囚	拘囚
トランク	Trunk	靴、旅行靴
トランスレ	Translation	翻譯
トランスレ	Translator	翻譯者
トランブ	Trump	西洋かるた、五十二枚の札で遊ぶもの
トリアエズ	不取敢	直ちに
バリアケバ	取上婆	産婆
トリイ	鳥居	神社の門
ドリーム	Dream	夢、幻想、夢想
トリウチ	鳥打	とりをうつこと、鳥打朝、ハンチング
トリオ	Trio	三幅對、三部合奏
トリオイ	鳥追	新年に来る歌藝人
トリオサエ	取抑	つかまへる
トリオドシ	鳥威	かがし等鳥をおどして追ふ具
トリカエス	取返	收復
トリカエル	取替	彼と此とをかへる
トリカゴ	鳥籠	鳥を入れるかご

トリキメ	取極	きだめること
トリク	屠戮	ほふりころす
トリクミ	取組	相手になること
トリケシ	取消	一應發生したる效力を初めより無効とする
トリケシケ	取消權	或法律行為を取消して始から無効とする權利
トリケンカ	取消權ノ界限	取消權が及ぶかといふ其範圍
トリコ	囚	とらへて牢へ入れ置く也
トリコ	俘	軍にてとりことせし人も
トリコ	虜	いけぢりせし人も
トリコ	禽	戦にかちて敵をとらへ手ごめにする義
トリコ	取粉	もちの—
トリコシク	取越苦勞	担憂
トリゴヤ	鶏舍	鶏を入れる小舎
トリコボチ	取毀	家其他の建物等をこはすこと
トリザカナ	取看	あつめもつて各自に取らねる有
トリシマリ	取締法規	斯々のことをすべし何々したるとき若くはせざるときは何の罰を科すといふ様なとりしまりの規定
トリシラベ	取調	しらべること
トリスベ	取總	すべる
トリタダス	取糾	調べる
トリタテ	取立	とりあつめる、あげ用ゐる
ラガキ	取立裏書	爲替手形又は約がその手形に記載せられたる債權の行使を委任する爲に爲したる裏書なり、この裏書には被裏書人の氏名又裏書する旨を記載すること
トリチガエ	取違	まちがへること
トリック	Trick	ごまかし、詐欺、映畫用語では、實際には不可な状態を、或いは特殊な巧みによつて映畫を撮影することの意、味、人間が自動車を速く走つたり、暴風雨の波の中を船が沈んで行つたり、大きな城が見えない小さは、一尺にも満たない小さは、こしらへものだけたりするものが即ちトリックである
トリツケ	取附	とりつくこと、或銀行が金融逼迫して其懸念したる際該銀行に對して其預金の自己の債權額を返還を請求し其振出権利を所持者の其取立を請求し來ること
トリップ	Trip	旅行、短航海
トリテ	捕手	罪人を捕へる人
トリテ	砦	塞、壘
トリトメ	取止	まとも、—のな
トリナシ	取成	此を彼にかへる、よきにはからふ

トリナワ	捕繩 罪人を捕へる繩	トリモチ	鳥糞 捕鳥等に用ゐる粘著性のもの	トル	採、采 二字同、ひろひ取して用に立てる也
トリニティ	Trinity 三つ組、三位一體(文と子と聖靈三位一神を成すといふ神學上の教義)	トリモツ	取持 周旋	トル	撮 指にてつまみとる也
トリノケ	取除 例外、別に於て置く	トリモドス	取戻 とりかへす	トル	捕 追ひかけてとらへる
トリハカラ	取計 處分	ドリヨウ	度量 心のひろいこと	トル	捉 とらへてくる也、把促ぬきとる也
トリハダ	鳥肌 寒氣のため身の毛のよだつこと	ドリヨウ	度量衡器 度量衡法に依り製し國家の公證を得ての長さ、度量、容積(風)及重さ(衡)を計る所の器具	トル	資 とりてもとでにすること
トリハラワ	取拂 撤去、のける	ドリヨク	努力 つとむること	トル	弗 Dollar 北米合衆國及加奈陀の通貨の訛
トリヒキ	取引所 株式、米其他の物品の賣買をする爲めに一定の時期に商人の集合する一定の場所をいふ	トリワケ	取分 殊に、ことさらに、別して	トル	弗外交 強國が弱國に對して金品を貸與してその他種々の表面的利益を好意を寄せ、後その利益を種々の要求を提出して利を得んとする外交
トリヒキジ	取引上の慣習 商業上の常に行はれ、それが正當なる認めらるるに至りたる慣習をいふ	ドリウケ	取 捨の反對、わが物にする	トル	土耳其 Turkey 國の名
トリマギレ	取紛 とりまざる	トル	執 物を固く執る義、筆をとりに、器をとりに用ふ	トル	Torso 人體の胸部のみの骨像
トリマク	取巻 かこむ	トル	乗 とらへ、心をとりに用ふ	トル	Dalton Plan パーカスト女史の考案に成る新教育法
トリマゼル	取交 種々交りあつてゐること	トル	把 握る也、俗に一把といふは一にぎり也	トル	弗箱 金庫、かねを出してくれる人
トリマワシ	取廻 處理あしらひ	トル	操 正しくとり守る也		

トレイ	奴隸 人間としての権利を認められぬ者、馬の如く物品と同視せらるる者、現今文明國ではこれを認めない	トレモロ	Tremolo 音楽上の顫聲、顫動音	トロケル	蕩、盪 ときやけらぐ、しまりなくなる、 「とろく」の説
ドレイセイ	奴隸制度 奴隸即ち人にしることを認められない階級を設くる制度	トロ	吐露 意見をいひのべること	ドロタ	泥田 泥深い田
ドレツ	堵列 ならぶこと	トロウ	徒勞 わだばねをり	ドロップ	Drop レづく、西洋菓子の一、種、ドロップ・カーヴの略
ドレツ	鴛劣 にぶら	ドロイン	Drawing 圖畫、線畫	ドロップ・カーヴ	Droop curve 野球用語、投手の投げる球がある位置までとび、急に道路を變へて下降してとぶこと
ドレツシン	Dressinggown 化粧着、間衣、敷巻	グ・ルーイン	Drawing-room 客間、應接室	トロビ	漫火 よわい火、文火
グ・ガウン	Dressing-room 化粧室	グ・ルーイン	Drawing-room 客間、應接室	トロビズム	Tropism 植物の本能的性質(向日性、向地性、上伸性など)
グ・ルーム	Dreadnaught 英國海軍の第一級戦艦、一九〇六年建造の大型戦艦にドレッドノート(何物をも恐れざる者の意)と命名したに始まる、而して各國海軍に非常な刺激を與へ、その後各國争うてこれを建造した、その特色は排水量約二萬噸、その特色は二十時の裝鎧、速力二十乃至二十時の砲十門等である	ドロー	Drawing-paper 畫學紙、製圖用繪畫用の洋紙	トロフィー	Trophy ギリシア、ローマの戰勝記念牌から、今日では運動競技の優勝記念牌を云ふ、「何々カップ」の類はこれである
ドレックス	Dress 衣服、衣裳	ドローン	Drawn game 引分、勝負なし	ドロボウ	泥棒 盜賊
ドレッドノ	Dreadnaught 英國海軍の第一級戦艦、一九〇六年建造の大型戦艦にドレッドノート(何物をも恐れざる者の意)と命名したに始まる、而して各國海軍に非常な刺激を與へ、その後各國争うてこれを建造した、その特色は排水量約二萬噸、その特色は二十時の裝鎧、速力二十乃至二十時の砲十門等である	ドローン	Drawn bonds 籤引附債券	ドロイモ	薯蕷 いもの一種、じねんじよ
		ドローン	Drawn work レースなどで履ひかきりすること、糸抜模様細工	ドロシル	薯蕷汁 料理の名
		トロカス	鋸 とろけるやりにする		

トロン	徒論 くだな議論	トロンコウ	敦厚 ていねい	トンソウ	遁走 にげはしること
ドローム	Drown game 運動用語。撒 同試合の例へば野球で兩組 が互ひに五回乃至五回以上 の殺技を完了した上、降雨 等不慮の理由により審判官 が仕合終了を宣言した時、 兩組の攻撃回数同じく得 點または同等しい場合をいふ	トンザ	頓挫 にはかにくじけるこ と	ドンタク	騙語 Nordag の説、日曜日 兼じて休日之意
トン	噸 Ton 英通、米噸の別あ り前者は二千二百四十 十封度(約二百七十一貫)後 者は二千封度(約二百四十 二貫)	トンサイ	頓才 臨機之才	トンチ	頓智 早速の智恵
トンエ	屯營 軍人のたむろ	トンサイ	鈍才 にぶい才智	トンチキ	頓痴氣 人を馬鹿との、し る語
トンガ	嫩芽 わかめ	トンシ	頓死 にはかじに	ドンチヨウ	緞帳 幕の一種
トンガメ	關龜 スッポンに同じ	トンシ	遁辭 にげことば	トンチンカ	頓珍漢 もの、ゆきちがひ
ドングリ	團栗 くぬぎの實	トンジ	豚兒 わが男の子の卑稱	ドンテン	曇天 くもりたる空
トンゴ	頓悟 にはかにかきとりのひ らくこと	トンジャク	頓着 氣にかけること	トント	頓 更に、きつぱり
		トンシユツ	遁出 にげ出すこと	トントウ	遁逃 にげのがれること
		トンス	屯所 たむろば	ドントル	鈍刀 なまくらかたな
		ドンゼイ	呑噬 のみくらふこと	トンネル	隧道 Tunnel の説
				トンビ	

トンプク	仲買 頓服 一度かぎりへのむく すり	トウキリ	當限 長期取引で受渡期限 の最も早く到来する もの(取引所用語)	ドタク	ドタ突く ドタよりも値段 が上騰すること (同上)
ドンブリ	井 食物を容れる器	トウザアツ	當座預り 豫め一定の期限 を定めず何時に ても預け人の請求に應じ拂 戻を爲す銀行預金の一種	トチホウシ	土地報酬漸減の法則 「地力遞減の法則」、收穫遞 減の法則に同じ
トンボ	蜻蛉 蟲の名	カ	同時設立 株式會社設立に 式總数の引受を爲したる際 に會社が即時に成立する故 にこの名あるなり、漸次設 立に對する語	トチソウカ	土地増價税 土地所有者 が加はることなしに社會狀 勢の變化發展に伴ふ土地の 價格の増加を税源として賦 課する税
トンボク	藪朴 すなほ、欽樸	ドウジセツ	同時設立 株式會社設立に 式總数の引受を爲したる際 に會社が即時に成立する故 にこの名あるなり、漸次設 立に對する語	ドテン	取組高 爲替の取組高の意 では約定した買買の數量を 云ふ
トンマ	頓間 うすばか、愚愚	トガメ	咎め 材料を重視して過度 の賣買を爲したるに 因る反動(取引所用語)	トリクミタ	取締役 株式會社を代表し る會社の常設機關なり
ドンヨウ	嫩葉 わかば	トケアヒ	解合ひ 賣方買方が相談づ 相殺すること(同上)	トリシマリ	取引所税 取引所に於ける 問の財産權の移轉に對して 課する租税にして、前者を 取引所營業稅後者を取引稅 と云ふ
ドンヨク	貪慾 慾ふか	トケアヒカ	解合兼れ 相場が成程度で 變動しないこと (同上)	トリヒキジ	
ドンヨリ	稍曇 空のはれぬさま	ドタ	相場が立つた時何十銭、何圓 とかの如く値段に端數(株式 では十圓、米穀では十銭)の付 かないこと(同上)		
トイヤ	問屋 自己の名を以て他人 の爲めに物品の販賣 又は買入を爲す業とする 者を云ふ、トシヤとも云ふ				
ドウギョウ	同業組合 同業者が營業上 の弊を矯め其利 益を圖るを以て目的とする				
クミアヒ					

な

ナ	名	なまへ、となへ	ナイエツ	内謁	内々の御目みえ	ナイクツ	内宮	伊勢太神宮、外宮に對して
ナ	菜	やさい	ナイエン	内縁	おもてむきの結婚に よらずして夫婦にな りたること	ナイクン	内訓	内々の訓令
ナ	魚	食用とする魚類、勇魚 捕をいさなどり	ナイオウ	内應	内々敵に通ずること	ナイコ	内顧	家庭に關する心づか ひ
ナ	離	おにやらひ、つみな おまへ、なんぢ、そな た、二人稱の代名詞	ナイカイ	内科	體内の病をなほす醫 術、外科に對す	ナイコウ	内訌	内々のもめあひ
ナ	汝	おまへ、なんぢ、そな た、二人稱の代名詞	ナイガイジ ウシヨウ ウシヨウ	内界	心の内の現象	ナイコクサ	内國債	國內に於て募集せ られ其拂込元利支 拂が國內に於て爲さる、公 債を云ふ内債とも云ふ
ナーウ テンベラ メ	Nervous temperament	神經質	ナイガシロ	内外人平等主義	權利の 義務の負擔に關し内 國人と同等の權利を 待たせしめ、主權を 公權の享有に關する ものならざるもの にあらざる	ナイコクゼ	内國稅	國境税に對する 課税の件を目的とし て賦課する租税を云ふ 國稅、地方稅の二種に 分つ
ナーサ リ	Nursery	子供部屋、育兒室	ナイカン	内感	内界より起る感覺	ナイコク	内國法人	我國の法律によ り認められたる 法人
ナーサ リ	Nursery-tale	お伽噺	ナイキ	内規	うちわのきめ	ナイサイ	内債	國內で募る債券
ナーア テ	名宛	指定したる先方の人 の名	ナイギ	内儀	他人の妻の敬稱	ナイシ	内侍	女官の名
ナイー ウ	name	天眞の、質朴な、飾 氣のない				ナイシ	乃至	數の上下をいひて中 を略する語

ナイジ	内耳	耳の最深部に於て聲 音の感受装置の所在	ナイシヨク	内職	本職の外にするして	ナイガシロ	蔑	あなどる
ナイジ	内治	うちををさめる	ナイシン	内診	醫學上の語	ナイカン	内患	うちのうれへ、國內 の騷亂
ナイシツ	内室	他人の妻の敬稱	ナイシン	内心	こころのうち	ナイダン	内談	内々ばなし
ナイシツ	内實	内々の事實	ナイジン	内陣	神社佛寺の本尊のあ る所	ナイチザツ キヨ	内地雜居	内地何れの土地 に於ても外國人 が自由に住居し得るこ と、うちらぎり
ナイシドコ	内侍所	賢所	ナイシン	内親王	現在の陛下より當 らるる皇族女子をいふ、皇 女より皇孫まで	ナイツツ	内通	内々敵に通ずるこ と、うちらぎり
ナイシヤク	内借	うちがかり	ナイス	内奏	2の 綺麗な、上等な、精密 な	ナイテイ	内偵	一應内々のしらべを すること、内々まぐ りを入れること
ナキジャク	吸泣	しやつくりしてはな くこと	ナイセツエ	内切圓	直線形の各邊に切 し且つ其直線形内 にある圓	ナイテキ	内的	精神的・主觀的の意
ナイシユウ	内祝言	内々にて婚禮の式 をあげること	ナイソウ	内奏	陛下に私的に申上ぐ ること	ナイド	内帑	天子の内々の御費用
ナイジヨ	内助	内々のたすけ	ナイゾウ	内臟	體内のざうふ	ナイト		
ナイシヨウ	内證	ない	ナイダイジ	内大臣	常に天皇に從從輔 弼し御覽國體を總 し宮中顧問官の職事を總 する者	ナイト クラブ		
ナイシヨウ	内傷	うちきず	ナイカク	内閣	國務大臣全部から成 る合議制の機關			
ナイシヨウ	内相	内務大臣のこと						
ナイジヨウ	内情	うちのやうす						

ナイト
Knight ナイトの將をもつ人、
騎士(中古封建時代の歐洲
で優勢だった武士。階級)
Night 夜、宵
Nightclub 夜夜俱樂部、享
樂形式の徹底したアメリカ
では、我國のカブールなど
足元にも及べない享樂境が
ある、ナイト・クラブはそ

ナイヒリス	Zhiliist 虚無主義者、無政府主義者	ナイヒリス	Zhiliist 虚無主義、無政府主義、一切の政治的、社会的権威を否定せんとする論	ナイフ	内府 内大臣のこと	ナイフ	内服 くすりを飲むこと	ナイフ	内紛 うちうちのごたごた	ナイフ	内聞 秘密にする	ナイフ	内分 体内にある多くの液体を体外に排出する、そのうち内分は、その腺内に出るホルモンの物質を直接血液の中に送る、これが内分液である		
ナイヘイ	内嬖 主人のきにいりの女	ナイムダイ	内務大臣 内務行政中内務省を主宰する長官、一面に於て國務大臣の資格を有す	ナイメン	内面 うちかた、ないぶ	ナイウシヤ	内面描寫 文藝上の語、心點や變化を觀察して描き寫すこと	ナイヨウ	内憂 内患	ナイラン	内覽 内々見ることに	ナイラン	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ		
ナイムギ	内務行政 直接に人民の安めにする政治をいふ、一番廣い政治のはたらきである	ナイランザ	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ	ナウ	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ	ナエ	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ	ナエル	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ	ナオ	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ	ナオ	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ	ナオ	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ
ナイラン	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ	ナウ	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ	ナエ	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ	ナエル	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ	ナオ	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ	ナオ	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ	ナオ	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ	ナオ	内亂 國內の争亂、政府の顛覆、一地の占領等の如き騒動をいふ

ナカイ	長居 ながく座に在ること	ナカイ	長寐 長くねむること	ナガイモ	長薯 いもの一種	ナガウタ	長唄 俗曲の一種	ナガエ	轅 車の柄	ナガエ	長柄 ながき柄	ナカガイニ	仲買人 政府の免許を受け、一定の保証金を納めて取引所に於て取引を爲す者をいふ、仲買人でなければ取引所に於て取引(定期相場等)をする資格はないのである				
ナガグツ	長靴 ふかいくつ	ナカクボ	中窪 中がくぼんでまはりが高いこと	ナカザシ	中差 女の弁の一種	ナカシ	仲仕 翻川港灣に於て木材等の運搬に従事する者	ナカシ	流 ながすこと、盥所又は井戸端に設けて物を洗ふ所、夜間懸人が三味線を弾き又は按摩が笛を吹きて往來し客を求め歩くこと	ナカシ	流 ながすこと、盥所又は井戸端に設けて物を洗ふ所、夜間懸人が三味線を弾き又は按摩が笛を吹きて往來し客を求め歩くこと	ナカシ	流 ながすこと、盥所又は井戸端に設けて物を洗ふ所、夜間懸人が三味線を弾き又は按摩が笛を吹きて往來し客を求め歩くこと	ナカシ	流 ながすこと、盥所又は井戸端に設けて物を洗ふ所、夜間懸人が三味線を弾き又は按摩が笛を吹きて往來し客を求め歩くこと		
ナカシ	流 ながすこと、盥所又は井戸端に設けて物を洗ふ所、夜間懸人が三味線を弾き又は按摩が笛を吹きて往來し客を求め歩くこと	ナカシ	流 ながすこと、盥所又は井戸端に設けて物を洗ふ所、夜間懸人が三味線を弾き又は按摩が笛を吹きて往來し客を求め歩くこと	ナカシ	流 ながすこと、盥所又は井戸端に設けて物を洗ふ所、夜間懸人が三味線を弾き又は按摩が笛を吹きて往來し客を求め歩くこと	ナカシ	流 ながすこと、盥所又は井戸端に設けて物を洗ふ所、夜間懸人が三味線を弾き又は按摩が笛を吹きて往來し客を求め歩くこと	ナカシ	流 ながすこと、盥所又は井戸端に設けて物を洗ふ所、夜間懸人が三味線を弾き又は按摩が笛を吹きて往來し客を求め歩くこと	ナカシ	流 ながすこと、盥所又は井戸端に設けて物を洗ふ所、夜間懸人が三味線を弾き又は按摩が笛を吹きて往來し客を求め歩くこと	ナカシ	流 ながすこと、盥所又は井戸端に設けて物を洗ふ所、夜間懸人が三味線を弾き又は按摩が笛を吹きて往來し客を求め歩くこと	ナカシ	流 ながすこと、盥所又は井戸端に設けて物を洗ふ所、夜間懸人が三味線を弾き又は按摩が笛を吹きて往來し客を求め歩くこと	ナカシ	流 ながすこと、盥所又は井戸端に設けて物を洗ふ所、夜間懸人が三味線を弾き又は按摩が笛を吹きて往來し客を求め歩くこと

ナカライ	交際	つきあひ	ナク	鳴	鳥歌のなく也、又なくと訓むときけ萬物の聲を出したること	ナゲク	歎・嘆	ためいきをつく義、歎息に用ふ
ナガラエル	存命	生きて居ること	ナク	啼、嘸	聲をあげてなく也	ナゲク	嗟	アアとも訓む、言足らずして聲を發して其意をつくす也
ナカレ	勿	なくあれの約、莫、母	ナク	泣	涙をながし聲をたてずしてなく也	ナゲク	懐	大息をつきてなげく
ナガレヤ	流矢	的をはずれたれ矢	ナク	哭	涙をながし聲をあげて深く悲みなく也	ナゲク	慷・慨	義略同じ、憂ひてなげく也
ナガロツ	長廊	ながい廊下	ナク	囀	鳥のさへづりなく也	ナゲク	獻・歎	すすりなきをしてなげく
ナガワスラ	永煩	永い間の病氣	ナク	和	おだやかになる	ナゲグシ	投擲	櫛をなげること
ナカンスク	就中	多くの中で	ナグ	慰	たのしましむ	ナゲクヒ	投首	思案の態度
ナギ	凧	海上波しづかなこと	ナグサム	擲	投	ナゲシ	長押	鴨居の上にならす櫛
ナキアト	亡後	死んだあと、なき人となつたあと	ナグル	擲	投	ナゲヤリ	投槍	投げる槍
ナキガラ	亡軀	遺骸	ナグレル	斜行	横へそれる	ナゲヤリ	投遣	ほうりばなし
ナキゴト	泣言	不幸をなげき話すこと	ナゲウツ	抛	擲	ナコッド	仲人	媒始人
ナギサ	渚	波うちぎは	ナゲウリ	投賣	損をして賣ること	ナゴリ	名殘	過ぎ去つて後面影等の殘ること
ナギナタ	薙刀	武器の名	ナゲカワシ	可歎	憂はしく悲しいさま	ナサケ	情	物のあはれを知る心

ナシ	梨	木の名	ナシヨナル	National 國民の、國家的	ナゼ	何故	なにゆゑ
ナシ	無	有の反對又禁止の辭にも用ゐ、なかれと訓む	ナジル	詰 詰責	ナゾ	謎	なぞく
ナシ	罔・无	無に見えぬ意	ナス	茄子 蔬菜の名	ナゾラエル	準	なぞらふ、にせる、擬、准
ナシ	存の反對、なくつたと譯す		ナス	爲 作也・造也、事をする也	ナタ	鮫	双物の名
ナシ	勿也・無也、唯と決定して無しといふ義		ナス	成・就 爲したることをしとぐる也	ナダ	灘	海のあらし所
ナシ	さうはするなと禁ずる辭		ナス	濟 事を爲しおほせる也	ナダイ	名題	氏名を表題に掲ぐ、名高い
ナシ	禁止の辭、無より意重し		ナス	作 はじめつくる義	ナタネ	菜種	あぶらな
ナシ	微 なし又なかりせばと訓む、實はあれども、もし無きに見たらの意		ナス	造 いたるとも訓む、事を爲して成就する也	ナタマメ	鮫豆	豆の一種
ナシクスシ	濟崩	少しづつかへすこと	ナス	撫 やはらかにこすること	ナダメル	宥	和らぐ
ナシジ	梨地	詩繪に金銀粉を散らしたため	ナスケ	菜漬	ナダラカ	平穩	ゆるやか、平和、あまり傾かず
ナジミ	馴染	なづくこと	ナスナ	齊 草の名	ナダレ	雪崩	積雪が崩れおちる
ナシヨナリ	Nationalist 國家主義者		ナスム	泥 拘泥	ナチュラリ	Naturalism 自然主義	
ナシヨナリ	Nationalism 國家主義(國家の安寧・幸福を保持しモ		ナスル	擦 すりつける、ぬりつけ	ナチュラリスム	Natural science 自然科學	

ナチユラル・セレクション Natural selection 自然淘汰
 ナツイン 捺印 印をおすこと
 ナツカシ 懐 したはし
 ナツシヨ 納所 年貢などとり納むる所、寺院にて寺務を取扱ふ所、下級の僧侶
 ナツシング Zouhng 皆無、無
 ナツセン 捺染 贖物に型をおして染めること
 ナツトウ 納豆 食品の名
 ナツトク 納得 きゝ入るゝこと
 ナツバ 菜葉 菜の葉の説
 ナツブ Zapt 全日本無産者藝術團體協議會(Nippon Proletarian Artist Federation)の略稱、英語流に各々頭文字を組合してある
 ナツミカン 夏蜜柑 果物の名

ナツメ 棗 木の名、茶器の一
 ナツヤセ 夏瘦 夏にやせること
 ナデギリ 撫斬 全體を斬ること
 ナデシコ 撫子 草の名
 ナド 杯 それのみと限らぬ、等
 ナナクサ (正月の) 七種 齊(せり)薺(なづな) (はこべ) 酢(ごきやう) 紫(あざ) 萩(すずな) 薔(すずしろ)
 ナナクサ (秋の) 七草 萩(はぎ) 尾花(おぼろ) (な) 葛(くず) 撫子(な) (し) 薔(ふぢ) (かま) 朝顔(あさがほ) 桔梗(ききょう) (あざ) (あざ) (あざ) (あざ) (あざ) (あざ) (あざ)
 ナナコ 斜子 織物の名、魚子
 ナナツヤ 七ツ屋 質屋のこと、セブ
 ナナメ 斜 すぢかひなる義、正の反対
 ナナメ 逆・施 かなめに連る也

ナナメ 邪 古は斜に通じ、今は邪悪の義に用ゐる
 ナニ 何・奚 なにぞ、いかがぞと疑ひて問ひただす義
 ナニ 曷 なにとして譯す、軽く詰る意あり
 ナニ 盍 何不の合字なり「何ぞ何々せざる」とかへり訓む
 ナニ 那 奈何の合意也、なんでと譯す
 ナニ 庸 何也・豈也、いづくんぞとも訓む
 ナニワズ 難波津 大阪の古稱
 ナニワブシ 浪花節 俗曲の名
 ナノリ 名乗 ほんとうの名、通稱に對して實名
 ナノリ 名告 人に向つて自分の名を告げること
 ナビク 靡 風に草木のかよむこと
 ナフキン Zouhng コ口拭ひ、洋食の時に用ふる口拭きの布をいふ、ナフキンと言ふ人もある

ナフタリン Naftalin 無色板状の結晶物、染料の製造・防腐劑として用ふ
 ナブリゴロ 鬪殺 いぢめころす
 ナベ 鍋 食物を煮る器
 ナヘン 那邊 何處
 ナマイキ 生意氣 出過ぐること
 ナマカジリ 生齧 上すべりの知識
 ナマグサシ 腥 なま／＼しき香あること
 ナマクラ 鈍刀 きれないかたな
 ナマケル 懶 おこたる、精を出さず
 ナマコ 海鼠 海産動物の名
 ナマジイ 愁 爲さずもよいことにかははつて
 ナマス 鱈 魚の名
 ナマズ 鯰 魚の名

ナマズ 鯢 皮膚病の名
 ナマニエ 生煮 半にえ
 ナマビョウ 生兵法 少しく兵法を知りたること、未熟、不練
 ナマユ 生繭 蠶のこしらへたまふのまゆをいふ
 ナマメカシ 艶 うつくし
 ナマメク 婀娜 若くてうるはし、あだつばい
 ナマリ 鉛 金屬の名
 ナマリ 訛 なまりたる語
 ナミジ 波路 ふなち
 ナミダ 涙 泪、涕
 ナミヨケ 波除 波をよける爲めに築ける堤
 ナムサンボ 南無三寶 歎息の時發する意、しまつたの意

ナムシ 菜蟲 蟲の名
 ナメクジ 蛞蝓 蟲の名
 ナメシガワ 縣草 草
 ナメズル 舐 舌にて口のまばりを舐むる
 ナメラカ 滑 すべ／＼しいこと
 ナメル 嘗 舌にてねぶる
 ナヤ 納屋 ものおき
 ナヤマス 惱 いためくるしめる
 ナヤム 惱 くるしみなやむ、苦惱、憂惱
 ナヤム 悞 根み惱む義
 ナヤム 艱・難 事のなんぎなる義、艱は難より意重し
 ナヤム 阻 臉也、むづかしくて思ふやうにゆかぬ義
 ナユ 痿 氣力がなくなること

ナラ	楢	木の名	ナラズモノ	無頼漢	ごろつき	ナリフリ	形振	なりすがた
ナラウ	倣	まねてする	竝	立ちならぶこと		ナリワイ	生業	世わたり業
ナラウ	習	重也、その事を幾遍となく、重ねてならひ熟する也	併・并	二つ以上のものを一つに合する也		ナリンボ	癩病者	癩病やみ
ナラウ	倣・倣	先例にまねびてならふ也	駢	物のつらなりならぶ義		ナル	鳴	音がでる、ひびく
ナラウ	慣	ならひ、なるる也	比	間のすかずしてつづきならぶ也		ナル	爲	うつりゆく、別のさまに變る
ナラウ	閑	無骨ならざるやうになる也	雙	兩也・偶也、同じ物が二つならぶ也		ナルコ	鳴子	鳥を逐ふ爲めのもの
ナラウ	肆	習也、藝術を復習する也、肆業	排	行列を正しくしてならべる義		ナルタケ	成丈	力のおよぶかぎり
ナラク	奈落	ちごく、芝居の舞臺下の穴	習	習慣		ナルト	鳴門	水のうづまき
ナラス	鳴	音をださせる	成金	俄大盡、一時のまぐれ當りで忽ち數萬の資産家になつた人、將茶の「歩」がなると一躍「金」になるよりいふ		ナルミシボ	鳴海絞	ありまつしぼり
ナラス	馴	なるるやうにする、なれしむ	成貧	財界が好況に向ふと一般の物價があがる、然し入ぬ殖えす、從て生活困難となる、即ち成貧である		ナルル	狎	なれなれしくなじむ義
ナラス	平	ひとしくなす、均す	軟化	強硬な論を説いたり者が、その説を曲げ又は撤回して、以前と反對の方向に傾いてゆくこと		ナルル	褒	ふだん着也、轉じてなじみて心安くする義
ナリスガタ	形姿	その人のなりふり、すがた	難解ノ語	わかりにくい、むづかしい言葉		ナルル	馴・擾	二字共鳥獸の人に狎也犯也、なれなれしくて何とも思はぬ義、狎し恩
ナラズゲ	奈良漬	つけもの、名	難關	難儀な所		ナルル	女	汝に同じ

ナルル	爛	禮義や、言葉づかひになれて上品なる義	ナンカ	軟化	強硬な論を説いたり者が、その説を曲げ又は撤回して、以前と反對の方向に傾いてゆくこと	ナンジ	難事	むづかしいこと
ナレ	熟	熟する	ナンカイノ	難解ノ語	わかりにくい、むづかしい言葉	ナンジ	汝・若	共に我に對する語
ナレチカズ	昵近	なれなれしく側へちかよる	ナンカン	難關	難儀な所	ナンジ	爾	汝に同じくして意輕し
ナレツジ	Knowledge	知識、學問	ナンギ	難儀	くるしみ	ナンジ	乃	彼也、そちと譯し人を指していふ、乃公はそちのきみの義、君が臣に對する尊大の自稱とす
ナワシロ	苗代	稻種を卸す田	ナンキョク	難局	むづかしき處	ナンジ	而	爾・汝に近し
ナワツキ	繩附	罪人	ナンクセ	難癖	非難の點、缺點	ナンジ	軟弱	かよいこと
ナワテ	吸	田の間の道	ナンコウ	軟膏	膏藥	ナンジ	難澁	くるしみ
ナワナイ	索綯	なはをなうこと	ナンコウ	軟鋼	幾分軟かきはがね	ナンジ	難症	おもひ病
ナワノレン	繩暖簾	飯屋、居酒屋などの稱	ナンコウ	難攻	せむるに難きところ	ナンジ	軟水	硬水に對し普通の水を言ふ
ナワバリ	繩張	勢力範圍	ナンコツ	軟骨	やはらかい骨	ナンジ	難船	船がくつがへり損ずること
ナワバリ	繩張	勢力範圍	ナンコツ	難治	をさめにくい、なほ	ナンジ	Zouken	無意味な全く馬
ナワメ	繩目	なはにて縛せらるること	ナンジ			ナンジ		
ナンイ	難易	むづかしきとやさしきと	ナンジ			ナンジ		

ナバン 鹿々々しいこと、理窟や理論は抜きにして馬鹿げた可笑しさのあるもの
 ナンセンホ 南船北馬 旅行すること
 ナンダイ 難題 作り難い詩文題、むりないひかけ
 ナンテイ 軟泥 やはらかいどろ
 ナンテン 南天 瀧木の名
 ナント 南都 奈良の異稱
 ナンド 納戸 衣服調度を入れる部屋
 ナナン 喃々 ささやくこと
 ナンナント 垂 ほとり、轉じて其の場所に近づきたる義
 ナンナント 向 おほかた、其の場所にありたる義
 ナンバ 難破 船がくつがへりやぶれること
 ナンバ 軟派 硬派の反対
 ナンバー Number 數、數字、番號
 ナンバン 南蠻 昔シヤム、呂宋其他の諸島を指してい
 ナンビョウ 難病 全治しがたい病氣

ナンブウ 難風 なんぎなかぜ
 ナンブツ 軟風 しづかに吹く風
 ナンブツ 難物 なんぎなもの
 ナンブンガ 軟文學 比較的柔かな感じの文藝
 ナンベン 何遍 いくたび
 ナンモン 難問 むづかしいものだ

補遺

ナカギリ 中限 定期取引の契約に於て、定期取引の契約に於て、先月末日に受渡を約するを云ふ(取引所用語)
 ナカダチニ 仲立人 商行為の媒介を爲す者云ふ
 ナカネ 中値 其の日の賣買何れにも偏せぬ相場(取引所用語)
 ナカマワリ 中廻り 米穀取引所に於て、各限月を通し三回轉するに當りその二回目を云ふ(同上)
 ナゲモノ 投物 相場の行くにも拘らず、損失の成行上見切つた見切物のこと(同上)
 ナキライレ 泣きライレ 相場の値段に懸調すること、又泣く様子を相場の變動により損失を云ふ(同上)
 ナレアヒ ソレバヒ 馴合相場 取引員が通謀し相場に示すこと(同上)
 ナレソウバ ナレソウバ 馴相場 相場のこと(同上)
 ナンピン 難品 前の買値より安くない値段を安くするがナンピン買にして、その反対をナンピン賣と云ふ(同上)
 ナケル 難品を掛ける 目下の相場は買値を爲し先相場の相場と平均せしめて損失を軽減せしめる策略(同上)

ニ アゲ 荷揚 荷を陸にあげること
 ニ アイ 似合 よくつりあふこと
 ニ 諸 味嚼の意を含む、主として上の字にかかると、之乎の二合字也、これの條参照
 ニ 乎 兼ぬれども干は體のみに係る、主として下に在る字に係る、於て體と用とを
 ニ 子 兼ぬれども干は體のみに係る、主として下に在る字に係る、於て體と用とを
 ニ 於 干・乎・諸・四字共に干・乎・中にも於は輕く干は重し、於は上下にかか
 ニ 尼 佛道に入り剃髪したる女
 ニ 荷 にもつ
 ニ 二・貳 ふたつ

ニイグロ Negro 黒人、黒奴
 ニード Need 必要、入用
 ニイナメマ ツリ 新嘗祭 しんじようさい
 ニインセイ 二院制 帝國議會を貴族院と衆議院で組織する制度をいふ
 ニウケニン 荷受人 運送契約に依り運送されし荷物を運送人より受取る者
 ニウリ 煮賣 たべものを煮てうること
 ニエ 鉦 刀の鐃に響の如く現はれたあや
 ニエ 贅 供物
 ニエカエル 煮返 沸騰
 ニエユ 煮湯 あつい湯
 ニオイ 匂 うるはしきかをり、又は色
 ニオウ 香 よきにほひ也、香氣、國香
 ニオウ 臭 古い香氣も穢氣も皆臭といふ、後世は穢氣に

ニオウ 用ひ香に對す
 ニオウ 薰 蘭に似たる香草の名、轉じてにはふ義とす
 ニオウ 仁王 佛像の名
 ニオクリニ 荷送人 運送契約に依り運送すべき荷物を運送人に差出す者
 ニカイ 二階 樓
 ニガオ 似顔 よく似たかほ
 ニカカイ 二科會 文部省主催の美術展覧會、二科の名に對して起つた新傾向の洋畫彫刻の展覧會、以前は文部省の展覧會(在來の舊式手法による繪畫)と、その二科に對してよつたものである
 ニガシオ 苦鹽 ながいしほ
 ニガテ 苦手 自分にとりての強敵
 ニカヨウ 似通 にてあ

ニカワ	膠	物をつけあはすに用ゐる物	ニギリヤ	握家	物おしみる人、けちな人	ニクカイ	肉塊	にくのかたまり
ニガワセテ	荷爲替手形	荷送人が荷を受取り、銀行又はその他の者を提出し、其の支拂を擔保する爲に手形と同時運送物品を表せる運送手形を受取り、銀行又は其の取人に交付することを荷爲替手形といふ	ニギリコフ	握拳	げんこつ	ニクカンテ	肉感的	センジュアル
ニガリ	鹵汁	にがしほに同じ	ニギリツブ	握潰	上役にある人が、目下を、自己の爲め、不利益とする時、そのま、沙汰なしにするこ	ニクサシ	肉差	フォーク、肉叉
ニガリキル	苦切	にがみきる	ニグリメシ	握飯	貧しきものを救ひめぐむ、おちぶれたるを振ひおこす意	ニクジニバ	肉糲	藝人等のきる肉色のはたぎ
ニガワライ	苦笑	にがりながらわらふ	ニグワス	瞻	不自由なきやう給しやる義	ニクシン	肉税	血つゞきのしんるゐ
ニギニギシ	賑し	にぎはしい	ニグワス	賙	あまねくゆきわたるやうに給す	ニクセイ	肉聲	人の聲、歌をうたふとき
ニギビレン	面皴連	若き人々(殊に氣障な、意味のある)の異、この年頃のものを多く顔面にニギビがあるに	ニグワス	肉	めぐむ意あり、貧者若者などをあはれみ救ふ	ニクチ	肉池	印肉いれ
ニギヤカ	賑	にぎはし	ニク	肉	めぐむ意あり、貧者若者などをあはれみ救ふ	ニクハク	肉薄	おしよせる
			ニグ	逃	逃	ニクヒツ	肉筆	眞筆のまゝなるかき

ニクム	妬・娟	嫉に同じ、婦夫をねたむを妬といふ	ニゲナイ	似氣無	につかはしくない	ニクツク	含笑	にこにこする、少し笑ふ
ニクム	醜	みにくしとしてにくむ也	ニゲンキン	二絃琴	二すぢある琴、八雲琴	ニクニコ	莞爾	少し榮ふ、さもうれしさうな顔付
ニクヨク	肉慾	情慾、色情	ニゲンロン	二元論	性質の全く別な二つの物を對立させ、考へ方、[哲學]宇宙の森羅萬象は、結局すると二箇の本源より成るといふ説、プラトンが世界をイデアと物質とに、又デカルトが宇宙の本體を精神、物質に分けて考へた如きがそれである	ニクシユギ	ニコボン主義	一名八方義、故柱公に對しても愛想よく、始終ニコニコして、時には相手の肩をポンと叩いて、君、何分よろしくいなどいつたに始まる、口先又は應待を上手にして相手の機嫌をとり、而して自分の味方に引入れ、又は自分の要求を達するを目的としたもの
ニグル	遁	にげかくれる、のがる	ニコウ	二更	初更と三更の間、夜十時	ニコリエ	濁江	泥だらけの流れ
ニグル	道	逃也	ニコウ	尼公	貴婦人の尼となつた方	ニコン	二言	いひなほす、二枚した
ニグル	北	にげてうしろを見せる義	ニコシリエ	煮凝	魚類の煮汁の凝り固まつたもの	ニサバキ	荷捌	商品を類別すること
ニグル	窟	にげかくる、鼠の穴	ニコチュウ	荷拵	荷作り	ニシ	螺	貝の名
ニケコウジ	逃口上	云ひわけ	ニコチン	Nicotine	煙草の中に含まれる無色油状の一種の毒素、	ニジ	虹	空中の一現象
ニケゴシ	逃腰	逃げ出しさうな様子						

ニジカイ	二次會 普通の宴會後更に有志の連中が別室に又は全然的な宴會に直した補足的の宴
ニシキテ	錦手 五色の模様陶器
リニジンオ	西陣織 京都西陣より出た其精巧なる錦・綾・絹布の特稱
ニジム	滲 鈍染
ニシメ	煮染 飯のさいの名
ニジュ	二豎 やまひ
ニジュウジ	ニ重人格 同一人で、裏と表で全く別な性質を持つこと、又は全く異なる二種の人格を持つこと、外に出るは極めて濃厚な人が家においては温厚な如く、又その實行が普通と全く別種の感あるが如きは、いづれもこの二重人格の現はれの一つである
ニジュウセ	ニ重生活 同一人が二種の生活をすること
イカツ	
ニシヨク	日蝕 日食
ニツシン	日進 日々すすむこと、11月歩
ニツスウ	日敷 ひかず
ニツチモ	二進三進 きはまりはてる
ニツチモ	サツチモ
ニツチユウ	日中 ひるなか
ニツテイ	日程 當日になす仕事のほど
ニツトウ	日東 日本のこと
ニツトウ	日當 一日を單位とする手の觀念、然れども給料の觀念を含まず
ニツボウ	日報 日々の報告
ニドツ	二道 ふたみち
ニトウヘン	二等邊 三角形において二つの邊の相等しきもの
ニナ	蠅 貝の名
ニナイオケ	擔桶 水を入れて擔ふをけ
ニナウ	擔 かつぐ
ニヌシ	荷主 荷物の所有者
ニバナ	煮端 茶の煮端
ニビタシ	煮浸 料理の名
ニヒリズム	Nihilism 普通は神をも宗教をも信ぜず、傳統の權威等一切を疑ひ自由意志をも肯定し、たゞ自由意志による生活に歸らんとする主義、哲學上では外界一切の存在を否定する説、即ち唯心論の傾向に就いて、一般論は、政治上の意味に用ひられ、現在の社會制度を破壊し、自由意志の生活へ赴かんとする主義
ニヒル	ニヒル ニヒリズムを略し、謂はる何れも即ち此の主義の意味である、ニヒリズムの項参照
ニフダ	荷札 荷物につけるふだ
ニジル	躑 ふみにじる、躑躅
ニシン	鮮・鯨 魚の名
ニセ	贗 いつはり事
ニセキチガ	偽狂 偽つてきちがひのまをすること
ニソク	尼僧 あまさん
ニソクサン	二足三文 殆ど價の無いこと
ニダ	荷駄 馬の荷
ニタキ	煮焚 飯を炊き菜を煮ること
ニタリ	荷足 川ふねの名
ニチジョウ	日常ノ家事 衣食住に關し何れの家
ニチヨウ	日曜 七曜の初めの日
ニチヨウ	日用品 人間生活上日常必需品に必要なる薪炭・油・衣服・米鹽等
ニチヨウ	日用品供給 債務者又は先取特權 其扶養すべき同居の親屬に家族及び僕婢の生活に必要なる日用品を供給し、たる者の有する一般の先取特權
ニチリン	日輪 太陽
ニチレン	日蓮宗 法華宗
ニシユウ	日課 日々の課業
ニツカ	
ニツカン	日刊 毎日刊行すること

ニツカン	肉感 身體上の感覺特に性慾上の感覺
ニツキユウ	日給 一日の勞務に服する給料
ニツキン	日勤 日々のつとめ
ニツク・ネム	Nickname あだ名
ニツケイ	肉桂 藥種の名
ニツケル	Zincel 一種の金屬
ニツコウ	日光 日のひかり
ニツコウ	肉交 肉體的のまじはり
ニツコウ	日參 日まゐり
ニツサン	日子 日かず
ニツシ	日誌 日記のこと
ニツシヤ	日射病 病の名
ニツシユウ	日出 ひので
ニツシヨウ	日章 日のまる
ニツシヨク	日蝕 日食
ニツシン	日進 日々すすむこと、11月歩
ニツスウ	日敷 ひかず
ニツチモ	二進三進 きはまりはてる
ニツチモ	サツチモ
ニツチユウ	日中 ひるなか
ニツテイ	日程 當日になす仕事のほど
ニツトウ	日東 日本のこと
ニツトウ	日當 一日を單位とする手の觀念、然れども給料の觀念を含まず
ニツボウ	日報 日々の報告
ニドツ	二道 ふたみち
ニトウヘン	二等邊 三角形において二つの邊の相等しきもの
ニナ	蠅 貝の名
ニナイオケ	擔桶 水を入れて擔ふをけ
ニナウ	擔 かつぐ
ニヌシ	荷主 荷物の所有者
ニバナ	煮端 茶の煮端
ニビタシ	煮浸 料理の名
ニヒリズム	Nihilism 普通は神をも宗教をも信ぜず、傳統の權威等一切を疑ひ自由意志をも肯定し、たゞ自由意志による生活に歸らんとする主義、哲學上では外界一切の存在を否定する説、即ち唯心論の傾向に就いて、一般論は、政治上の意味に用ひられ、現在の社會制度を破壊し、自由意志の生活へ赴かんとする主義
ニヒル	ニヒル ニヒリズムを略し、謂はる何れも即ち此の主義の意味である、ニヒリズムの項参照
ニフダ	荷札 荷物につけるふだ

ニフシ 鈍 鋭くなきこと
 ニベ 鯧 魚の名、鯧
 ニベ 鯮 ねばるもの魚膠
 ニホンアル 日本アルプス 甲斐・信濃・飛騨・越中のアルプス山系に類するよりいふ近時登山愛好者の憧憬の地となつた
 ニホンカン 日本勸業銀行 政府の保護監督を受け不動産を抵押とする一設の貸付公共團體の券の引受、地金貸付農工賃主として農工業の發達改良を目的とする資本の貸付を營む
 リホンキョ 日本居留地 外國の領土人が自由に住居し得る日本地の許可せられたる一定の土地
 ニホンギン 日本銀行 日本銀行條例及兌換銀行條例條

ニホンコク 日本興業銀行 日本興業銀行法に基き設立せられたる株式會社にして政府の特別なる保護監督を受け、國債、證券、地方債證券の發行、國債證券、買付、國債證券、預り金及保證預り、信託業務、手形の割引、法律の規定に依り設定したる財團を営業とす
 ニユウシキ 乳酸 いふ 糖類の發酵より生ずる一種の有機酸
 ニユウシ 乳齒 小供の時はえる齒
 ニユウシツ 入室 貴顯の僧となり寺へ入ること、奥義に達すること
 ニユウシユ 乳臭 ちやくさきこと
 ニユウジュ 乳汁 ちよのしる
 ニユウジュウ 入塾 塾へはひること
 ニユウジョウ 入定 禪定にいらること、死ぬること
 ニユウシン 入神 精神を打ち込むこと
 ニユース News-paper 新聞紙
 ニユース・ベーパー News-paper 新聞紙
 ニユース・ルーム News-room 新聞雜誌閱覽室、新聞雜誌發賣所
 ニユウセキ 入籍 戶籍に入る、こと

ニホンシン 日本臣民 主として日本人より見たる場合の言葉
 ニホンライ 日本ライン 木曾・天龍・千曲の諸川をいふ獨逸のライン河がアルプスに源を發してゐるにぞらへてかくいふ
 ニメイセイウ 二枚證券制度 寄託物に對し、證券及買入證券を併せ發行する制度
 ニモウサク 二毛作 一の土地で年二度物をとれること
 ニヤケル 織弱 じうじやく、購治
 ニユー Zou 新しき、新式の
 ニユウエイ 入營 兵營にはいること
 ニウカイ 入會權 一つの山林原野を何人たるを問はずに立入りて草刈り或は牛馬を飼養することを得る慣習ある時は其地を入會地と稱するこの住民の權利を入會權といふ

ニユウカク 入閣 國務大臣に任ぜられて内閣へ加はること
 ニユウカン 入棺 死人を棺に納めること
 ニユウカン 入監 囚人を刑務所に拘禁すること
 ニユウガン 乳癌 乳房の病の名
 ニユウキョ 入渠 船が修繕の爲めドックへ入ること、又病人の爲め入院することをドック入といふ
 ニユウコウ 入貢 外國人の來りてみつきを奉ること
 ニユウコウ 入寇 外國より來りあだすること
 ニユウコウ 入港料 船が港に入る場合には浮標を使用し出港する場合には證明書の交付を求むる等の料として納むる所の金銭をいふ
 ニユウゴク 入獄 入牢
 ニユウサツ 入札 掛金をより各任意の最高金額を申出させ、其に給付金額を支拂ふ方法を

ニユウサン 乳酸 いふ 糖類の發酵より生ずる一種の有機酸
 ニユウシ 乳齒 小供の時はえる齒
 ニユウシツ 入室 貴顯の僧となり寺へ入ること、奥義に達すること
 ニユウシユ 乳臭 ちやくさきこと
 ニユウジュ 乳汁 ちよのしる
 ニユウジュウ 入塾 塾へはひること
 ニユウジョウ 入定 禪定にいらること、死ぬること
 ニユウシン 入神 精神を打ち込むこと
 ニユース News-paper 新聞紙
 ニユース・ベーパー News-paper 新聞紙
 ニユース・ルーム News-room 新聞雜誌閱覽室、新聞雜誌發賣所
 ニユウセキ 入籍 戶籍に入る、こと

ニユウセン 乳腺 乳の出るくだ
 ニユウセン 入選 帝展へ入選す等
 ニユウショウ 入超 輸入超過のこと、外國貿易に於て買入總額より多いこと
 ニユウチョウ 入朝 外國の使がくること
 ニユウトウ 入湯 湯に入るること
 ニユウトウ 乳糖 乳の中の糖分
 ニユウトウ 乳頭 ちくび
 ニユウトウ 入黨 政黨に加はること
 ニユウネン 入念 念をいれる
 ニユウバイ 入梅 つゆのいり
 ニユウハク ショク 乳白色 乳の如き白色
 ニユウバチ 乳針 藥を調合する小さい針
 ニユウヒ 入費 いらぬ

ニユウビ	乳糜	食物の胃でこなれたもの	ニヨウゼツ	饒舌	多言、おしやべり	ニル	烹・湘	調味してにる也、烹人は料理人をいふ
ニユウフ	入夫	女戸主と婚姻をする男子	ニヨジュ	女婿	古昔内侍司以下諸司に属したる女官、掃除・點燈などの事をつかさどりたるもの	ニル	熟	充分ににる也
ニユウフコ	入夫婚姻	戸主たる女と或る男との間に於て男をその女の家に入らしむる者の意思を表示したる婚姻	ニヨゼ	如是	かくの如く、その通り	ニルヴァナ	涅盤	涅槃、佛教でいふ理想的の解脱境
ニユウブツ	入佛	初めて佛像を安置すること	ニヨタイ	女體	女のからだ	ニレ	楡	木の名
ニユウボ	乳母	うば	ニヨホウ	如法	かたの如く、もとよりの意	ニワ	庭	家の前後にある空地
ニユーム	アルミ、アルミニウムのこと		ニラ	蕪	草の名	ニワカ	俄	須臾也、まもなく也
ニユウメン	入麵	煮たそうめん	ニラム	睨	ねめつける、睨	ニワカ	遽	物の急に來る也、驟雨
ニユウヨク	入浴	湯に入ること	ニル	似	説文に象とあり、其のものらしき也	ニワカ	暴	物の思ひがけなく、突然急に來る也、人の頓死を暴死
ニユウロウ	入牢	らうやへはいること	ニル	肖	おもかげがいきうつしなる意	ニワカ	頓	漸の反對、次第なくすみやかなる也
ニヨイ	如意	佛家の具	ニル	煎	火去汁也、汁の乾くまで煮つめる也	ニワカ	卒・猝	急遽の意、暴頓に近し、倉卒
ニヨウ	尿	小便	ニル	煮	調味せず、たゞ煮わかす也	ニワカ	仁和賀	おどけ芝居、俄踏
ニヨウゴ	女御	中宮に次ぐ高位の女官、至尊の廢御に侍する者	ニル					

ニワタズミ	行潦	溜水の流るゝもの	リニイダイ	任意代理	本人が代理人を於ける代理をいふ辯護士に訴訟を委任せるが如し	ニニン	認印	俗にいふみとめ印、大ならざる場合に用ふる印
ニワトコ	接骨木	木の名	ニシツ	任意提出	出せと言はれなれど差出すこと	ニシカ	認可	特定の行爲に法律上の効力を與へる處分をいふ、警察取締を受くる或組合の規約の認可の如し
ニワトリ	鶏	鳥の名	ケツゴウキ	任意的結合	法令の命ずる結合したるもので無効に依つて即ち各人の自由意思で結合したるをいふ	ニシカイ	人外	人の道にはづれた人
ニシ	任意	自由なる自己の意思に従ふこと、他の抑壓制限を受くることなきをいふ	リシラベト	任意ノ取調	取調を受くる者の承諾を得て其任意の陳述を聴取するをいふ	ニシカシン	認可申請	認可して貰ひ度いといふことを申出でること
ニシイカン	任意鑑定	醫者其他鑑定を人に任意に鑑定をして貰ふことをいふ	ニシイフカ	任意附款	當事者が隨意にくつつけた條項をいふ	ニシカン	任官	國家の任命を受けて私人が官吏たる身分を取ること
ウニシキョ	任意共犯	必要共犯でない犯即ち本來一人にて犯すことの出來る罪を二人以上通謀して犯すをいふ	ニシイホウ	任意法	應許法又は聽客法に從ふと否とは各人の自由任意に任す法律、民法國法の任意法より成る	ニシカンジ	任官辭令	何々官に任ずといふ、官記
ムニシサイ	任意債務	此の家屋を引渡すべし或はこの家屋の代りに金二千圓を引渡すことあるべしと云ふが如き債務をいふ	ウニイリョ	任意領置	所有者所持者等物等を保管するをいふ、返せといふ請求がある	ニシキ	任期	在職の期限
ニシユイトウ	任意出頭	強制を受けない署又は検事局に出頭するをいふ				ニシギョ	人魚	人の形をしてゐる想像上の魚
						ニシキョ	認許	認めゆるすこと

ニンキョウ	認許證	埋葬又は火葬を許すことといふ市町村長の書面
ニンキョウ	任俠	をとこだて
ニンギョウ	人形	木偶
ニンゲンケ	人間權ノ奪還	同一人間權利を取戻すこと、先年橋本縣の某資産家の息子が平社員だが、資産家は結婚を望んだが、資産家は許さぬ、そこで娘の方で許さぬ、その成立は、従来奪還であるとて、運動した
ニンゲンセ	人間性	人の持つ善悪長短、引つくる意味にも悪性、従つていふ意味にも用ふ
ニンゲンミ	人間味	眞實の人間らしい神でもない、陰險残酷な悪魔でもない人間の本性がそのまゝに出たやうな味ひ
ニンシキ	認識	知ること、認むること、五官の作用又は
ニンシキ	認識主義	推理の作用に依り或る事實の存在若は不存在を知知することといふ、或事を知つてゐることをいふ
ニンジユ	人壽	人のいのち
ニンジュ	仁壽	人をめぐみ壽命を長くする
ニンジュツ	忍術	しのびの術
ニンシヨウ	人稱	人代名詞の種類
ニンシヨウ	人證	裁判で事實の真相を材料を認識する爲に用ふる思なる場合に之を人證といふ
ニンシヨウ	認識	職務上權限を有する官吏又は公吏が或る事實の存在を認定して之を證明すること
ニンジョウ	刃傷	刃物にて人を傷けること
ニンジョウ	人情	人間の情
ニンシヨウ	認許	原本と同一なる公吏が職權内に於て其職務に附記して證明したる體本をいふ
ニンジン	妊娠	子をはらむこと
ニンズ	人參	胡蘿蔔、人蔘
ニンズ	任	まかす、やくめとする
ニンズ	人數	ひとかず
ニンセツ	任設	代理人を設定すること
ニンセン	人選	人えらび
ニンソク	人相	人のさうがう
ニンソク	人足	にんぶ
ニンタイ	忍耐	たへしのぶこと
ニンタク	認諾	相手方の請求又は申し立てを至當なりとして之を認める所の意思表示
ニンチ	任地	役についてゐる土地

ニンチ	認知	私生子を自分の子であると云つて其關係を確定することといふ
ニンチセ	認知請求權	私生子が其母に對し自分の實子たることを法律上明かに認めて其籍に入れよと請求する權利をいふ
ニンテイ	認定	推定の意味、此の如き考ふることに
ニンドク	忍冬	植物の名
ニンニク	大蒜	植物の名
ニンニク	忍辱	佛教でしのびこらへること
ニンビニン	人非人	ひとでなし
ニンブ	妊婦	妊娠してゐる婦女子
ニンフイメ	Lymphomania	女の色情狂
ニンメ	任命	官吏關係を發生せしむべき行政處分なり、即ち國家が私人に對し
ニンメ	任命領事	選擧領事又は名譽領事なり、即ち本國の任命を受けて外國に駐在する處の領事
ニンメン	任免	官吏を任じ又はこれを免すること
ニンメン	人面	ひとのかほ、一獸心を免すること
ニンヨウ	任用	職務に任じ用ふること
ニンヨウ	認容法	當事者間に別段に行はる、契約の無い場合ふ、例へば民法第八十七條第二項の如し
ニスジ	西筋	東京市場で大阪筋のことといふ（取引所用語）
ニラミアイ	睨み合ひ	相場の変動しいこと（同上）
ウバイキョ	任意競賣	裁判上の競賣に利者が任意に執達吏に委任して物の競賣を行はしむること
サンイセイ	任意清算	法定清算に對する處分方法を定款又は社員同意にて定むる清算方法
ニンキカブ	人氣株	花形株に同じ（取引所用語）

ヌイ	刺繡	手藝の一種	ヌカス	吐	物いひを罵る語	ヌキモノ	拔物	ぬすみもの
ヌイアケ	縫揚	着物のからげ	ヌカスク	叩頭	頭をさげて禮をする	ヌキンデル	挺	抽櫃
ヌイトリ	縫取	ぬいとること	ヌカミソ	糠味噌	糠と鹽とをまぜ貯へたもの	ヌク	擢	同じもの、中よりぬき出す也
ヌウ	縫	糸を針につけてきしつづる	ヌカモミ	糠糶	ぬみの皮、即ちあらぬか	ヌク	挺	自らぬき出る也、挺身ぬき出す也、拔刺、拔擢
ヌード	ヌーボース	ヌーボース式	ヌカリ	脱	ておち	ヌク	抽	ひき出す意あり、抽斗しんをぬく也
ヌーボース	ヌーボース	同太さ	ヌカルミ	泥濘	泥道	ヌク	振	ぬけてはだかになる也ぬく
ヌーボー	ヌーボー	同太さ	ヌキ	貫	柱を横にぬきとほした材木	ヌク	脱	ぬく
ヌーボー	ヌーボー	同太さ	ヌキ	緯	はたのよこいと	ヌク	貫	つらぬく
ヌーボー	ヌーボー	同太さ	ヌキ	抜足	靜にあるくこと	ヌク	拭	すりけす、ふく
ヌーボー	ヌーボー	同太さ	ヌキ	抜書	抄書、抄録、抄抜に同じ	ヌク	温	あつきはひ
ヌーボー	ヌーボー	同太さ	ヌキ	抜差	ぬきだすとさしこむ	ヌク	温	あた、ぬく、ぬくむ
ヌーボー	ヌーボー	同太さ	ヌキ	脱棄	ぬきすつること	ヌク	脱穴	酒りぬけらる穴、拔
ヌーボー	ヌーボー	同太さ	ヌキ	拔手	拔手を切つて泳ぐ	ヌケアナ		

ヌケガケ	拔驅	人にかくれて先がけすること	ヌノザラシ	布晒	曝布	ヌル	塚	下地の見えぬやうに塗る、すきまをぬる
ヌケガラ	脱殼	ぬけがは	ヌボコ	瓊矛	玉にてかざれるほこ	ヌル	坊	こて、轉じてこてを用ひてかべを塗る義
ヌサ	幣	神に奉るもの、にぎて、みてぐら	ヌマ	沼	池の如くに泥深き處	ヌルマユ	微温湯	ぬるき湯
ヌシ	塗師	ぬりものし	ヌメ	純	書畫をかくに用ゐる光	ヌレギヌ	濡衣	無實のうき名
ヌシミギキ	盜聽	立ぎき	ヌメル	滑	すべる、なめらか	ヌレネズミ	濡鼠	びつしよりぬれること
ヌスム	盜	人の物をとる也	ヌラクラ	滑	しまりなきこと	ヌレバ	濡場	芝居の懸の場面
ヌスム	賊	人をおびやかす也、物をぬすむにかぎり不廣く用ふ	ヌラス	濡	うるほす	ヌレボトケ	濡佛	野天の佛像
ヌスム	竊	人目をしのびこつそりとぬすむ	ヌリイタ	塗板	黒板			
ヌスム	偷	人の目をばづす也、偷し開	ヌリガエ	塗換	「ぬりかふ」の説			
ヌスム	攘	こなたへ來りたるものをとめて返さぬ也、隣家の鶏が逃げ來りしをぬすみて返さぬ如き	ヌリゴメ	塗籠	古の納戸のごときも			
ヌタ	沼田	食品の名、一あへ、一いなます、沼田はあて字	ヌリモノ	塗物	うるしのうつは			
ヌタク	轉轍	のたくる	ヌル	塗	泥なり、轉じて壁などふべつたりとぬるに用			
ヌノコ	布子	布で仕立てたきもの	ヌル	填	上ぬりをする義			

補遺

ヌキニ	拔荷	運送人が貨物を抜き取ること	ヌケ	抜け	小僧をして出來相場を通報せしめること
ヌケニ	抜け荷	税關を懸ざる密輸出入貨物			

ネ	根	草木のね	ネイモウ	猿猛	ドウモウの誤	ネオ・アイ	オ・クラシズム(新古典主義)等用ひられる
ネ	値・直	あたひ、ねだん	ネイリバナ	寢入端	睡りに入った瞬間	Neo-Idealism	新理想主義
ネ	音	おと	ネーヴァル	Naval review	観艦式	Neo-Orientalism	新東洋主義
ネ	寐・寝	ねる事、ねむる事	ネーヴィー	Navy	海軍、艦隊	ネオキ	寢起
ネ	寐・峰	山、山の高き部分	ネーション	Nation	國民、國家	ネオロジス	ねたりおきたり
ネ	寐・汗	睡眠中にかく汗、盜汗	ネーチュア	Nature	自然、天性、資	ト	Neologist
ネアセ	寐汗	同上	ネーティヴ	Native	生來の、土着の、自	ネオ・ロイ	Neotomantism
ネイカン	倭奸	正直に見せ内心悪きこと	ネーブル	Noble	然の、土人、内地人	マンチシズ	Neotomantism
ネイキ	寢息	ねてゐる内のいき	ネーブル	Navel	ネーブル・オレンジの説	ネオン・サ	Neosign
ネイジツ	寧日	やすらかな日	ネーブル	Navel	ネーブル・オレンジの説	イン	Neosign
ネイジン	倭人	口先上手なわるい人	ネーブル	Navel	ネーブル・オレンジの説	ネガ	Neosign
ネイベン	倭辯	口さきのうまいこと	ネーブル	Navel	ネーブル・オレンジの説	陰畫	Neosign

ネカウ	願	のぞみこふ	ネギラウ	醉	酒食を以て兵をねざら	ネサメ	寢覺
ネカエリ	寢返	ねた體のむきをかへる又11を打つ	ネギル	直切	直段をへらさず、こ	ネサヤ	直輔
ネカケ	根掛	女のかみかざりの一	ネギワ	寢際	ねしななじ	ネジ	螺旋
ネカシモノ	滞貨	久しく賣れずに店に	ネクタイ	襟飾	ネック・タイの説、ネ	ネジギリ	振錐
ネカス	碯	かうぢをつくる	ネグビ	寢首	眠れる人の首を斬る	ネジキル	振切
ネカティウ	消滅的、(寫眞)原版、陰畫		ネグラ	埒	鳥のねどこ	ネジクル	振
ネガワクワ	願	願ふ所は	ネゴサ	寢蓆	夏期寝る時用ふるご	ネジケモノ	拗者
ネガン	寢棺	寢たま、入れる棺	ネコゼ	猫背	せなかをまげるこ	ネジメ	根締
ネギ	葱	草の名	ネゴト	寢言	睡眠中に物いふこと	ネジメ	音締
ネギ	彌宜	神官の名	ネコナデ	猫撫	やさしく觸ぶること	ネショウベ	寢小便
ネギシ	根岸	山麓に沿うた地	ネコババ	猫婆	依托物を使消すること	ネズノパン	不寢番
ネギラウ	輜	飲食物を贈りて兵士を	ネゴミ	寢込	よくねて何も知らぬ	ネズミ	鼠
ネギラウ	勞	つかれをなぐさめる、	ネコロブ	寢轉	横にねる	ネセシテイ	Necessity

ネセツサリ	Necessary 必要な、必然の	ネツキョウ	熱狂 夢中になり狂ふこと	ネツチユウ	熱中 思ひこむこと
ネゾウ	寝相 ねざま	ネツキング	Zecking 異性を抱擁して首筋に接吻する愛の意志表示、情熱的で積極的な戀愛行為である、アメリカでドライブの男女が運轉臺でこれをやるので交通事故でこれをやるのを州法を以てこれを禁止してゐる	ネツト	Zeta 網、正味
ネソビレル	失眠 ねぞこなふ	ネツク・タ	Zecurie 洋服の襟飾	ネツトウ	熱鬧 さわがしく混雑すること
ネタ	根太 床下の横木	ネツケ	根付 きんちやくなどのかざりの一	ネツビョウ	熱病 熱のある病
ネダイ	寢臺 しんたい、ベッド	ネツコク	熱國 あついくに	ネツレツ	熱烈 非常にはげしきこと
ネタム	妬・妬 りんきする義	ネツサマシ	解熱劑 薬の名	ネテイトウ	根抵當 將來發生すべき債権の爲めに豫め設けられたる、例將來甲が金銭の必要を生じた場合に乙より一千万に達する迄借用することとを約しその抵當として田舎反を抵當となし置くが如し
ネタム	娼 夫が婦をねたむ義	ネツジョウ	熱情 非常に強い情	ネドイ	根問 くはしくきくこと
ネタム	嫉 にくむとも訓む、他人の善事をそねみにくむ	ネツセイ	熱誠 あつきまごころ	ネトボケル	寢惚 ねぼける
ネタム	猜 そねむ、うたがひてねたみうらむ	ネツセン	熱線 光線といふ如く熱の線を云ふ	ネナシゴト	根無言 無根の流言、つくり言
ネダル	強請 しひてこふ	ネツゾウ	捏造 こねまごてつくること、でつちあげる	ネバツク	粘着 ねばりつく
ネツキ	熱氣 あつい氣	ネツソウ	熱想 その中に燃ゆるが如		
ネツギ	根繼 柱の根を他の木で補ふこと				
ネツキユウ	熱球 強く投げられた球				

ネハン	涅槃 不生不滅の義	ネメル	睨 いらむ	ネワラ	寢薬 寝る時に布く薬
ネビエ	寢冷 ねてゐる間に冷氣に犯さる	ネヤ	閨 ねどこ	ネンエキ	粘液 ねばりあるしる
ネビキ	根引 根ながらひきぬく、落籍	ネラウ	狙 めざす、すきをうかゞ	ネンエキシ	粘液質 刺戟を受けること、對して活氣がない、然し萬事に中庸を得て極端に走らない性質、氣質の一
ネビラキ	値開 賣買價の差	ネリキヌ	練絹 ねつて柔にした絹	ネンカイ	年回 忌日
ネブミ	値踏 大體價を當つて見ること	ネリベイ	練塀 塀土	ネンガク	年額 一年間のたか
ネブル	紙・舌 舌にてなめる義	ネル	寢 臥也、ねどこに就く也	ネンカン	年鑑 年々の要事をしるした書
ネブル	舌のさきにてねぶり取る也	ネル	寐 ねいること	ネンガン	年鑑 おもひねがふこと
ネブル	吮 すふともいふ、舌にてねぶりとする	ネル	臥 横になり息むこと也	ネンキ	年紀 とし
ネボウ	寐坊 朝おそくまでよく寝てゐる人	ネル	眠 目を合せてとろ／＼とねつく也	ネンキユウ	年級 學年の組
ネボケ	寢惚 ねぼけること、ぼんやりすること	ネル	眠 眠と同じ、目ひしぐ也	ネンキン	年金 一定若くは不定の期間内毎年定期に給付する金員
ネマキ	寢卷 ねるときゝるきもの	ネル	睡 みねわり也	ネンキン	年金 一定若くは不定の期間内毎年定期に給付する金員
ネム	合歡木 木の名	ネル	遼 そろ／＼とあるく、除行	ネンキン	年金公債 年金法により利分とを合して毎年償還する公債、その種類に三あり有
ネムケ	眠氣 ねむくなること	ネル	練 灰汁で煮て柔くす、きたへる		

ネンキンサ	年金債権 下渡を受けて毎年 利又は金租の如し 取る権利の如し	ネンシヤ	念寫 無念無想精神を集中 すること(不透明物質中)に密封 した寫眞乾板に、ある事物 を寫し出すこと、千里眼の 一と見られてゐるが、未だ 判然たる科學的研究は出来 てゐない	ネンド	粘度 ねばりの度合
ネンゲ	粘華 花をひねること	ネンシユ	年首 としのはじめ	ネンド	粘土 ねばつち
ネンゴ	年號 年の名	ネンジュ	念誦 念佛と讀經	ネント	年度 事務又は會計處算其 他の便宜によりて區 別したる期間
ネンゴロ	懇 しんせつにする義、ま ごころを以てかりなく する義	ネンジュ	念珠 珠數	ネントウ	念頭 心のうへ
ネンゴロ	慇・慇 かへすん、もおろ そかに思はざる義	ネンシユツ	拈出 ひねり出す、捻出	ネンバイ	年配 としのころ、年輩
ネンゴロ	丁寧 二字通用す、くりか へしいふ義	ネンシヨウ	燃燒 もやし無くすること	ネンバンガ	粘板岩 鑛物の名
ネンゴロ	款 誠をつくして人に交る	ネンシヨウ	燃燒作用 もえるはたらき	ネンブ	年譜 その人一代の年代記
ネンゴロ	苦 無理に求むる義、懇求 はわりなく請求するこ と	ネンシヨウ	燃燒物 もえる物	ネンブ	年賦 一定の金額等を或る 年限の間に分割して 毎年支拂ふことをいふ
ネンシ	年齒 年齢のほど、よはひ	ネンセイ	粘性 ねばり附く性質	ネンブツ	佛念 六字の名號をとなへ ること
		ネンチャク	粘着 ねばりつくこと	ネンボ	年甫 ねんし
		ネンチュウウ	年長者主義 皇位の繼承 順位相續の	ネンボウ	年俸 一ケ年を標準として 定めたる官吏俸給の

補遺

ネンマク	金額、但し毎月々割支給 粘膜 粘液を出す膜	ネボレ	値惚れ 只何んとなしに其 の値段で賣り又は 買ひたいと云ふ感を起すこ と(同上)
ネンリ	年利 一年間の利子	ネマチウリ	値待賣 相場上騰の時騰を 計り賣り建てをな すこと(同上)
ネンリョ	念慮 おもんばかり		
ネンリョウ	燃料 燃す材料		
ネンリン	年輪 樹木の横断面に現れ る輪状		
ネンレイ	年齢 とし		
ネゴロ	値頃 主観的に見て賣又は 買に適切なりとする 値段(取引所用語)		
ネッシンス	熱心筋 賣、買何れか一方 のみを固守する連 中(同上)		
ネバリアヒ	粘り合 相場が成る程度に 粘つて變動しない こと(同上)		

ノ	筥	矢の竹のところ
ノ	野	のら
ノ	之	指す也、これと訓むとき、は上を主として指す、のと訓むときは下を主として指す
ノ	ノアラシ	野荒 作物の盛みをするこ と、又は其人
ノ	喃	人を呼びかけることば
ノ	腦	頭蓋骨の中に包まれ中 樞神経系の前端に位す る神経塊
ノ	能	はたらき、能樂の略
ノ	能	らみ
ノ	No	拒否或は不賛成の語、「然 らず」「否だ！」の意
ツ	ツウイツケ	腦溢血 病氣の名
ノ	ノウエリス	Novelist 小説家
ノ	ノウエル	Novel 小説
ト	トヴェレツ	Novellette 中篇小説
ノ	ノウエン	濃艶 つや／＼してあだつ びい
ノ	ノウカイ	農會 農事の改良發達を計 る爲めに設けらる、 公共組合をいふ
ノ	ノウカイ	納會 一番仕舞ひの會
ノ	ノウカイ	濃漬 うみつぶれる
ノ	ノウガイ	腦蓋 なががいこつ、頭蓋 骨
ノ	ノイカウ	No-cont 勸定に入れないこ と
ノ	ノウガキ	能書 こうのうがき
ノ	ノウガク	能樂 猿樂
ノ	ノウギョウ	農業 農作のわざ
ノ	ノウキョウ	能狂言 能樂の狂言
ノ	ノウケイ	農藝 農業、一化學
ム	ムーデー	No game 野球用語、兩子 ムが未だ五回の攻撃を完 了しない時に降雨、暴風そ の他の事柄で中止した場合 の宣告である
ノ	ノウコウ	濃厚 こきこと
ノ	ノウコウギ	農工業勞役 農業又は工 業の勞役者
ノ	ノウロウギ	先取特權 業の勞役者 が雇主より 受取るべき賃銀につきその 勞役によりて生じたる果實 又は製作物の上に有する特 別の先取特權、農業に於て は最後の一年間の勞役賃 銀、工業に於ては最後の 三ヶ月間の勞役賃銀にのみ この權あり
ウ	ウッコツド	納骨堂 骨をさめる堂
ノ	ノウサツ	惱殺 なやます
ノ	ノウサン	農産 田畠にできるもの

ノ	ノウシ	直衣 古の服の名
ノ	ノウジ	能事 効あるしごと
ノ	ノウジ	叢時 いつぞや、一日、
ノ	ノウジュウ	膿汁 はれもの、うみしる
ノ	ノウジュウ	腦充血 病の名
ケ	ケツ	能書 字をよくかくこと
ノ	ノウショ	腦漿 腦の粘液、腦のしる
ノ	ノウショウ	腦震盪 病氣の名
ト	トウシン	腦髓 神経の中樞
ノ	ノウズイ	No-smoking 禁喫煙
ノ	ノースモ ーキング	納税 税金ををさむること
ノ	ノウゼイ	納税ノ義務 國家の一般 る爲め税金を分に應じて納 むべき義務
ノ	ギム	納税ノ義務 國家の一般 る爲め税金を分に應じて納 むべき義務
ノ	ノウセキズ イマクエン	腦脊髄膜炎 指定傳染病 の一
ノ	ノウゼンカ ズラ	凌霄花 草花の名
ノ	ノウソウ	農桑 農業と養蠶
ノ	ノウタン	濃淡 こいうすい
ノ	ノーチス	Notice 注意、告示、通牒
ノ	ノウチュウ	囊中 ふくろの中
ノ	ノウテン	腦天 頭
ノ	ノート	Note 記號、疊書、手形、ノ ートブックの略
ノ	ノッド	濃度 こい度合
ノ	ノッドウテ キ	能動的 自分から他に働き かけること、受動 的の對
ノ	ノット、 ブック	Note-book 手帳、雜記帳
ノ	ノウハン	農繁 農事にいそがしい
ノ	ノウヒツ	能筆 能書
ノ	ノウビョウ	腦病 病の名
ツ	ツウヒンケ	腦貧血 病の名
ノ	ノウフ	納付 をさめる
ノ	ノーブル	Noble 貴族的、氣高き、高 尚な、優雅な
ノ	ノー・ヘッ	No head 頭がない、無能、 學生等がよく用ふ
ノ	ノーベル シヨウキン	Nobel Prizes 瑞典の科學者 ベルンバード・ノーベル氏 の遺言によつて物理・化學・ 生理學・醫學・文學に當る 文學上の著作、國平和に 貢獻した行爲の五項に分ち その最も卓越した功者に 賞金として各八萬圓を毎年 授與することになつた、賞 金はその遺産千八百萬圓の 利子
ノ	ノウベン	能辯 ものいひの巧みなこ と
ク	クノホゴコ	能保護國 保護國を保護す る國家、かつて 韓國を保護國とせる日本の 如し
ノ	ノウマク	腦膜 腦をつむまく

ノーマル	Normal 正規の、模範の	ノガイ	野飼 野でかうこと	ノコル	残 せこなふとも訓む、あれのこる義、残花、残月
ノーマル・スクール	Normal-school 師範學校	ノガル	逃・遁 にぐるを見よ	ノコル	遺 形見にのこす也
ノウミンケ	農民藝術 ト	ノガレコウ	逃口上 にげことば	ノコル	貽 人の爲めになるやうに物をのこしおく也
ノウリツ	能率 一定時間に対する仕事成績の割合	ノキ	軒 屋根のたれたる所	ノコル	剩 あまる、満ちて其の上に残るにいふ、餘也
ノウリョウ	納涼 すゞみ	ノギ	芒 稲藁などの穂のとげ	ノザラシ	野晒 きれこうべに同じ
ノウリョク	能力 行爲を爲すべき身置或る事を爲し得る力、即ち行爲を自分で爲すことの出来る資格をいふ	ノギク	禾 のぎへん、漢字の偏の名	ノシ	野晒 贈物につけるもの
ノウリョク	能力 法律上の人の能力をいふ	ノキバ	野菊 野にさく菊	ノシアガル	野上 のびあがるに同じ
ノウリョク	能力喪失 能力者たる資格を失ふこと	ノキバタ	軒端 のきのした	ノシウメ	野斗梅 菓子の名
ノウリョク	農林省 農林・水産・畜産及米穀法の實行に關する事務を管理する省	ノク	軒端 のきのした	ノシモチ	野餅 平たくのばしたもち
ノウリョク	農林省 農林・水産・畜産及米穀法の實行に關する事務を管理する省	ノケゾル	退 しりぞく、さる	ノス	伸 のばす
ノウリョク	農林省 農林・水産・畜産及米穀法の實行に關する事務を管理する省	ノケル	仰反 うしろへそりかへる	ノセル	職 のす
ノウリョク	農林省 農林・水産・畜産及米穀法の實行に關する事務を管理する省	ノコギリ	鋸 木竹など切る具	ノソク	除 とりのける

ノソム	望 高きをのぞみ、遠くを望む也	ノット	祝詞 神前でよみあげるのり	ノソム	宣 偏くあらはし、ひろむる也
ノソム	臨 高きより見下す也、又身分の尊き人が卑き人にのぞむにも用ふ	ノットル	乗取 のりとり	ノソム	布 濡りなくしきのべ列ぬる也
ノソム	泣・泣 泣と同義なるも用法せまし	ノットル	則 ならふ	ノソム	展 ひらきのぶる義
ノソム	眺 遠くをながめ望む也	ノド	咽 のんど、喉	ノソム	申・伸 屈の反対
ノソム	観・観 二字連用して望むまじき事をこひねがひ望む義	ノドカ	長閑 しづかなること	ノソム	延 ひきのぶる也
ノタマワク	宣 ノタマワクに同じ、告(ノ)り給ふの略、いふの敬語	ノドブエ	喉吭 のんどのふえ	ノソム	紆 ゆるむ也
ノタレジニ	倒死 行きだふれて死ぬること	ノノシル	罵 悪言を以て人に加ふる義	ノソム	野太 づぶとし
ノチゾイ	後添 後妻	ノノシル	野 罵より意輕し	ノソム	野邊 のはら、のら
ノツキル	乗切 のりきる	ノバラ	野薔薇 草花の名	ノソム	延取引 三日以上百五十日の定めたる期日(例へば百日目)に現品を附すべき買賣契約をいふ
ノツク	Knock 打つ、敲く、訪問	ノヒル	野蒜 草の名	ノソム	延拂 日限をのべて代金を仕拂ふこと
ノツケル	載 のせる	ノフ	陳 物をならべ立つる意、言葉に用ひても一々數へたて、とく也	ノソム	逆上 上氣、ぎやくじやう
ノット	Knot 節とかく、わが十六町五十八間、船の速力などにふ、海里、運	ノフ		ノソム	職 はたの類

ノボリツメ	登詰	最上まで登りきるこ と
ノボル	升	降の反対、すきみのぼ る也
ノボル	昇	升と同じ、後に日を加 へたる也
ノボル	陞	階をのぼり、官にのぼ るに用ふ
ノボル	登	上也・進也、物の上に のぼる也
ノボル	上	下なるものが上になる といふ意より轉用し て、のぼると訓む
ノボル	騰	おどり上る也、奔騰・ 飛騰
ノボル	陟	階の反対、官位をおし あぐる也
ノミ	蚤	蟲の名
ノミ	鑿	木にあなをほる具
ノミ	呑み	(株式) 申買人は株の 買主を客から依頼さ れた場合、取引所へ出 入用) 自出せは相當の 手数料を着服する、こ れが呑み
ノミカケ	飲殘	のみて途中にやめる
ノミクセ	飲癖	飲む時のいろ／＼な くせ
ノミクチ	呑口	酒を呑む様子、樽の 中の液體をつぎ出す 口
ノミシロ	飲代	酒をのむ金
ノミホス	飲乾	少しも残さず飲みは たす
ノム	呑	物をかますに、丸のみ にする也
ノム	飲	湯水などをのむ也、轉 じて飲聲・飲氣・飲レ 根などを用ふ
ノム	咽・嚥	つばをのむ也、一 口づつのんどへの みこむ也
ノメル	前倒	前へ倒れる
ノメズリコ	轉倒	のめつてすべり陥る
ノラ	野良	野・畑
ノライヌ	野犬	飼主の無い犬
ノラクラモ	懶惰者	なまけもの
ノリ	法	ならひて手本とする也 それ／＼に定まりたる 法度なり
ノリ	則	法也・式也・物のかた 也、金を鑄るにいた 法の爲す也、それ／＼ の制度様式也
ノリ	式	法の法なり
ノリ	刑	作法なり、その作法に 合ふやうにする也
ノリ	儀	ぶんまはし、圓形を正 す具
ノリ	規	具しがね、方形を正す 具
ノリ	矩	法也、多くは國家の大 なる法典の義に用ふ
ノリ	憲	水草の名
ノリ	海苔	ものねばしつくるも の、轉じて「かゆ」、口 すぎ糊口
ノリ	糊	或る區間を 多数の客を
ノリアイジ	乗合自動車	

ノリカエ	乗換	のりかへること
ノリキ	乗氣	心のはずみに乗ること
ノリクミ	乗組	舟にのりあふこと、 一員
ノリジ	乗地	ノリキに同じ
ノリスケ	糊着	のりでひつける
ノリツケ	乗付	常にのり馴れたこと
ノリト	祝詞	ノットに同じ
ノリモノ	乗物	人の乗り行くもの
ノルマル	Normal	常規の、規則的
ノレン	暖簾	看板
ノロイ	遅	おそい、鈍い
ノロウ	呪詛	
ノロケ	惚氣	他人に語る痴話
ノロシ	烽火	狼煙
ノロノロ	遅々	のろいさまにいふ
ノロマ	癡漢	おろかなひと、愚鈍
ノンキ	和氣	延氣の約、心配なき こと、呑氣
ノンコ	厚顔子	ぶら／＼しい人
ノンス	トッブ	止まらなうこと
ノンダクレ	泥酔漢	よつばらひ
ノンド	咽喉	口の奥より食道につ づくところ
ノンビリ	悠然	のび／＼
ノンペンダ	徒爾	なすことなしにくも すこと
ノウカイ	納會	毎月末に於ける最終 後の値段をつけることをも 云ふ(取引用語)
ノウガクコ	納額告知書	納税義務者 額を告知し其の義務の履行 を命ずる文書
クチシヨ	納税告知書	國稅徵收に 際し一定の
ノセダマ	納稅保證	税金に就て收稅官吏より書 面にて通知したる金額に依 り納稅人に対し、金額期日 場所を記載したる書面
ノセモノ	乗せ玉	賣附又は買附後相 場が有利に變じて 玉數を増したること(取引所 用語)
ノベカブ	後物	定期取引に於て契約 後三ヶ月目に受渡す もの(同上)
ノミヤ	延株	一定の期日に至らざ れば利益の配當を受 けるを得ざる株式を云ふ (同上)
ノリカヘ	吞屋	客から委託された賣 買を取引所で執行せ すに、之を執行した様容に 通知することを爲す者(同 上)
	乗替	賣買何れでも近い期 限になつた玉を受渡 しせず 賣り又は買ひ替をする こと(同上)

は

ハ 双 きれもの、は
ハ 端 はし、はた
ハ 羽 通りのね
ハ 羽 はたがしら
ハ 派 えだ、わかれ、くみ、なま
ハ 把 束ぬたる物を数ふるに用ふ
ハ 葉 植物のは
ハ 齒 ものをかむは
ハ 場 ばしょ
ハ Bar 高踏の横木、蹴球のゴール・ポストの横木を云ふ、同じ綴り、同じ言葉で、酒場の意味がある、わが國で

ハ パーセント Percentage 百分比例、百分率、割合、歩合
ハ パーセント Percent 百につき、百毎に、符合%
ハ パーソナル Personal 自己の、個人的、私的
ハ バアタリ 場當り 演説會又は劇場などのする面々がらせて、一般向大向の聴衆や観客の喝采を博すること
ハ パーティー Party 黨、黨派、連中、會合
ハ ハート Heart 心、心臟、中心、心臟の如き形
ハ パートナー Partner 仲間、同志、社交ダンスの相手、特に女のパートナーをさして、男はラキヤベリエ(女のパートナー)とよぶことがある
ハ ハードル Hardle 障礙物
ハ ハーフト Half-tone 濃淡の中間の色調
ハ ハーモニー Harmony 和音、諧調、調和、和合
ハ バアヤ 乳母 しば又は年とつためしつかひ女

ハ ハーセ—ハイオ

ハ ハーセ—ハイオ

ハ ハーセ—ハイオ

ハ ハーセ—ハイオ

ハ ハーセ—ハイオ

ハ ハーセ—ハイオ

ハ ハーセ—ハイオ

ハ ハーセ—ハイオ

ハ ハーセ—ハイオ

ハ ハーセ—ハイオ

ハイオレツ	Violet すみれ、藍色	ハイカキ	灰掻 灰をかきならす道具	ハイキョ	廢墟 すたれたふるきあと
ハイオロジ	Biology 生物學	ハイカラ	高襟 Highcollar 「高い襟」一般には外國好みのおしやれの意、流行を追ふ新らしいの意、やゝ輕薄な侮蔑的な意味が含まれてゐる	ハイキョウ	背教 をしへにそむくこと
ハイカ	廢家 戸主が其家を消滅せしむる行為を云ふ、新に家を立てたる者は廢家を繼承したる者は裁判所の許可を得るにあらざれば爲すことを得ず	ハイカン	廢官 やくがなくなること	ハイギン	廢業 業をやめること
ハイカ	配下 てした	ハイカン	拜觀 をがみ、ゝること	ハイギン	拜吟 つゝしんで吟じること
ハイガ	拜賀 つゝしみやよろこびを申上る	ハイカン	肺肝 肺と肝、心のうち	ハイギン	微菌 病の原因等になる下等植物
ハイカ	倍加 二倍にすること	ハイカン	廢刊 新聞雜誌の發行をやめる	ハイキンシ	拜金宗 何事もこの世は金唯一最高のものと拜み奉る考
ハイカイ	徘徊 さまよひまわること即ち一定の目當なく歩行すること	ハイカン	肺患 肺のやまひ	ハイク	俳句 十七文字の詩
ハイカイ	俳諧 歌の一種又ほつゝ	ハイキ	廢棄 のぞきすてる、民事の規定に背反したる部分ありたる場合に、その背反したる部分の效力を失はしむること	ハイグ	拜具 手紙の最後に書く語
ハイカイ	敗壞 やぶれくづれる	ハイキ	拜跪 をがみひざまづく	ハイグン	敗軍將 けをしみをいふな
ハイカイ	媒介 なかだち	ハイキ	拜跪 をがみひざまづく	ハイグ	配偶者 夫婦の關係に在る者の配偶者であり妻は夫の配偶者である
ハイカウ	排貨運動 他國の製品物貨を排斥するたためることに、ポイコウト	ハイキ	排氣鐘 空氣を拔出す器	ハイケイ	拜啓 つゝしみ申す

ハイケキ	排擊 せめおしのけること	ハイシ	廢弛 すたれること	ハイシヨ	配所 流されたところ
ハイケン	佩劍 劍をおびること	ハイシ	稗史 小説又は小説的の歴史	ハイジョ	排除 とりのける
ハイコ	廢鋼 終身仕へることのできぬこと	ハイジ	拜辭 貴人にいとまごひすること	ハイショウ	拜誦 つゝしんでよむ
ハイコウ	廢興 と、興廢	ハイシ	倍蓰 數を幾倍にもすること	ハイジョウ	拜承 つゝしみうけたまは
ハイコウ	配合 つりあひ	ハイジク	敗衄 敗亡、まける	ハイショウ	陪乘 車につきそひの事
ハイコウ	媒合 密賣淫のとりもちをすること	ハイシツ	廢疾 かたはやまひ	ハイショウ	賠償 自己の責任に歸すべき行為に於て他人に損害を與へたる場合にその損害に對する支拂を爲すこと
ハイコクド	賣國奴 自己の利益のため國に賣る破廉恥漢	ハイシヤ	齒醫者 齒科醫	ハイショウ	廢娼運動 遊廓の存在は人道上、風紀上、又は外國に對しても甚だ不面目、よろしく全廢して娼妓を正業に就かせよといふのがその主旨
ハイコマ	駝螺 小供がこまのやうにまはす貝、近頃蠟燭の飾り	ハイシユ	媒妁 なかだち、仲立	ハイショウ	賣笑婦 金品の代價を得て不特定の男子と交接する婦女をいふ
ハイサイ	配劑 くすりをあはすこと	ハイシユウ	胚種 たね	ハイショウ	賠償利息 債務者が債務の場合に約定に基づき損害の賠償として債權者に與ふる金銭をいふ
ハイサン	敗殘 戦にやぶれたこと	ハイジュウ	買收 かひとる	ハイショウ	
ハイシ	敗子 家をつぶすどうむすこ	ハイシュツ	輩出 はんべりしたがふ	ハイショウ	
		ハイシュツ	排出 おしだすこと		

ハイニンザ	背任罪	他人の事務を處理する者が自分又は第三者の利益を圖り又は本人に損害をかける目的を以て其任務に背いた行為を以し、本人に財産上の損害を加ふる罪である
ハイノウ	背囊	兵士のかたに負ふもの
バイバイ	賣買	當事者の一方が物又は権利を相手方に移すことを約し、相手方がこれに代金を支拂ふことを約するによつて成立する契約
バイバイケ	賣買契約	一方が或財産権を他方に移すことを約し、他方がこれに代金を支拂ふことを約する契約
バイバイノヨヤク	賣買ノ豫約	將來賣買のうといふ約束をいふ
ハイハン	背叛	そむくこと
ハイハン	廢藩	藩をやめること、一區縣
ハイバン	杯盤	さかづきとさらはち
ハイヒ	拜披	ツ、しんでひらく
ハイビ	拜眉	おめにかゝる
ハイヒソケ	廢罷訴權	債務者が債権者を知つて債権者に損害を及ぼすべき行為を爲したるとき債権者が其行為の取消を裁判所に訴へる權利をいふ
ハイビョウ	肺病	病の名
ハイヒン	陪賓	正賓と供によられた客
ハイフ	肺腑	はいざうのこと、又心のおくそこ又親戚
ハイフ	配賦	分配と同義
ハイフ	拜舞	よろこびのまひ
ハイフ	背部	身體のうしろの部分
ハイフ	背復	口 謹しみて返事すること
ハイフク	佩服	身におびる、心にとめる
ハイリニウ	配流	しまながし
ハイリョ	配慮	心をくばること
ハイイル	這入	いりこむこと
ハイレイ	背戻	そむくこと
ハイレイ	悖戻	みちにたがふこと
ハイレイ	陪隸	ともびと
バイレイト	Pirate	海賊、海賊船
ハイレツ	排列	ならべること
ハイ・レリ	Hirellet (彫刻)	高浮彫、浮彫のうち一番肉の厚いもの
ハイロウ	肺勞	肺けつかく
パイロット	Pilot	案内人、水先案内
ハウタ	端唄	俗謡の一
パウダー	Powder	粉、火薬
パウテ	場歴	其場のありさまにそれて勇氣を落すこと
ハイブツ	廢物	すたれもの
バイブル	Bible	基督教の聖書
バイブレイ	Vibration	震動、顫動
ハイブン	俳文	俳句の味のある文章
ハイブン	配分	わけくばること
バイブン	賣文業	文章の代作や添削等を職業とするもの
ギョウ	敗報	まけたしらせ、敗聞
ハイボク	賣卜	うらなひ
クインスト	クインスト	Heimat Kunst 郷土藝術
ハイミ	俳味	俳味の趣味、即ち一種獨得の洒脫な情趣
ハイメン	背面	うしろがは、うしろむき
ハイヤク	背約	約束にそむく
バイヤク	賣藥	醫師の指示を待たず自家醫治の爲めに使

バイヤクセ	賣藥稅	賣藥を營業とする者に課する租税に印紙を貼用せしめて納税に代へしむ
バイヤクテ	賣藥的	形式的の意、名稱や效能書のみ並べて、内容のそれに副はぬこと
ハイユウ	俳友	はいくのなかま
ハイユウ	俳優	やくしや
ハイヨウ	佩用	身におび用ゐること
バイヨウ	培養	つちかひやしなふ
ハイラン	悖亂	もとみだれる
ハイリ	悖理	だうりにはづれたこと
ハイリツ	廢立	やめたり、たてたりすること
ハイリニウ	配流	しまながし
ハイリョ	配慮	心をくばること
ハイイル	這入	いりこむこと
ハイレイ	背戻	そむくこと
ハイレイ	悖戻	みちにたがふこと
ハイレイ	陪隸	ともびと
バイレイト	Pirate	海賊、海賊船
ハイレツ	排列	ならべること
ハイ・レリ	Hirellet (彫刻)	高浮彫、浮彫のうち一番肉の厚いもの
ハイロウ	肺勞	肺けつかく
パイロット	Pilot	案内人、水先案内
ハウタ	端唄	俗謡の一
パウダー	Powder	粉、火薬
パウテ	場歴	其場のありさまにそれて勇氣を落すこと
パウンド	Bound	球などが跳上ること
ハエ	蠅	虫の名
ハエ	鮓	魚の名、鱈
ハエ	映	みえのよいこと
ハエギワ	生際	髪の一
ハエヌキ	生拔	其の土地生まれの、11の江戸子あざやかに立派に見える
ハエル	映	はたがしらと王
ハオリ	霸王	はたがしらと王
ハカ	羽織	衣服の上に着るもの
ハカ	破瓜	女の十五六歳頃をいふ
ハカイ	破戒	戒をやぶること
ハカイ	破壊	物をぶちこぼすこと
ハガイ	羽交	鳥の兩翼を交へた所
ハカク	破格	格を破ること、例外

ハカジルシ	墓標	死者の俗名又は戒名を木や石などにかけつけて、墓の上に建てて又け植木を植ゑなどする	ハガユシ	齒癢	じれつたいこと	ハカル	議	事の宜しきを評議する也
ハガス	剝	へがすこと、はぐ	ハカラズ	不圖	ふいと	ハカル	畫	圖に近し、もと眼をひきて此通りがよからんと指圖する意
バカス	魅	だます、化す	ハカリ	秤	物の輕重を知る具もくらみ、策、籌	ハカル	衡	はかりのさを也、轉じて左右を見合せ公平にはかる義
ハカセ	博士	博學の人、學位の名は「はくし」	ハカリゴト	謀	物の數をかぞへる也、總計・心計	ハカル	詢	とひ謀る義
ハカセ	佩刀	さしたかたな	ハカル	計	心に慮る也、人と相談してはかるに用ふ	ハカル	裁・材	心にきりもりして宜しきかなふやうにはかる義
ハカドル	抄	仕事のすゝむこと	ハカル	謀	ます也、轉じて分量をつもり見る	ハカル	破顔	わらふこと
ハカナシ	儻	果敢し、とりとめなし	ハカル	量	ものさし也、轉じて大、度、速、度などを用ふ	ハキ	破毀	一度裁判に依りて判決ありたるを上級の裁判に依りて無効ならしむるをいふ
ハガネ	鋼鐵	かたき鐵	ハカル	度	はかりのおもり也、物の輕重をかけて見るやうに、時に應じてさしひき見付くらう也、權謀、權變	ハキ	霸氣	人に頭立つ氣性すね
ハカバ	墓場	はかのあるところ	ハカル	權	見付くらう也、權謀、權變	ハギ	脛	すね
バガボンド	Vagabond	放浪者、無類漢	ハカル	測	物の深淺をはかる也	ハギ	萩	草花の名
ハカマ	袴	腰につける衣、一羽織	ハカル	商	彼此をつもりはかる也	ハキキ	羽利	勢力ある人のこと
ハカマ	苞	花などのけかま、	ハカル	策	一つ／＼にはかる也			
ハガミ	齒嚙	はぎしりをかむこと						

ハキケ	吐氣	嘔吐の氣分	ハキハギ	接接	つぎはぎに同じ	ハク	略	嘔に同じ、嘔血、今誤りて略の字を用ゐる非也
ハキザイ	破棄罪	公務員の施したる封印又は捺押の標示などを破つたり毀したりするによつて成立する罪をいふ	ハキモノ	履物	すべて足にはくもの段々に及ぶ、影響すること	ハク	掃	はらひきよめる
ハキジハン	破毀自判	上告裁判所がして自ら事件に付て有罪・無罪・免訴等の判決をするをいふ	ハキユウ	波及	こはれかどみ、夫婦わかれ	ハク	穿	履、うがつ
ハキシリ	齒軋	齒をかみ合せきしらすこと	ハギョウ	破鏡	こはれかどみ、夫婦わかれ	ハク	矧	はがす、はぎとる
ハキダス	掃出	掃除すること	ハギレ	覇業	諸侯の旗がしらとなること	ハク	矧	矢をつくる
ハキダメ	掃溜	ごみだめ	ハク	齒切	どーのい、東京辯など	ハク	矧	矢をつくる
ハキチガヒ	穿違	思ひちがひ	ハク	消	金銀を薄くのばしたるたましひ	ハク	矧	矢をつくる
ハキノハン	破毀ノ判決	原判決に違なる點があることを認め、原判決を無効とする判決をいふ	ハク	魄	たましひ	ハク	矧	矢をつくる
ハキノモチ	萩餅	ぼたもち	ハク	佩	刀や衣を身につけること	ハク	矧	矢をつくる

ハクウン 薄運 運の悪い
 バクエキ 博奕 ばくちのことをいふ
 ハクガイ 迫害 悩ます
 ハクガク 博學 學問のひろきこと
 ハクガン 白眼 ちらむ
 ハクギ 薄儀 手うすき謝禮
 バクギ 博戯 賭博をやる者の成動
 花札に依るばくちをいふ
 ハグキ 齒莖 齧の根を包むところ
 ハグクム 育 学ぶ、羽合、そだてる
 ハクゲキ 駁撃 他人の説をうつこと
 ハクケキ 搏撃 うちたたくこと
 バクテキ 莫逆 互にしたしくして逆
 ハグサ 莠 田にはえる雜草

ハクサイ 白菜 菜の一種、山東、
 ハクサイ 舶載 ふねにのせる
 ハクザツ 駁雜 いろいろまじれること
 ハクシ 博士 學位の名、はかせ
 ハクジ 白字 白ぬきの文字
 ハクシヨウニ 白紙委任状 委任状は委
 任者、受任者、委任契約
 成立の年月日を記載するこ
 とを要するものなれども受
 任者が不確定なる爲之を省
 略することあり、この委任状
 者なき委任状を白紙委任状
 といふ、白紙委任状は有效
 也
 ハクシキ 博識 知識のひろいこと
 ハクシシユ 白紙主義 臨機應變主義、
 色にもよく適合するやう
 に、その時々都合によつ
 て、巧に相手と妥協などし
 て、物を都合よく運ぶとい
 ふ主義
 ハクジツ 白日 ひるま

ハクシヤ 拍車 乗馬者の鞍の踵につ
 ける金具
 ハクシヤ 薄謝 手うすき謝禮
 ハクシヤク 伯爵 爵の名
 ハクジヤク 薄弱 かよわきこと
 ハクシユ 拍手 手をうちならすこと
 バクシユウ 麥秋 麥のとり入れ時、舊
 曆五月
 ハクシユク 伯叔 兄と弟
 ハクシヨ 薄暑 夏のはじめのあつさ
 バクシヨ 曝書 本のむしほし
 ハクシヨ 白書 英國の又は最近調査
 事件に關する議會の
 文書、外交文書用紙が白色
 なるより來る
 ハクジョウ 薄情 人情のうすいこと
 ハクジョウ 白狀 白自すること、有體
 のまゝ答へる
 ハクジョウ 白色恐怖 赤色恐怖に對す
 る反ソビエツト

ハクシヨク テロ 白色テロ 白色恐怖、その
 項參照
 バクシン 轟進 まつしぐらに進むこ
 と
 ハクジン 白刃 ぬきみ
 ハクセイ 剝製 鳥獸標本製作の一法
 バクセイ 爆聲 爆發の音
 ハクセキ 白哲 ましろきこと、一
 人種
 バクゼン 漠然 ばつとしてゐること
 バクゼン 轟然 まつしぐら
 ハクソ 齒屎 はにたまるかす
 バクダイ 莫大 きはめて大きなこと

ハクダツ 剝脱 はがし落す
 ハクダツ 剝奪 はぎとること、けづ
 りとること
 バクダン 爆彈 ばくれつだん
 ハクチ 白痴 全くの馬鹿、ひどい
 低能をいふ
 バクチ 搏打 かけごと、博奕、遊
 戲等の勝負ににより財
 物の受授を爲すこと
 バクチュウチ 搏徒 搏打をやる人
 バクチク 爆竹 とんどの火
 バクチバ 搏打場 ばくちを爲す場所
 ハクチュウ 伯仲 兄弟
 ハクチュウ 白張 服の名又其服をきる
 人
 バクチン 爆沈 爆發してしづむこと
 バクテリア Bacteria 黴菌、細菌
 バクト 博徒 ばくちうち

バクト 麥奴 麥のくろほ
 ハクドウ 白銅 白眞鍮又はニッケル
 を言ふ
 オクトウ 白頭翁 老いたる男
 ハクトク 薄徳 とくのうすいこと
 バクトケツ 博徒結合 博徒を集めて利
 を圖るをいふ
 ハクネツカ 白熱化 極度に熱すること
 最高點まで熱する
 こと、狂熱的
 バクバク 漠漠 まつとひろがつたさ
 バクバク 冥冥 物しづかなさま
 バクハツ 爆發 破裂すること
 バクハツ ツブツピン 爆發質物品 火薬類で無
 すべき性質を有つてゐる物
 品
 バクハツツ 爆發損壞罪 火薬等を爆發
 せしめて物を
 破壊する罪
 バクハツツ 爆發物 火薬類である否
 とを問はず爆發す

ハクハン	麥飯	むぎめし	ハクボク	伯母	父母の姉	シクリユウ	麥粒腫	病名、ものもらひ
ハクビ	白眉	すげれたこと、秀逸	ハクマイ	白墨	チヨウク	バクリヨウ	幕僚	語計畫に携はる人、陸海軍の司令官又は總督等に直屬して、參謀の事務にあたる將校
ハクヒョウ	薄氷	うすいこほり、轉じてあやういこと、一を踏む	ハクメイ	舶米	外國米のこと、舶來の白米の意	ハグル	撥	はざまくる
ハクフ	伯父	父母の兄	ハクメイ	薄命	ふしあはせ	ハグルマ	齒車	齒のついた車
ハクフ	幕府	武家が政治する所	ハクメン	薄明	うすあかり	バクレツ	爆裂	バクハツと同じ
ハクフ	瀑布	たき、瀧	ハクメン	白面	年の若いこと、一の書生	ハグレ	逸	道づれの人を見失ふ
ハクフツ	博物	動物學、植物學、礦物學及地質學の總稱	バクヤク	爆藥	爆發力を有する藥物	ハクレン	莫連	女のすれからし
ハクフン	博文	漢文に句讀調點を施さるゝもの	ハクリ	舶來	外國からくること	ハクロ	ハグロ	鐵漿
ハクフン	博聞	ひろくき、しること	ハクリ	會逸	はぐれるやうにする、そらす	ハクロ	ハクロ	暴露
ハクヘイセ	白兵戰	手づめの勝敗、白刃を拵つて戰ふ、決闘、轉じて、選戰運動に接するもの	ハクリ	博覽	ひろくみること	ハクロ	ハクロ	白蠟
ハクボ	薄暮	たもがれどき	ハクリ	薄利	利益のうすいこと	ハクロ	ハクロ	博勞
			ハクリ	剝離	物をはぎ取るをいふ	ハクロ	ハクロ	麥醃

ハクロー——ハサミ

ハクロー	暴露文學	左翼文學で、實弊的事實を無差階級意識の上から暴露することによつて、プロレタリア社會建設の目的を達しようとするものである	ハクロー	箱乘	汽車で客の品物を盜む盜賊	ハサミ	齧	齧などのほきみ
ハクロン	駁論	他説を論じやぶる	ハケル	化	ばく、かける	ハサマ	狭間	あはひ
ハケ	流通	ながれとほること	ハケン	權權	諸侯の頭に立つ權力	ハサマ	介	物の間にはいる、挟る
ハケ	刷毛	ちりをはらふ具	ハケン	派遣	さしつかはすこと、官吏又は使節を出張せしむる意なるも、出張といふよりは使命の重大なる場合に用ひらる	ハサマ	齧	齧などのほきみ
ハゲ	秃	髪をぬけたあと	ハケン	馬見場	競馬を見る場	ハサマ	齧	齧などのほきみ
ハゲアト	秃痕	髪をぬけたあと	ハケン	馬券賣買	競場營業者と客との間に行はるる馬券賣買の買賣をいふ	ハサマ	齧	齧などのほきみ
ハゲアト	秃痕	あと	ハケン	箱	匣、篋、篋	ハサマ	齧	齧などのほきみ
ハゲアト	秃痕	あと	ハケン	羽子板	小兒の玩具	ハサマ	齧	齧などのほきみ
ハゲアト	秃痕	あと	ハケン	破獄	牢屋を破る	ハサマ	齧	齧などのほきみ
ハゲアト	秃痕	あと	ハケン	函迫	一種の婦人の持ち物	ハサマ	齧	齧などのほきみ
ハゲアト	秃痕	あと	ハケン	齒應	噛んだ物の齒にふれる程あひ	ハサマ	齧	齧などのほきみ
ハゲアト	秃痕	あと	ハケン	箱庭	箱の中に作たる庭の模型	ハサマ	齧	齧などのほきみ
ハゲアト	秃痕	あと	ハケン	箱庭	箱の中に作たる庭の模型	ハサミ	齧	齧などのほきみ

ハサミ	鉄	物をはさみきる具
ハサミウチ	挾撃	両方からはさみうつこと
ハサム	剪	はさみできる
ハサン	破算	おいた算盤珠をけすこと
ハサン	破産	債務者が負債が多くて凡ての債権者に満足の支拂が出来ないとき裁判所の手で一切の財産整理をするをいふ
ハサンカン	破産管財人	破産者の財産を管理し正当なる債権者に正当にその財産を配當する職務を有する者
ハサンキカ	破産機關	破産裁判所、破産管財人、監査委員、債権者の集合等の如く破産手続を有効に進行せしむる所の機關を云ふ
ハサンザイ	破産財團	破産者の有する財産及び破産手続中に破産者の得たる財産を云ふ
ハサンシヨ	破産裁判所	破産事件を取扱ふ裁判所
ハサンシヤ	破産者	所なり、區裁判所の任に當る破産法の定めたる所破産の宣告を受けたる者
ハサンシユ	破産主任官	破産手続を指揮監督する主任の役人なり、主として破産裁判所の判事この任に當る
ハサンセン	破産宣告	澤山の借財がある者が債権者の申立に因り債権者の財産整理をする爲め「債務者某を破産者」としといふ裁判をする其裁判をいふ
ハサンテツ	破産手續	法人が裁判所か破産宣告を受け依つて財産の整理等後始末をするをいふ
ハシ	橋	河や池にかけるはし
ハシ	箸	食物をはさむはし
ハシ	嘴	鳥蟲などの口ばし
ハシ	端	物のとぎれるはし
ハジ	植	木の名
ハジ	耻	慚、愧、羞
ハジ	麻疹	病の名
ハシカ	橋懸	能舞臺のはなみち
ハシガカリ	端書	手紙の端にかき加へる文、又木の序文
ハシガキ	媒	なかだち
ハシカケ	生薑	しやうが
ハジカミ	彈	たわめてはなつ
ハジク	端	物のきれはし、きりくづ
ハシクレ	舢	小さい舟
ハシケ	罅裂	裂け開ける、まみわ
ハシケル	梯子	高き上る具
ハシゴ		

ハシコイ	敏	はたらき鋭し、すばや
ハシゴノミ	梯子吞	はしごぎ
ハシズメ	橋詰	はしのためと
ハシタ	半	はんば、不足
ハシタ	下賤	いやしい身分
ハシタヤク	賤官	いやしい役人
ハシタヤク	馬耳東風	うまのみ、にか
ハシトウ	端縫	はぬひに同じ
ハシヌイ	初	はじめ、はじめてと用
ハジメ	始	はじめ、はじめてと用
ハジメ	肇	はじめあつて終り無きに用ゐる、だん／＼と開け始むる也、肇國何にても新に爲し始むる也、創設、創作
ハジメ	創	
ハシユツ	首	頭首の義、一番がけにの意
ハシユツ	甫	始也、多くははじめてと訓む
ハシユツ	破邪	不正をやぶること
ハシユツ	馬車馬的	好難置擲の考へ後から追立てられるやうに仕事をすること
ハシユツ	Pajama	西洋ねまき
ハシユツ	燥	かわく、子供が調子にのる
ハシユツ	播種	たねをまく
ハシユツ	派出	てわけて出させる
ハシユツ	派出所	公務員をして本署の名なり、官廳に非ず、逕査派出所等
ハシユツ	派出婦	各種の臨時の需め種々の技能を備へた婦人を集めおき需用者を要するところへは事務端を、餐館などには料理端を、掃除洗
ハシユツ	走	かけりゆく義、奔走、飛走
ハシユツ	奔	走よりは更に勢ひよくに後れんことを恐るゝ意
ハシユツ	橋渡	仲介をすること
ハシユツ	馬術	うまをつかふじゆつ
ハシユツ	波状	波がた
ハシユツ	芭蕉	草名、ばせを
ハシユツ	破傷風	病の名
ハシユツ	播植	種をまきうること
ハシユツ	馬謖	人名、涙を揮つて一斬る
ハシユツ	端折	ちぎめて短かくはし
ハシユツ	競争	はしりくらべ
ハシユツ	走	かけりゆく義、奔走、飛走
ハシユツ	奔	走よりは更に勢ひよくに後れんことを恐るゝ意
ハシユツ	橋渡	仲介をすること

ハシル	趣	早くこばしりをする義	ハズ	辱	はづかしめ也、榮の反	バスト	Basst (映畫) 凡そ半身大に攝影すること
ハス	蓮	水草の名、はちす	ハズ	愧、媿	愧也、己の見苦しき人を對しはづる也	ハスパ	蓮葉 婦人の心淨々して貞操なきこと
ハス	斜	な、め	ハズ	慙	愧に略ぼ同、はづると訓みはぢと訓ます	ハズバンド	Husband 主人、夫
ハス	馳	早く眞直にはしる也	ハズ	羞	はぢてまばゆく、顔の合せがたき也	パスポート	Pass-port 旅行免狀
ハス	驚	縦横に疾くみだれ馳する也	ハズ	忸、怩	昔にはづる意	ハズミ	機勢 きはかへること、よきしほ
ハス	驅	かると訓む、馬に鞭うちて早くはしらす義	ハズ	赧	はぢて赤面する也	ハズム	反跳 ねかへる、勢にのる
ハス	騁	目的の所まで一さんに直くはしる也	ハズ	詬	悪口せられてはづる義	ハズレ	端 はし
ハズ	馬爪	龍甲のまがひ品	ハズエ	場末	まちはずれ	パス・レリ	Bastillet (彫刻) 薄肉彫淺彫りの浮彫
ハズ	ハズバンド (Husband) の略	お亭主のこと	ハズガケ	斜掛	はすかひに同じ	ハゼ	沙魚 魚の名
ハズ	Bass (音樂) 最低音		ハズカシメ	辱	はぢを與へること	ハゼ	黃楨 木の名
ハズ	Bath 湯屋、湯殿、浴場、沐浴		バスケット	Basket 籃、手さげかご	はぢを與へること	ハゼル	爆 火がさけひらく
ハズ	Bus 乗合自動車、乗合馬車		バスケット・ボール	Basket-ball 高い所にかけた籠へボールを投げ入れる競技	はぢを與へること	ハセン	波線 波形の線
ハズ	恥	はぢ、はづる、心に恥かしく思ふこと	バステル	Pastel 色鉛筆に似てや、粘りあるもの	はぢを與へること	ハセン	破線 點線

ハソク	頼側	かたよる	ハタオリ	機織	はたをおること、又虫の名	ハタヌキ	肌脱 肌をぬぐこと、力を入れること
ハソク	破損	やぶれいたむ	ハタカ	裸	むきだしの中からだ	ハタバコセ	葉煙草專賣 葉煙草を賣家の獨占事業となし一般人は特に國家から指定せられた者で無ければこれを爲すことを許さないことをいふ
ハタ	旗	旗、幡	ハタギ	肌着	はだにつけるきもの	ハタハタ	姦姦 虫の名、バツタ
ハタ	機	布を織るはた	ハタケ	疥癩	肌にでるふきでもの	ハタミ	肌身 からだ
ハタ	邊	へり、ふち、そば	ハタケナ	菘菜	菜の名	ハタモト	旗下 大將の本陣
ハタ	將	上の句を打ちかへすとき用ゐる	ハタゴ	旅籠	やどや	バダライ	馬鹽 馬を洗ふ鹽、又生花の道具
ハタ	抑	はたと訓むときは將に同じ	ハタザオ	旗竿	はたをたてる竿	ハタラク	働 つとめなす、活動
ハタ	二十	二じふ	ハダシ	跣	足に下駄などをはかぬこと	ハタン	破綻 やぶれほころびること
ハタ	Butter 牛酪、牛の乳からとった脂		ハタシアイ	果合	ころしあふこと	ハタン	破談 相談がやぶれること
ハタアゲ	旗揚	軍を起すこと	ハタシテ	果	あんのごとくにと譯す、決也、驗也と註す	ハチ	鉢 食器の名
ハダイ	蘭代	人力車の借りちん	ハタツケ	肌付	はだぎに同じ	ハチ	蜂 虫の名
ハダエ	肌	膚、ハダ	ハタト	碯	平手うつ音の容、又はつたり	ハチ	撥 さみせんのばち

ハチ バチ	桴 抱、太鼓などうつ棒	ハツ ハツ	果 しとげたこと	ハツカイ 發會 はじめての會
バチ 調 自然とくるとが	ハツ 書物のおくがき、結末	ハツ 踏 社会的に一部に踊る或る勢力、一種の學問、出身學校を中心とした學問、結婚關係による閥閥等、勢ひ、自己又は味方の一派を多しにする傾きあつて弊害が多い	ハツ 踏 踏	ハツカク 發覺 みつかる、發見せられること
バチエラー Bachelor 大學得學士、マスターの次位、男の獨身者	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	二十日鼠 鹿鼠
ハチク 淡竹 竹の名	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	白禍論 White-pell 家の唱ふるところ、即ち歐米人は基督教徒として多く、不和とか愛とかを口にしながら、一方東洋人を黄禍の名目で排斥驅逐し、一方東洋諸國の要所々々に手をつけてある、彼等こそ禍をなす者である
ハチク 破竹 竹をわるること、勢よ	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツカク 發覺 みつかる、發見せられること
ハチシカン 八四艦隊 一艦隊の主力艦八隻と巡洋艦四隻とするもの、このほか相當の巡洋艦、砲艦、水雷母艦、水雷艇、潜水艇、特務艦が附屬する	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツカク 發覺 みつかる、發見せられること
ハチハチカ 八八艦隊 一艦隊の主力艦八隻、巡洋艦各八隻とするもの、之に相當の巡洋艦砲艦等が附屬する	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツカク 發覺 みつかる、發見せられること
ハチマキ 鉢巻 頭に布など巻くこと	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツカク 發覺 みつかる、發見せられること
ハチユウ 爬蟲 一類	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツカク 發覺 みつかる、發見せられること
バチルス Bacillus 一種の微菌(チブス、結核などの)	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツカク 發覺 みつかる、發見せられること

ハツキユウ 薄給 給料の少きこと	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏
ハツキョウ 發狂 氣の狂ふこと	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏
ハツキン 罰金 二十圓以上の財産刑	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏
ハツク 白駒 しろいこま、又時間	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏
ハツク Back 背中、うしろ、背景、後橋	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏
ハツク Back いたづら鬼、轉じて、漫畫、諷刺畫	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏
ハツク Back-ground 背景	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏
ハツクツ 發掘 ほり出す	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏
ハツクツザ 發掘罪 墓を掘り返す罪	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏
ハツダン 拔群 非常に優れてゐる	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏
ハツケ 八卦 易の八種の卦、うら	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏
ハツケン 發遣 おくりつかはす	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏
ハツケン 發言ノ自由 貴業兩院の議員は議院	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏	ハツ 踏 踏

ハツシユツ	拔出	ぬきだす	ハツセイ	拔萃	かきぬき	ハツチン	棍襦	も、ひき、股引
ハツシヨク	伐除移植	植つてある竹木を伐り倒したり	ハツセイ	發聲	こゑを出すこと	ハツテイ	八珍	支那で膳にもる盛な美味
ハツシヨウ	跋渉	わたりあること	ハツセイ	發聲映畫	「トーキー」の項	グワッテイ	發程	たびだち、かどで
ハツシヨウ	發條	ぜんまい	ハツセン	八專	縣の語、雨多き時季の稱	ハツテキ	拔擢	ぬきいだす、よりぬ
ハツシヨウ	發情	春情を起す	ハツソク	發送	おくり出すこと	ハツテンカ	發展家	盛んに悪所通ひする人、近頃は赤坂方面に發展するなども
ハツシヨネ	Passionate	熱情的、短氣な	ハツソク	罰則	何條に違反したる苦ある規定を罰則といふ	ハツト	エロト	ヘリ附の帽子
ハツシン	發信	音信を出す方	ハツソク	末孫	後胤	ハツト	エロト	野球の球をうつ棒
ハツシン	發疹	腫物の出ること	ハツタ	發兌	賣り出すこと	ハツト	エロト	端網
ハツシン	發信主義	受信主義の對語、即ち隔地者間の契約又は意思表示に就ては甲者の申込に對して乙者の	ハツタ	蟻蚨	昆虫の名	ハツナ	ハツニ	初荷
ハツシキ	罰杯	罰として酒を飲ますこと	ハツター	鮫	むぎごがし、食物の名、	ハツネツ	ハツネツ	發熱
ハツシキ	發賣禁止	出版法により内務大臣が安寧秩序を妨害し又風俗を壞亂するものと認むる文書圖書の出版物の發賣、又は頒布を禁止其別版及印本を差押ふることを云ふ	ハツタイ	ハッタ		コク	ハツノセン	罰ノ宣告

ハツバイ	罰杯	罰として酒を飲ますこと	ハツマゴ	初孫	はじめのまご	ハツラン	撥亂反正	世の亂を平げるとの正しき状態にかへすこと
ハツバイ	發賣禁止	出版法により内務大臣が安寧秩序を妨害し又風俗を壞亂するものと認むる文書圖書の出版物の發賣、又は頒布を禁止其別版及印本を差押ふることを云ふ	ハツメイ	發明	考へだすこと	ハツリ	末流	すまの子孫
ハツビ	法被	しるし半てん	ハツメイ	發明ノ専用	發明したる物を自分獨り自由に用ゆること	ハツル	硯	すこしけづりとする
ハツビ	Happy	幸ひな、安心せる、めでたい	ハツメイ	發明ノ専用	發明したる物を自分獨り自由に用ゆること	ハツレン	發聲	天子の御車の出ること
ハツビ	Happy ending	喜劇などのめでたい〜で終ること	ハツメイ	發明ノ専用	發明したる物を自分獨り自由に用ゆること	ハツロ	發露	あらはれ
ハツビ	Happiness	幸福、仕合せ	ハツヨウ	發揚	あらはしあげる	ハツロ	末路	死にきは
ハツビ	發表	衆人に示すこと	ハツヨウ	末葉	末流	ハツロ	果	をはり
ハツビ	發表	衆人に示すこと	ハツヨウ	末葉	末流	ハツロ	華	はなやか、華美、派手
ハツビ	發表	衆人に示すこと	ハツヨウ	末葉	末流	ハツロ	馬蹄	馬のひづめ
ハツビ	發表	衆人に示すこと	ハツヨウ	末葉	末流	ハツロ	伴天連	往時我國に渡來せし基督教宣教師の總稱、葡語 Padre の訳
ハツビ	發表	衆人に示すこと	ハツラツ	濃刺	元氣のいゝこと	ハト	Patent	專賣特許
ハツビ	發表	衆人に示すこと	ハツラツ	濃刺	元氣のいゝこと	ハト	鳩	鳩の名

ハトウ	波濤	おほなみ	ハナアヤメ	花菖蒲	草の名
ハトウ	罵倒	きつく罵ること	ハナアワセ	花合	闘花
ハトウ	馬痘	馬のはうさう	ハナイキ	鼻息	はなでするいき
ハトバ	波戸場	波止場、はとのあ る處	ハナイケ	花瓶	花を挿すかめ
ハトムネ	鳩胸	胸の前へ張り出すこ と	ハノウタ	鼻唄	鼻にかけてうたふ小 唄
ハトロシ	Patron	保護者、後援者、事 業に對するまじめな出資者 をいふのであるが、現在で は映画女優の扇風機、花柳 界の旦那等の意味にも用ひ られてゐる	ハナガタ	花形	人氣物、評判者、ス ター
ハナ	端	はし	ハナガミ	鼻紙	はなをふく紙
ハナ	涕	はなしる	ハナカム	擗	はなをぬぐふこと
ハナ	鼻	顔にあるはな	ハナカンザ	花簪	花の形した簪
ハナアカシ	鼻明	あてのはづれること、 だしぬかれること	ハナクソ	鼻屎	鼻の孔にたまる汚物
ハナアブラ	鼻脂	鼻のありに出る油 のやうな汗	ハナゴザ	花藪	關をいろ／＼の色に 染めて模様を織り出 したござ
			ハナコトバ	花言葉	Flower lang. 各花にそれ／＼の意味をつけて いつたもの、例へばアネモ

ネは「棄てられた」、黄菊は「恨んぜられた愛」、クロイ「等従て数種の花を集め、ある一つの纏つた意味を現はすことができる、今、女學生間に流行してゐる」

ハナツマミ	鼻摘	はなをつまむこと	ハナミチ	花道	劇場の舞臺の一部の 名、華道
ハナバシラ	鼻梁	鼻すじ	ハナムケ	餞	贈、旅立つ人に送る品
ハナハダ	甚	ひどく又はきつく、い みじく	ハナヤカ	花華	華美、華
ハナハダ	太・泰	此の上もなくなり 太極、太上	ハナレル	離	別々になる
ハナハダ	酷	至酷てひどき義、苛酷、 酷吏	ハナレゴマ	放駒	つなをはなれたうま
ハナハダ	絶	とび離れてなり、絶代、 絶好	ハナワ	花環	花にて作れる環
ハナフキ	鼻拭	ハンケチの類	ハナワ	塙	山のさし出でたる處
ハナフサ	花房	英	ハニーム	Honey-moon	蜜月（結婚後 の1ヶ月）新婚旅行
ハナフダ	花札	花合せを爲す札（十 月四枚宛合計四十八枚）、各 月四枚宛合計四十八枚	ハニカム	羞澁	含羞む、はづかしが る
バナマ	Panama	アフリカ産竹蘭科 の植物、その葉を原料とし て作つた帽子がバナマ帽	パニツク	Panic	經濟恐怖 キヨウコウ の項参照
ハナミ	齒並	はならび	パニアイ	Vanity	空しさ、空虚な、虚 榮心、浮華、自慢、ヴァニ テイ、フエアは（Vanity fair）虚榮の市、流行界
ハナミス	鼻涕	はなしる	ハニユウ	埴生	粘土のある地

ハニワ	埴輪	粘土にて作れる人形 の類
ハヌ	跳	をどり上る
ハヌ	劔	首をきりきる
ハヌ	撥	末をはらひ上ぐ、のけ る
ハヌイ	端縫	ふちぬひ、はしぬひ
ハヌケ	齒脱	はがぬける
パネ	泥穢	歩行の時泥のはね上 るもの
ハネ	弾機	はじきがね
ハネアガル	跳揚	とびあがる
ハネカエル	跳反	おてんばに同じ
ハネツキ	羽根突	遊戯の名、追一
ハネツケル	跳付	跳ねてもどす
ハネツルベ	桔槔	鵜釣瓶、つるべの一 種

ハネニ 撥荷 荷物の中から入り出
 して除いた物、雑船
 などの時海の中へ投げ捨
 てる荷物
 ハネル 撥 字などを書くときに文
 字をはねる
 ババ 祖母 婆
 ババー Papa とらさま(幼児の言葉)
 バハイズム Baisism ヘルシヤ人バツ
 ハウーラの御唱になる新
 宗教、世界人類の統一、全宗
 教の一致世界的平和等を教
 義としてゐる
 ハバカル 憚 おそれつゝしむ
 ハバキ 脛衣 きやはん、脛巾
 ハバキキ 幅利 勢力のある
 ハバタキ 羽撃 鳥の両翼を相うつこ
 と
 ハバム 沮 さまたげ支ふ
 ハビコル 蔓延 草などはへひろがる

バビソ 馬鼻疽 病氣の名
 バヒツノ 馬匹ノ去勢 牡馬の睪丸
 キョセイ を抜き取る
 バヒフツ 馬脾風 ギフテリヤ病の名
 ハフ 破風 屋の切棟の端の山形
 なる部
 ハフ 覇府 幕府
 ハブ 波布 琉球の毒蛇
 ハブク 省 除
 ハブタエ 羽二重 織物の名
 ハブリ 羽振 勢力、權威
 ハブリ 葉形 葉のかつから
 パブリック 公園、公衆の
 マカニ
 バフン 馬糞 うまのふん
 ハヘン 破片 かけら

ハボウキ 羽帚 羽のはらき
 ハホン 端木 はしたばん
 ハマオギ 濱萩 草の名
 ハマグリ 蛤 貝の名
 ハマナシ 濱梨 木の名
 ハマベ 濱邊 りみべ
 ハマル 塙 ほどよく入る、おぼれ
 ハミガキ 齒磨 ー粉
 ハミテル 食出 外へあまり出ること
 ハム エロコ 豚の臘肉を鹽につけ燻
 蒸その他の方法を加へた食
 料品、保存に適する
 ハムレット 英国文豪
 ピアの著、ハムレットは
 中の主人公、ハムレットは
 思想家であつて、懷疑、煩
 悶して、實行力がない人で

ハメ あるので、こんな型の人を
 稱し、斯くの如くに云ふ
 ハメ 羽目 かべの外をかこぶ板
 ばり、こまる
 ハメコム 嵌込 挿入
 ハメハズシ 嵌除 はめること、はずす
 こと
 ハメツ 破滅 やぶれほろびること
 ハモ 鱧 魚の名、ハエ
 ハモノ 端物 はしたのもの
 ハモン 破門 師弟の義を絶つこ
 と、信徒たる資格を
 うばふこと
 ハモン 波紋 みづのわ
 ハヤ 鮪 魚の名
 ハヤウチ 早打 急ぎのつかひ
 ハヤウチカ 早撃肩 脇筋の筋め肩の局
 所に充血していた
 ハヤオケ 早桶 棺桶

ハヤク 破約 約束をやぶること
 ハヤジニ 夭死 わかじに
 ハヤス 嘩 にぎはす
 ハヤテ 疾風 急にふき起るかぜ
 ハヤト 隼人 上古薩摩大隅に住せ
 し種族
 ハヤブサ 鶴 隼、鳥の名
 ハヤワザ 早業 すばしこい動作
 ハヤリヤマ 流行病 流疫
 ハユ 映 うつつる
 ハラ 腹 身體のはら
 ハラ 薔薇 草の名
 ハラ 零亂 ばら／＼、一まき
 ハライ 祓 神にいのり災難、罪穢
 などを拂ひ去ること

ハライサゲ 拂下 國家の所有する物件
 等を公共團體又は私
 人に賣渡すること
 ハライズミ 拂濟 勘定済
 ハライセ 腹癒 怒りをほらすこと
 ハライウタ 拂渡差押命令 破産者の
 シサシオサ 財團を他
 エメイレイ 判所の命令
 ハラウ 拂 等にてはくも、轉じて
 一いきにさらりと掃ふ
 ばつ／＼と少しづつは
 らふ也、拂ふにはらふ
 やうにする
 ハラウ 攘 推し除けてやる也、攘
 夷
 ハラウ 讓 いのりて災をはらひの
 ぞく
 ハラウ 祓 災をのぞき福を求むる
 意
 ハラウ 禊 みそぎして災をはらふ
 去也、治也、きたなき物
 などをよそへかたづけ
 てきつぱりとする義

ハラウ 刷 つけに拂ひ除きてさ
つばりと清める
ハラオカカ 抱腹 ひどくわらう
ハラオサグ 探腹 他人の心をためす
ハラオビ 腹帯 いはたおび
ハラカラ 同胞 きやうだい
ハラキリ 腹切 せつぶく
ハラゲイ 腹藝 無言でするかけひき
ハラゴ 胎兒 腹にやどつた兒
ハラゴナシ 腹消化 運動などして食物のこなれをたすける
ハラシュー Parashute 落下傘といふ、飛行機航空中、器械に故障など出来て下降の場合、その落下の程度を減少にするために用ふるもの
ハラス 腫 はれるやりにする
ハラス Ballast 地形用砂利(鐵道又

ハラソル 是道路の修復用、バラストが正しい
ハラダイス Paraisol (輸入用) 日傘、かうもり傘
ハラタマ 散彈 霰彈
ハラチガイ 腹遠 母親のちがふこと
ハラック Barack 假小屋、兵舎
ハラドック Paradox 自家撞着、反論、即ち甲は乙なりの立論に對して、甲は乙ならざる論が立てられた時、この二つの立論は互にパラドックスをなすのである
ハラバイ 腹這 はふこと
ハラマキ 腹卷 腹に巻く布
ハラム 孕 身ごもる、妊娠
ハラモン 婆羅門 Brahmin 印度宗
ハラワタ 腸 大腸

ハララン 波瀾 おほなみ
ハランス Balance 秤、平均、釣合
ハリ 螫 蜂などの
ハリ 鍼 醫者の用ふる
ハリ 刺 草や木のはり
ハリ 針 ぬいばり
ハリ 梁 家のはり、椽
ハリ 玻璃 ガラス
ハリ 罵詈 の、しるること、悪口
ハリ 張合 きそひあふこと
ハリ 鍼醫 はりでなほす醫師
ハリ 糊扇 紙でくるんだせんす
ハリ オウギ Horsepower 工率
ハリ キ 馬力 一重さ三萬三千ポンドのものを一呎の高さにあげる力

ハリキオカ 馬力をかける 一生懸命全力をあけてするの意
ハリコミ 張込 まちぶせ、みはる
ハリシゴト 針仕事 ぬいもの
ハリチョウ 罵詈嘲弄 悪口雑言をいひからかふこと
ハリツケ 磔 古の刑の名
ハリネズミ 蝟 獣の名
ハリバコ 針箱 仕事箱
ハリマゼ 張雜 種々の書畫をまぜて貼ること
ハリョウ 馬糧 馬のかいば
ハリン 破倫 人道にはづれた行ひ
ハリンドロ Palindrome 始よりするも終よりするも讀音相同じき語句
ハル 霽 晴

ハル 貼 のりではりつける
ハル 批 掌でうつこと、拊
ハル 腫 できものがはれる
ハルカ 遙 遠くはなれたること
ハルゴ 春蠶 春飼育する蠶
ハルコニー Balcony 張出縁、露臺、樓敷、外廊下
ハルゴマ 春駒 春の馬
ハルシネー Hallucination 幻覺、何等外部からの刺戟のないのに、ある物を見又は聞く作用、錯覺
ハルチザン Partizan 農民の武裝せる自衛團を云ふ、普通にバルチザンと云へば、普通なる農民の如く流布されてあるが、それ全然誤譯である、資本家の軍隊などが、國境を掠奪しに來ると、命令一武裝しに來ると立ち、最も勇敢に軍隊と戦ふ、か、る武

ハルバル 遙々 渡方より態々
バルブ 電氣の球、眞空管
ハレ Pulp 原質(種々の植物からとつた纖維)、主として製紙の原料
ハレイ 腫 はれあがること
ハレイ ショ Parade 行列、羽兵、その意味から色々例へば、パラマウント・オン・パレードとか、松竹レジュ・パレードとか、か、分列式的にちやん／＼勇ましく出て來る物に使ふ
ハレイ ショ 馬鈴薯 じゃがいも

ハレキ	晴着	りつばなきもの
ハレツ	破裂	やぶれさせること
バレット	Palette	洋画家が繪の具を合せ、 せるために用ゐる板、調色板
ハレモノ	陣物	できもの
ハレルヤ	Halleluyah	基督教にて神を讃むる時に用ふる語、神に榮光あれの意
ハレン	馬籠	籠の下に垂れ下げたもの
ハレンチ	破簾耻	はぢをはぢと感ぜざること、鐵面皮をいふ
ハレンチザ	破簾耻罪	特にばぢさらしとなる犯罪(民法八一三條四號に掲ぐる)
ハロウ	稜	きよめる、滅
ハロウ	波浪	なみ
ハロウ	破牢	牢をやぶること
ハロメータ	Barometer	晴雨計、氣壓計、例へば「その投票の數が彼

パン	田鶏	鳥の一種、鵄
パン	麵麩	麥粉にて製したる食物、葡語 Paao の訛
パン	Pan 皿、鍋	
パン	Pan「全」の意、日本では汎の字をあて、ある	
ハンアイ	汎愛	ひろく人をあいする
ハンアジャ	汎アジャ主義	Pan-Asianism
ハンイ	範圍	區域

ハンイ	犯意	罪を犯すの意思即ち犯罪の故意のことをいふ
パンイ	蠻夷	えびす
ハンウイ	犯意ノ表示	罪を犯さん外部に表はすをいふ
ハンエイ	繁榮	さかえること
ハンエイ	反映	てりかへす
ハンエリ	半襟	襟の上になむひつける襟
ハンエン	嬌婉	わだかまる
ハンエン	繁衍	しげりふえる
ハンカ	繁華	にぎはしいこと
ハンカ	反歌	かへしうた
ハンカ	晚霞	ゆふばえ
ハンカ	晩夏	なつのをはり
ハンカ	挽歌	死者を弔ふ詩歌

ハンカ—ハンケ

ハンカ	Hunger strike	飢餓同盟、英國の直接行動派の女子が、 政權論者が、警察に拘引された時、一つの戦術として、 絶食して警察を苦しめたこと とに始まつた言葉である、 略してハン・ストとも云ふ
ハンカイ	半解	半わかり
ハンカイ	挽回	ひきもどすこと
ハンガク	晩學	おそまなび
ハンガク	番傘	粗末なあまがさ
ハンカタ	晩方	くれがた
ハンカチ	手帕	手ふき Handkerchief
ハンカツ	半可通	なまものじり
ハンカワリ	番代	かはる／＼つとめる
ハンカン	反間	なかへだててるてだ
ハンカン	反感	面白くない感情

ハンガン	判官	慶應總督府法院に於ける裁判官にして内地の判事と等しき者
ハンカン	萬感	種々雑多な感じ
ハンカンテ	半官的	一半は政府の指揮に據るもの
ハンキ	半旗	大使館、軍艦等で、旗竿の半程に国旗を掲揚することであつて、それは哀悼の意を表はす
ハンキ	版木	印木
ハンキ	萬機	一國全體の政務
ハンギヤク	叛逆	そむきさからふ
ハンキユウ	半球	地球の半
ハンキョウ	反響	Echo 物理學上のあたつて響きかへすこと、 の意から、或る言論又は動作等が、何かの意味で世間の注意をひきそれ相當の効果を示すこと
ハンキョク	半玉	おしやく

ハンキョク	嬌曲	わだかまる
バンキン	軌近	ちかごろ
ハンク	半句	一句の半、少しのこと
バンク	Bank	銀行、土手、岸
バンク	Puncture	パンクチュアの體、 説、自動車・自轉車等のゴムに穴があくこと
ハングツ	半靴	みじかい靴
ハンケ	半夏	草の名
ハンケイ	半徑	直徑の半分
ハンケイ	萬頃	地面の廣い形容
バンケイ	晩景	くれがたの景色、夕
ハンゲキ	反撃	反對に撃つこと
ハンゲキ	繁劇	いそがはしきこと
ハンケチ	手帕	ハンカチ

ハンケツ 判決 裁判の一種で裁判所

ハンケツカ 判決確定 判決言渡があつ

ハンケツセ イホンケツセ 判決正本 裁判所が事件に

ハンケツツノ コクテツノ 判決ノ告知 判決を被告

ハンケツツノ シツコツツノ 判決ノ執行 判決に於て

ハンケツツノ ヘンコツツノ 判決ノ變更 判決に係るの外

ハンケツツノ 判決ノ變更 判決に係るの外訴
改むることを得ざるを原則
とすれども民法に於ける扶
養の程度方法が判決に依り
決定したる場合に判決の根
拠たる事實が如し

晩刻 ひのくれ

萬國 よろづのくに

萬國公法 國際公法と同じ

癢痕 きづあと

反魂 たましひをかへす

晩婚 おそい結婚

盤根錯節 極めて困難なる

反坐 故意に他人を罪に陥

煩瑣 うるさい

萬歳 いはひ唱へる語

犯罪 刑罰を科せらるべき

犯罪 刑罰を科せらるべき
行為をいふ、學理的
にいはば刑罰法に列擧せ
られたる有罰違法と行爲を

ハンウヨウ
キョウヨウ
ブツ

犯罪供用物 現實犯罪行

ハンサイケ
ンギ

犯罪嫌疑 罪を犯したる疑

ハンサイ
コウイノダイ

犯罪行爲ノ段階 犯罪行

ハンサイ
ウセイヨウ
ケン

犯罪構成要件 犯罪が成

ハンサイ
シャ

犯罪者 罪を犯した者

ハンサイ
ソウサイ

犯罪捜査 犯人某が何處に

ハンサイ
セイブツ

犯罪組成物 犯罪行爲を

犯罪組成物 犯罪行爲を
物件をいふ、例 組成したる
車の往來に危険を生ぜしむ
る爲め線路に横たへたる木
材の如き、行使罪の目的物

ハンサイチ

犯罪地 犯罪の行爲、結果

ハンサイ
テイケイ
ニン

犯罪人定型 犯罪人に

ハンサイ
シニキ
ワタ

犯罪人引渡 甲國で犯罪

ハンサイ
ウリ
ヨク

犯罪能力 刑罰を科せらる

ハンサイ
キヤク
タイ

犯罪ノ客體 二様の意義

ハンサイ
キョク
ヒ

犯罪ノ曲庇 他人が或犯

犯罪ノ曲庇 他人が或犯
ある場合にこれをかばい本

ハンサイ
シユ
タイ

犯罪ノ主體 犯罪を爲し

ハンサイ
ウジョ
ウ

犯罪ノ情狀 犯罪を犯し

ハンサイ
ヨウ
ソ

犯罪ノ要素 犯罪の成立

ハンサイ
ヨビ

犯罪ノ豫備 犯罪の實行

ハンサイ
セイ
リツ

犯罪不成立 犯罪が全然

犯罪不成立 犯罪が全然
成立せざる
ことをいふ、刑法に「何々
の行爲は之を罰せず」とあ
るは犯罪の成立を示した
るものなり

ハンサン	晩餐	ゆふめし	ハンシヤク	晩酌	夕飯時に酒をのむこと	ハンジョウ	繁昌	繁榮
ハンシ	挽詩	死人を用ふ詩歌	ハンシユ	晩種	おそまきのたね	ハンシヨウ	半宵	夜なか
ハンシ	萬死	とてもたすからぬこと	ハンシユウ	晩秋	あきのくれ	ハンシヨウ	帆船	ほばしら
ハンジ	判事	裁判官のこと、裁判所職員の主腦で裁判事務を取扱ふ官吏	ハンジユウ	半獸主義	世間を憚つたりしない、道徳に捉へられず、自然的本能の要求を満足とする主義、人間として自然の本能の主要として異性関係である、わが國では故岩野泡鳴が主張し實行した、本能満足主義、享樂主義には、共通してある	ハンジョウ	反證	反對の證據
ハンシ	判士	陸海軍々法會議に於て審理裁判の任に當る武官を云ひ、通常裁判所の陪席判事に等しきものなり	ハンジユク	半熟	なまにえ	ハンジョウ	犯狀	犯行を爲したる状態
ハンジモノ	判物	かんがへもの	ハンシユケ	半主權國	一部主權國と同	ハンジョウ	犯情	犯罪の情状をいふ、被害額の多寡、犯罪の手段、動機等を云ふ
ハンシヤ	反射	てりかへす	ハンシユン	晩春	はるのくれ	ハンシヨウ	萬象	ありとあらゆる現象
ハンシヤ	繼社	蠻人の部落	ハンシヨ	蕃書	西洋のしよもつ	ハンシヨウ	萬乘	天子の位、一の國
ハンシヤウ	反射運動	格別の意識なく、反射的に行ふ運動をいふ、強き光に眼を開き、運動の如きなきに耳を掩ふ運動の如きをいふ	ハンシヨウ	反照	てりかへし	ハンシヨウ	汎稱	凡てをくるめていふこと
ハンシヤウ	Pansy	三色すみれ	ハンシヨウ	半鐘	かねの一種	ハンシヨウ	半疊	茶を入れたる、交ぜ居方面の通語、語りのもの、の相の手を入れる人が半疊の座に坐るところから、半疊

ハンシヨク	晩食	晩の食事	ハンセイ	繁盛	はんじやう	ハンソウ	癡瘡	はれものゝあと
ハンシヨク	伴食	實權なく其職に在る者、一のそしり	ハンセイ	萬世一系	過去及現在並に將來永久に一すちであることといふ	ハンソウ	椽	器具の名、半挿
ハンシヨク	蕃殖	鳥獸を澤山にふやすこと	ハンセイ	Pantheism	萬有神教、萬有神は神のあらはれである、神は絶対であると説く、汎神教	ハンソウ	伴僧	ともの僧
ハンシン	叛臣	そむくけらい	ハンセキ	叛跡	そむいたあと	ハンソク	絆瘡膏	膏藥の一種
ハンシン	反身	そりみ	ハンセキ	犯跡	犯罪の痕跡	ハンソク	反則	法律規則に反すること
ハンシン	叛心	そむくこゝろ	ハンセキ	藩籍	大名の土地と人民	ハンタ	繁多	いそがしいこと
ハンスウ	犯數	罪刑を犯し罰に觸れたる度數、前科三犯といふが如し	ハンセツ	汎説	一般に通ずるせつ	ハンタイ	飯臺	食事の臺
ハンズケ	番附	前藝又は勝負事等の番組又は人名を順を追ひて記せるもの	ハンセツ	半切	折紙白紙の半分、半	ハンタイ	萬態	いろ／＼のかたち
ハンセイ	反省	かへり見ること	ハンゼン	判然	はつきり	ハンダイ	番臺	番人のすわつてる臺
ハンセイ	藩政	昔大名が其領内に行つた政治	ハンソ	反訴	一の訴が裁判所に繫属中に其訴訟の被告をいふ	ハンダイ	盤臺	魚を入れる浅いだい

ハンダン	判斷 取調の上理性と良心に従ひ断定をするをいふ	ハンチンク	Hunter 狩獵、ハンチンク キャップ(鳥打帽)の略	バンドウ	坂東 くわんとら
パンタン	萬端 よろづのこと	ハンティ	藩邸 大名のやしき	バンドウ	番頭 營業に關する特定の商業使用人の一種なり
パンチ	Punch 汽車・電車などの切符に穴をあける鉄、例「パンチを入れる」	キャップ	Handicap 優劣を平均するたために優者に与はしめる餘分の負擔、競技でこのハンディキャップのついた競争を、ハンディキャップ・レースと云ふ	ハンドウ	反動主義 進歩的の社會運動を阻止せんとするものがこれである、この主義の下に活動するのが反動團體
ハンチク	斑竹 まだらのあるたけ	ハンテイ	判定者 よいか悪いか正しめるか否かを見きはめる者	シユギ	シユギ
ハンチホウ	反致法 例我國に居住する英國人を我國の法律に適用すれば英國の法律に適用するべきものとするも、英國の國際私法によれば其者の居住地たる我國の法律に適用するべきものと爲せる場合に我國の法律に依るが如きを反致法といふ	シャテイ	斑點 まだら	ハンドク	判讀 判じて讀む
ハンチュウ	範疇 Category の譯、一門の意、哲學上では、直観によつて得た、維多の表象を統一綜合して、知識の形式をなすもの、根本形式を云ふ	ハンテン	半纏 絆天	ハンタクア	犯得物 犯罪行為により得たる物件をいふ、例財産罪の一たる領得罪に因りて得たる物件又收賄罪に因りて得たる物件の如し
ハントリ	判取帳 受取の證據に判を貰ふ帳面	ハンテン	叛徒 そむけるともがら	ツコク	半獨立國 一部主權國に同
ハンドル	Handle 柄、把手	ハンテ	叛圖 領土即ちその國の統治權の行はるゝ土地の意味	ハントナイ	版圖内 領土、領海及領空内といふこと
ハンナン	萬難 數多き難儀	バンド	禁土 贖物の名	ブック	Handbook 便覧、案内書
パンニヤ	般若 知慧、又鬼女	バンド	Band 帶革、紐、音楽隊	パントマイム	Pantomime 所作事、無言劇、臺詞のない動作ばかりの劇
ハンニヤ	般若面 嫉妬ぶかく見える女の悪相	ハンドウ	反動 うちかへし、ゆりかへし	マナー	Handmoney 手附金、證據金、保證金
ハンニン	叛人 おぼんにん	ハンバク	斑白 しろがまじり、願白、反駁 反證をあげて辯駁すること		
パンニン	蕃人 やばんひと	ハンバク	反駁 反證をあげて辯駁すること		
ハンニン	犯人 犯罪を成立せしむべき行為を爲したる者即ち刑罰法令に列擧したる有責不法の行為者をいふ				
ハンニカ	判任官 各省大臣又はそれ命せらるゝ官吏(下級官吏)				
ハンニカ	判任官待遇者 判任官相を受くるものにして、嚴格に言へば官吏に非ず、罪に禮遇及保護の點に於て判任官と同一の待遇を受くるものなり				

ハンニク	犯人藏匿ノ罪 罰金以上を犯したる者又は拘禁中逃走したる者を藏匿又は隠避する罪	ハンバツ	藩閥 薩・長・土・肥と言つた様な幕府時代の殿様一族郎黨の閥をいふ
ハンニク	煩熱 あつくるしい	ハンバツ	反撥的活動 はねかへす行動をいふ
ハンニク	晩年 年老いたるとき	ハンバツ	萬般 よろづのこと
ハンニク	萬能 何でもなし能ふ力	ハンバツ	頒布 一般に賣出したり又は無代で頒つことをいふ
ハンバ	半端 はした	ハンバツ	Vamp ヴァンパイヤーの略、妖婦のこと、映畫等で妖婦の役を得意とする女優をヴァンパイヤーと云つてゐる
ハンバイ	販賣 うりさばく	ハンバツ	晩風 夕方ふくかぜ
ハンバイ	Vampire 妖婦のこと、元來吸血鬼、他人の膏血を搾る婦の意となつた	ハンバツ	蠻風 野蠻な習慣
ハンバイ	販賣組合 二人以上の團體組合の生産したるものを販賣し、それより得たる利益を組合員に配當するが如きをいふ	ハンバツ	半腹 山のなかほど、中腹
ハンバク	斑白 しろがまじり、願白、反駁 反證をあげて辯駁すること	ハンバツ	叛服 そむくとしたがふと
ハンバク	反駁 反證をあげて辯駁すること	ハンバツ	反覆 くりかへすこと
ハンバク	斑白 しろがまじり、願白、反駁 反證をあげて辯駁すること	ハンバツ	萬福 幸多きこと

ハンフー	Pamphlet 假綴の小冊子、 リーフレット(その項参照) 一枚一枚の引札を云ふが それを綴じてあるもので、 しかし書簡といふ程の體裁 をそなへてゐないもの	ハンミョウ	斑猫 虫の名	ハンリョウ	晩涼 夕方の涼しき
ハンベイ	藩屏 かし、へい、皇室の 一	ハンム	繁務 いそがしいつとめ	ハンリョウ	蟠龍 わだかまれるりう
ハンベイ	牛平 食物の名、はんべん	ハンメイ	反命 命令にそむく	ハンリン	半輪 なかばかけたつき
ハンベツ	判別 見わけ	ハンモ	繁茂 草木のしげる	ハンレイ	煩累 わづらはしきこと、 うるさいこと
ハンボ	反哺 子がおやをやしなふ	ハンモク	反目 にくみ合ふ	ハンレイ	凡例 書のはしがき
ハンボウ	繁忙 いそがしいこと	ハンモク	Hamock 吊り床、寝網	ハンレイ	判例 判決例ともいふ、訴 訟事件に關し判決し たる前例なり、そしてその 判例と同一又は類似の事件 に對してはこの判例は一事 法律の如き勢力をなすもの なり
ハンボウ	萬邦 よろづのくに	ハンユウ	萬有 萬物	ハンレツ	班列 ならび
ハンボン	阪本 阪本ですつた本	ハンユウ	蠻勇 野蠻的の勇氣	ハンロ	販路 うちきばくみち
ハンボン	籾本 ほんこく木	ハンラン	汎濫 あふれ出ること	ハンロウ	絆籠 ほどす、つなぐ
ハンマー	Hammer 槌、かなづち	ハンラン	叛亂 そむきみだれる	ハンロウ	煩勞 こゝろをわづらはす
		ハンリュウ	飯粒 めしつぶ	ハンロン	汎論 一般論
		ハンリョ	煩慮 おもひわづらふ、心 配		

補遺

バ	場 取引所内の賣買取引を する場所(又は取引所) を云ふ(取引所用語)	ハカブ	端株 十株に満たぬ半端の 株(同上)	バナガタカ	花形株 場で人氣の盛んな る株、人氣株とも云ふ(取 引所用語)
バイシキ	倍敷 相場の変動激しき時 に證據金の倍額をと ること(同上)	バコッセン	場口錢 取引所が取引員か ら徴収する賣買手 數料のこと(同上)	バナミソウ	花見相場 御花見、遊山頃 相場持合ふこと(同上)
バイトクキ	賣得金 物品を賣却して得 たる代金	ハスウリシ	端數利子 經過利子に同じ	ハネカヘシ	跳返し 下落に向つた相場 が何かの理由で昂 騰すること(同上)
ハイフゼイ	配賦税 課税物件と課税總 額とを前掲として 之を下級公共團體に配賦 し、各納税者に賦課するは 一定の範疇内に在りて各團 體に委任せるもの	ハダカソウ	裸相場 裸値段に同じ(取 引所用語)	ハヤミミス	早耳筋 株式相場などで相 場材料を早く知る者(同上)
ハウス・オ ーガン	House organ 會社や商店 の廣告等に利用する定期 刊行機關紙を云ふ	ハダカネダ	裸値段 經過利子(端數利 子の謂で、我が國內地では、 國債市場の公定相場は勿論 一般の債券賣買は皆この裸 値段で呼ばれ、從て實際の 受渡には利息を日割にした 所謂經過利子(端數利子)を 加算して代金の授受をする (同上)	ハラヒコミ	拂込 商法上株式會社の株式 若くは引受ける金額を 會社に拂ひ渡すこと
バガタツ	場が立つ 取引所市場の 立ち會が開始され ること(取引所用語)	ハッカイ	發會 毎月初めに先月限 される立會のこと(同上)	ハラヒモド	拂戻 一旦拂込みたる金銭 を拂込人に更に返戻 する場合拂戻金と云ふ
		ハッコウ	發航 船舶が港を出帆して 目的地に向ふこと	ハリソウバ	張り相場 地方の取引所な どで、中央取引 所で賣買取引をすること、 「東京張り」の如し(取引所 用語)

ハンサツ 藩札 徳川時代に於て各藩の發行してゐた紙幣のこと

ハンザドゥ ハンザ同盟 中世の歐洲交通の危險に備へる爲り多くの商業都市が結んだ同盟の名

ハンデン 班田 口分田(クブンデン)を見よ

ハンドゥダ 反動高 前々相場が下落して高くなつたこと(取引所用語)

バンネツソ 晩熱相場 時間ばかり経過が割合に之れに副はないこと(同上)

ハンバセイ 飯場制度 我國の鑛山労働が労働者、募集者、頭役の上の中心となつて居るもの、労働者の自覺、労働問題の進展につれ漸次其の影を瀦め或は變形しつつあり

ヒ 緋 あかいろ

ヒ 祕 ひみつ

ヒ 梭・杼 はたをおる具

ヒ 樋 水を流しやるひと

ヒ 婢 めしつかひ女

ヒ 妃 きさき

ヒ 碑 いしぶみ

ヒ 目翳 目のやまひ

ヒ 非 可ならざること

ヒ 卑 いやしきこと

ヒ 脾 胃の底部の外側に位する内臓

ヒ 比 くらべ、ならべる

ヒ 妣 なき母

ヒ 鄙 ひな、ひな

ヒ 微 かすか、わづか

ヒ 悲哀 かなしくあはれなこと

ヒ 干上 から／＼になる

ヒ アシ 日脚 ーが早い

ヒ アタリ 日當 ーがよい

ヒ アニスト Pianist 洋琴家、ピアノを引く人

ヒ アノ Piano 形オルガンに似た一種の洋樂器、洋琴

ヒ アノラ Planora 自動ピアノ

ヒ アフリ 火炙 火刑

ヒ イ 非違 國法にたがふこと

ヒ オービ P.O.P. (寫眞) 印畫用紙の一種、畫面光源あれど、變色し易し

ヒ イキ 最負 力を添へて人を助けること

ヒ イク 美育 美の教育

ヒ イコ 曾孫 孫の子

ヒ イジジ 曾祖父 祖父の父

ヒ イス Peace 平和、太平、和睦

ヒ イズ 秀出 めきんでること

ヒ イス・ウツク Peace work 賃調仕事、從量報酬の仕事

ヒ イター Heater スチームを通す管、加熱器、また物事に熱中する人

ヒ イト Heat 熱、熱氣

ヒ イバー Beaver 海狸、毛皮は帽子・襟巻などに用ふ

ヒ イババ 曾祖母 祖父の母

ヒ イフ Beef 牛肉

ヒ イブル People 人民、國民、民衆

ヒ—ヒーフ

ヒーヤ	Beer 麥酒、ビールと同じ	ヒウチイシ	火打石 燧石	ピオン	鼻音 はなごゑ
ヒーヤ・ホール	Beerhall ビーヤを飲ませる店、麥酒賣店、簡易洋食店	ヒウン	飛雲 雲のこと	ピオン	微温 ぬるまゆのあつき
ヒイラギ	椋 木の名	ヒエ	稗 草の名	ピオンテキ	微温的 生ぬるい、はきはばなのろくさしたの意
ヒイリオド	Period 時代、時期、文章の段落點即ち(。)	ヒエキ	裨益 おぎなひたすけること	ヒカ	悲歌 悲しみの歌
ビール	Beer 麥、Beer 英、大麥を原料にして醸造した一種の酒、麥酒	ヒエツ	披閱 ひらき見る	ヒカ	僻 まちがひ
ヒイレ	火入 害虫を取り除き土地を雑草を焼くこと	ヒエドリ	鴨 鳥の名、ヒヨドリ、ヒヨ	ヒカ	微瑕 わずかのきず
ヒーロー	Hero 英雄、文學上で小説の主人公、英雄的なことをヒロウツクと云ふ、小説中の女主人公はヒロイン	ヒエル	冷 ひや、かになる、ひゆ	ヒカ	鯉 魚の名
ヒーロー・ウーシップ	Heroworship 英雄崇拜	ヒエン	飛簷 殿堂の軒のさきの部分の名	ヒカイ	被害者 犯罪に因つて害を被つた者
ヒイン	庇蔭 かばふこと	ヒオイ	日覆 日を覆ふ具	ヒカイシヤ	被害者ノ承諾 被害者が益を傷くることを承諾したる場合をいふ
ヒワ	微雨 すこしのあめ	ヒオウギ	檜扇 扇の一種	ヒカエ	控 扣、副
ヒワ	眉宇 まゆのあたり	ヒオドシ	緋絨 緋の織毛の名、緋色の糸又は革にておどしたるもの	ヒカエル	扣 後の用に備へる、ひか
ヒウオ	乾魚 ひもの	ヒオムシ	蛸 朝生れ夕に死ぬ虫の名	ヒカガミ	引屈 腰關節の内側

ヒカク	費額 入用の金額	ヒカタル	鼻加多兒 鼻の病	ヒキ	避忌 しくせんとする化粧法
ヒガク	美學 美を研究する學問	ヒカチヨウ	鼻下長 「鼻の下がながい」を漢字讀みにしたものを	ヒキ	墓 蟻、ひきがへる
ヒカクコウ	比較考量 くらべて考へはかること	ヒガメ	僻目 見あやまり	ヒキ	悲喜 かななしみやよろこび
ヒカクヒョウ	比較標準 甲と乙とを比べるめじるし	ヒガラ	日雀 鳥の名	ヒキ	誹毀 せしめること
ヒカケ	日蔭 草の名	ヒカラヒル	乾枯 かわかきはてる	ヒギ	非義 道理にばづれたること
ヒガケ	日掛 毎日出すこと	ヒカン	避寒 寒さをさける	ヒキ	尾季 花合せで最後に札をひく人
ヒカケモノ	日蔭者 お妾、私生子、前科者など、公然と人前に出るを憚るところから	ヒカン	脾疝 くびが瘦せて腹のふくれる子供の腸胃病	ヒキアイ	關係 かかりあい
ヒガゴト	僻事 理にあたらぬこと	ヒカン	悲觀 悲しむ	ヒキアミ	引綱 地引綱
ヒガシ	乾菓子 干乾きたる菓子	ヒガン	彼岸 かなたのきし	ヒキイル	帥 將帥が兵士を率ふるを本義とす
ヒガシ	東 方角の名	ヒカン	美感 美に對する感情	ヒキイル	率 帥と音も義も同じ、率先を帥先とも書く
ヒガシシ	東 方角の名	ヒカン	美觀 うつくしきみえ	ヒキウス	將 大將となりて兵をひきふる義
ヒガシシ	東 方角の名	ツビカンジュ	美顔術 Beauty art 化粧にかりでなく、最近の科學を應用して根本的に容色を美	ヒキウス	挽白 礪白
ヒガシシ	東 方角の名	ツビカンジュ	美顔術 Beauty art 化粧にかりでなく、最近の科學を應用して根本的に容色を美	ヒキウス	引負 番頭・手代が主人の品を擔領すること
ヒガシシ	東 方角の名	ツビカンジュ	美顔術 Beauty art 化粧にかりでなく、最近の科學を應用して根本的に容色を美	ヒキウス	

ヒキカエ	引替 交換	ヒキヤク	飛脚 急事を報ずる使
ヒキカエ	引換證券 證券の引換にあ	ヒキユウ	貌貅 軍人のこと
シヨウケン	表示せる目的物を引渡すこ	ヒキョウ	悲境 悲しきありさま
	とを要せざる證券をいふ、	ヒキョウ	卑怯 いくぢなし、おくび
	貨物引換證、船荷證券の如	ヒギョウ	罷業 ストライキ
ヒキガエル	引替 「ひきかふ」の詠	ヒギョウヤ	罷業破り ストライキ・ブ
ヒキククル	引括 強くしめてむすぶ	ブリ	罷業破り レーカー
ヒキゲキ	悲喜劇 イ	ヒキョク	祕曲 おくのての音曲
ヒキコシ	引越 轉居	ヒキョク	悲曲 悲しい音曲
ヒキコロス	轢殺 車等でひいて殺す	ヒギリ	日切 日のかぎり、にちげ
ヒキシオ	退潮 海の水のひくこと	ヒキワタシ	引渡證券 證券の引渡がそ
ヒギジケン	被疑事件 犯罪嫌疑の狀態	シヨウケン	る目的物の引渡と同一の効
	だ起訴せられない事件をい	ヒキワタシ	力を生ずる證券をいふ、貨
	ふ	ジヨウヤク	物引換證、船荷證券の如き
ヒギシヤ	被疑者 犯罪嫌疑者で未だ	ヒギン	引渡條約 犯罪人引渡に關
コウイン	起訴せられない者		する條約
	疑者でま		微吟 かなかな聲で詩等を
			歌ふこと

ヒク	牽 引きす、むる也、牽牛、	ヒク	比丘 僧のこと
ヒク	引きす、むる也、牽牛、	ヒク	魚籃 魚を入れる籠
ヒク	牽羊、轉じて欲にひか	ヒクイドリ	火食鳥 鳥の名
ヒク	る、に用ふ	ヒクシ	低 高、昂の反對、又ひく
ヒク	引をひく義、演也、長也	ヒクシ	卑 高、尊、崇の反對、地
ヒク	引きさげ	ヒクシ	用ふ
ヒク	力を入れて引く也	ヒクシ	矮 せいのひくき也、矮人、
ヒク	ひつぱりよせて助くる	ヒクショウ	微苦笑 微笑と苦笑とのま
ヒク	也		久米正雄氏の造語だと云は
ヒク	物を引きする也	ヒクシ	れてある「あの男の行爲は
ヒク	引きよする也	ヒクシ	微苦笑ものだ」等と用ひる
ヒク	引きてつきまよふ意	ヒクシ	ビ(ウイ)クター Victor 勝利者
ヒク	手にてはじき引く也	ヒクシ	ス・パレール Picture-palace 大活動寫眞
ヒク	自由をさせぬやうにひ	ヒクシ	ズ・パレール Picture-palace 大活動寫眞
ヒク	つばる義	ヒクツ	卑屈 いくぢのなきこと
ヒク	弓をひく	ヒクトリ	Victory 勝利、戰捷
ヒク	しりぞく	ヒクニック	Picnic 郊外散步、遊山、野
ヒク	ひきらすでひく		遊び
ヒク	牽	ヒク	比丘 僧のこと
ヒク	引	ヒク	魚籃 魚を入れる籠
ヒク	引	ヒク	火食鳥 鳥の名
ヒク	引	ヒク	低 高、昂の反對、又ひく
ヒク	引	ヒク	卑 高、尊、崇の反對、地
ヒク	引	ヒク	用ふ
ヒク	引	ヒク	矮 せいのひくき也、矮人、
ヒク	引	ヒク	微苦笑 微笑と苦笑とのま
ヒク	引	ヒク	久米正雄氏の造語だと云は
ヒク	引	ヒク	れてある「あの男の行爲は
ヒク	引	ヒク	微苦笑ものだ」等と用ひる
ヒク	引	ヒク	ビ(ウイ)クター Victor 勝利者
ヒク	引	ヒク	ス・パレール Picture-palace 大活動寫眞
ヒク	引	ヒク	ズ・パレール Picture-palace 大活動寫眞
ヒク	引	ヒク	卑屈 いくぢのなきこと
ヒク	引	ヒク	Victory 勝利、戰捷
ヒク	引	ヒク	Picnic 郊外散步、遊山、野
ヒク	引	ヒク	遊び
ヒク	引	ヒク	飛脚 急事を報ずる使
ヒク	引	ヒク	貌貅 軍人のこと
ヒク	引	ヒク	悲境 悲しきありさま
ヒク	引	ヒク	卑怯 いくぢなし、おくび
ヒク	引	ヒク	罷業 ストライキ
ヒク	引	ヒク	罷業破り ストライキ・ブ
ヒク	引	ヒク	罷業破り レーカー
ヒク	引	ヒク	祕曲 おくのての音曲
ヒク	引	ヒク	悲曲 悲しい音曲
ヒク	引	ヒク	日切 日のかぎり、にちげ
ヒク	引	ヒク	引渡證券 證券の引渡がそ
ヒク	引	ヒク	る目的物の引渡と同一の効
ヒク	引	ヒク	力を生ずる證券をいふ、貨
ヒク	引	ヒク	物引換證、船荷證券の如き
ヒク	引	ヒク	引渡條約 犯罪人引渡に關
ヒク	引	ヒク	する條約
ヒク	引	ヒク	微吟 かなかな聲で詩等を
ヒク	引	ヒク	歌ふこと

ヒケン	比肩	かたをならべること
ヒケン	鄙諺	いやしいことわざ
ヒケン	微言	自己の意見の謙稱
ヒケン	非現行犯	犯罪に對する語 凡ての犯罪をいふ
ヒコ	彦	男の美稱
ヒコ	曾孫	孫の子、ひいまご
ヒコ	飛語	うはさ、蜚語
ヒコ	鄙語	あななことば、いやしい語
ヒコ	庇護	かばふこと、保護すること
ヒゴイ	緋鯉	魚の名
ヒコウ	罷工	しことをやめる
ヒゴウ	非業	定つた報のないこと
ヒコウ	獼猴	さるのこと
ヒコウ	微行	しのび、公然と歩く ことに對する語である
ヒコウ	備荒	凶年の時の備へ
ヒコウ	微功	いさ、かのてがら
ヒコウ	微光	よわい光
ヒコウ	尾行	ある人のあとをつけること、不良少年が合順のあとをつけるにも、刑事が主義者などについて行くにもいふ
ヒコウ	飛行機	空を飛ぶ機械
ヒコウ	非公式	公式でなく、即ちを經てからでなく、正式の順序手續などを省略して内々に或る意を傳へること
ヒコウ	飛行日和	快晴、日本晴、航空機の飛行におあつちらへの日和
ヒコク	被告	訴へられた者、原告の相手方
ヒコク	ヒコクジハ	非國事犯 國事犯でない凡
ヒコク	ヒコクニン	被告人 犯罪嫌疑者として起訴せられたる者をいふ、起訴前は被疑者と稱し被告人とは云けない
ヒコク	ヒコクウカン	被告人ノ召喚 被告人を爲め裁判所が一定の日時場所に出頭すべしといふことを被告人に命ずるをいふ
ヒコバエ	蘗	木のきり株から生じた芽
ヒゴロ	日頃	このころ、四・五日來
ヒサ	膝	足のひざ
ヒサイ	微細	こまかいこと
ヒサイ	非財産權	戸主の死亡若は主たる地位を繼ぐべき權利等
ヒサイ	微罪事件	小さな犯罪事件 へは五十錢の品物を横領したとか、十錢の食迷をしたといふ事件の如し

ヒサイ	微罪不檢舉	小さい犯罪事件は起訴しないことといふ
ヒザカケ	膝掛	まへ掛、車に乗る時の毛布
ヒザガシラ	膝頭	ひざのさきの高いところ
ヒサギ	楸	木の名
ヒサグ	嚮	販、あきなふ
ヒサゲ	提子	酒を盛つて盃に注ぐつるある器
ヒサゴ	瓢	瓢、匏、ふくべ
ヒサシ	庇	軒の前にたれた簷、廂
ヒサツ	飛札	いそぎのてがみ
ヒザマズク	跪	膝がしらを地に著け、爪だちしてゐる也、腰と股とを伸べて勢の危き也、禮法の一
ヒザマズク	踞	長跽也、跪よりは少しく輕し
ヒサン	飛散	とびちる
ヒサン	ヒサン	悲惨
ヒサン	瀾散	ちらばること
ヒシ	菱	水草の名
ヒジ	肱	肘
ヒジ	祕事	ひめごと
ヒジ	美辭	うつくしいことば
ヒシオ	干潮	海水の干たこと
ヒシオ	醬	なめものゝ一種
ヒシオ	鹿角菜	海藻の名
ヒシキ	拉	おしつぶす
ヒシグ	鯁	魚の名、ひしこいわし
ヒシコ	曾祖父	祖父母の父
ヒジジ	肘突	ひぢつく、小ぶとん
ヒジツキ	肘壺	開き戸の樞に用ゐる具
ヒジツボ	ヒジツボ	肱鐵
ヒシテツ	緊	きびしくすきまなく
ヒシト	緊	きびしくすきまなく
ヒシニ	餓死	うゑじに
ヒジネス	Business	事務・職業・商賣
ヒジネス	Business man	事務家・實業家、ビジネス・ライフと云ふと實業生活
ヒジネス	Business-like	事務的・實地的・敏捷な
ヒシメク	犇	おしあふ
ヒシヤク	柄杓	水をくむ具
ヒシヤク	飛錫	僧侶の行脚すること
ヒシヤク	微弱	かよわいこと
ヒシヤク	毘沙門	天竺の神の名
ヒシヤク	ヒ首	あひくち、くわいけ

ヒジュウ	比重	同容積の水の重さとの比
ヒジュウシ	比重脂肪量	攝氏十五度の蒸溜水との比に於て一定の脂肪の重量があること
ヒジュツ	秘術	秘密の術
ヒジュン	批准	全權大使等が外國と取結んだ條約を、納せらるゝ天皇の御許可のこと、天皇の御許可の條約はこれに依つて效力を生ずる
ヒジョ	避暑	暑をさけること
ヒジョウ	婢女	女のめし使ひ
ヒショウ	悲傷	かなしみいたむこと
ヒショウ	飛翔	空をまひかけること
ヒショウ	裨將	そへ大將
ヒショウ	費消	費ひはたす
ヒジョウ	肥饒	土地のこえたること
ヒジョウ	非情	心なきもの木石の類
ヒショウ	微傷	わづかなるきず
ヒショウ	微晶	こまかい結晶
ヒショウ	微笑	少しわらふこと
ヒショウ	微少	すくなきこと
ヒショウ	美稱	ほめていふこと
ヒジョウ	避讓	通行の衝突を避くる爲めお互に避けて道を譲ること
ヒジョウキ	非常急變	暴動・大火災・大地震等の如き大事變の突發したるときをいふ
ヒジョウキ	非訟事件	通常の訴訟事件を以て解決を求めざる事件をいふ、民事事件をいふ、裁判官の招集・認察・許可・相續の決定に定めた事件をいふ、手續法に定めたる事件
ヒジョウキ	非常上告	確定したる事件の判決及手續が
ヒジョウセ	非常線	法令に違反する場合に檢事總長から其取消を大醫院に申立つるをいふ
ヒジョウセ	非常線	火事又は重大な事故等非常な事柄が起きた時或る範圍を限つて警官が警戒する、その區域の境界線
ヒジョウホ	非常保安警察	戒嚴又は非常時或る非常情態の發見に比谷・打撃事件又は關東震災時に於ける警察等の如し
ヒジョウホ	秘書官	大臣に附隨して庶務を掌る官吏
ヒシヨカン	非職	非役
ヒシヨク	聖	徳高き人の尊稱
ヒジリ	微震	小震動
ヒシン	美人系	美人の出る家すぢ又は地方
ヒシンケイ	非親告罪	被害者の告訴が起訴を必要と認めれば起訴することの出来る罪
ヒシンコク	ザイ	

ヒスイ	翡翠	鳥の名、かばせみ、寶石の一
ヒスイ	微睡	うたたね
ヒステリー	hysteria	神經興奮し易く、よく泣きよく笑ふ、神經衰弱の一種で、婦人に多い
ヒステリカ	hysteria	ヒステリーのやうな
ヒストル	短銃	小さい銃
ヒストン	唧子	汽關車の一
ヒズム	歪	物が形を變へること
ヒズメ	蹄	牛・馬などのつめ
ヒセキ	肥瘠	こえたとよせたること
ヒセツテイ	非設定權限	原始的權限を云ふものにして特別の權限を規定することなく法令の規定により自然に權利を取得し得る權限を云ふ
ケンゲン	ケン	
ヒセン	卑賤	いやしいこと
ヒセン	被選	えらばれること
ヒゼン	皮膚・疥癬	皮膚病の名
ヒセン	微賤	いやしきこと
ヒセンキョ	被選舉權者	議員に選舉せらるる資格を有つてゐる人
ケンシヤ	被選資格	選舉せらるる、資格を有つてゐる人
ヒセンシカ	非戰鬥員	戰爭に従事するはらざる者を云ふ、例軍醫・看護婦・主計・書記・陸海軍の裁判官等の如きを云ふ
ヒセントツ	非戰論	戰爭を不可とする論
ヒセンロン	砒素	灰白色の金屬性光澤を有する脆いもの(非金屬)熱すれば一種の臭氣を放つて空氣中に品となる
ヒソ	鼻祖	一番の祖先
ヒソク	悲壯	かなしみに堪へざること
ヒソク	皮相	うはつら、表面の狀態、皮相的解釋、皮相にとゞまる觀察などいふ
ヒソク	秘藏	大切に保存すること
ヒソク	脾臟	内臟の一
ヒソカ	竊	人のしらぬまじと譯す、人の目をぬすみてこつそりとする也
ヒソカ	密	水ももらさずと譯す、奥深くして窺ひ易からざる義
ヒソカ	私	公に對していふ、内々なり
ヒソカ	閒	すきを見てひそかに也
ヒソク	卑俗	いやしい
ヒソク	鼻息	はいなき、一をいふ
ヒソク	卑屬	自己の親族にして自己より年下なる者をいふ

ヒソヒソ	秘密	ま	しのびやかにするさ
ヒソヒソバ	私話	さ、やき	
ヒソム	潜	しのんでゐる	
ヒソム	聾	顔をしかむ	
ヒソル	乾反	乾てそりかへる	
ヒダ	襷	襷、袴などの折目	
ヒダ	錠	なべ金で造つた粗悪な錠	
ビ(ウ)タ	Vitamin	蛋白質・脂肪のほかに、人間は素より一般動物の發育保健に必要な要素	
ヒタイ	額	顔の上部の名	
ヒタオシ	直押	押すことの形容	
ヒタス	浸	演也、潤也、水の次第にひたし潤す義	
ヒタス	漸	いつとなく水につく義	
ヒタス	漬	浸也、染なり、水につかる義	
ヒタス	涵	うるほし、ひたす、容れ含む義	
ヒタス	瀕	久しく水につけて柔かにする義	
ヒタスラ	只管	ひとむきに	
ヒタタレ	直垂	古の衣服の名	
ヒダチ	肥立	だん／＼快くなる、そだつ	
ヒダラ	干鱈	ほしだら	
ヒダリキキ	左利	上戸、酒のみ、左手で盃をもつよりいふ	
ヒダリスマ	左棲	睡者のこと、左手で寝をとるゆゑ	
ヒタル	浸	ぬれとほる、演	
ヒタルイ	餓	はらがへる	
ヒタン	飛端	急流	
ヒタン	悲嘆	かなしみなげくこと	
ヒタン	鼻茸	はなたけ、一種の病	
ヒチ	ビチュウ	微衷	我が心の中
	ヒチョウ	悲調	かなしい調子
	ビチョウ	美調	音又は聲の美しい調子
	ヒチリキ	筆簾	樂器の名
	ヒツ	櫃	上に向つて開く大きな櫃
	ヒツウ	悲痛	かなしくいたましきこと
	ヒッカ	筆架	ふでかけ
	ヒッカ	筆禍	筆のために罪を得ること
	ヒッカク	引搥	かきむしる
	ヒッカケル	引懸	ぶら下る、だます
	ヒツギ	棺	柩、くわんをけ
	ヒツキョウ	畢竟	とゞのつまり
	ヒツキリナ	引切無	やすみなく

ヒツクル	引括	ひきく、るに同じ
ヒツクリ	喫驚	おどろくこと
ヒツクリカ	顛覆	くつがへること
エル	引包而	ひきまとめて
ヒツクルメ	火付	火をつけること、放
ヒツケ	日附後定期拂手形	振出の日附より一定の期間を經過したる日を満期日と定めたる約束手形、又は爲替手形を云ふ
ヒツケゴテ	イキバライ	Pitcher 職工組合の偵察委員、同業の場合、罷業破りが工場に入らぬやう附近で見張をし、又それに労働者の相互扶助をとき、工場入を思ひ止まらせたりする
ヒツケツ	Pitcher	
ヒツコ	跛	不具者の一
ヒツコウ	筆耕	寫しものを業とする人
ヒツコシ	引越	他へうつること
ピッコロ	Piccolo	小笛、高音笛
ヒツサゲル	提	掣、ひきさげる
ヒツサラウ	引攪	うばふ
ヒツサン	筆算	数字を書いて計算する算法
ヒツシ	筆紙	ふでとかみ
ヒツジ	未	十二支の一
ヒツジ	羊	獸の名
ヒツシュ	必須	なくてはならぬこと、ひつすう
ヒツシュウ	必修	必ずおさめる
ヒツジョウ	必定	かならず
ヒツセイ	畢生	一生のこと
ヒツセイ	筆勢	ふでのいきほひ
ヒツセキ	筆跡	ふでのあと
ヒツゼツ	筆舌	文章や辯論のこと
ヒツゼン	必然	かならず
ヒツゼンセ	必然性	必ずさうなる筈の性質、必ずさうあるべき性質
ヒツソク	逼塞	おちぶれること
ヒツソリ	悄然	しづか、さびし、寂然
ヒツタク	引捲	手あらく巻はとる
ヒツタン	筆端	ふでのさき
ヒツチ	筆致	筆のおもむき、書きぶり
ピッチ	Pitch	音節、高低の度、調子、また野球のピッチャーのこと
ピッチャー	Pitcher	(野球) 投手、投球者
ピッチユウ	匹儔	なかま

ヒツチユウ 筆誅 筆でこらしめる
 ヒツチング Pitching ボール投げするこ
 と、多くの場合投手より捕
 手への投球を云ふ、又船の
 前後の動搖
 ヒツツク 引着 くつつきあふ
 ヒツテキ 匹敵 つりあふ、あひてに
 なる
 ヒット エニ 打つ、あてる(野球)安
 打
 ヒツドク 筆道 文字をかく法
 必讀 必ずよむ
 ヒツドク 逼迫 さしせまること
 ヒツバク 匹婦 普通の女
 ヒツボウ 筆法 字のかき方
 ヒツボク 筆墨 筆や墨
 ヒツメツ 必滅 かならずしぬ生者

ヒツヨウキ 必要共犯 二人以上共同し
 ヨウハン ることが出来ない犯罪例へ
 は内亂罪、賭博罪の如し
 ヒツヨウテ 必要的共犯 二人以上共
 キキヨウハ 罪例へは賭博罪、姦通罪の
 如し
 ヒツヨウベ 必要辯護 辯護人の立命が
 辯護をいふ、辯護人が是非
 開くことの出発点である
 必要であるといふ所から此
 言葉を用ゆるのである
 ヒツロウ 筆勞 物をかく勞力
 ヒテイ 否定 肯定の對、打消、抗
 論、拒絶
 ヒテイコツ 尾骶骨 脊骨の下部
 ヒテイテキ 否定的 或る事柄を否定す
 る態度を形容した
 カツキセイ 美的生活 人生の中心を美
 及ぶ本能の欲求を満足させ
 ることを目的とする生活

ヒテリ 旱 雨ふらぬこと
 ヒテリアメ 日照雨 日の照りながら雨
 のふる、狐の嫁入
 ヒテン 批點 批評すべき點
 ヒデン 飛電 急な電報
 ヒデン 秘傳 かくして容易に傳へ
 ぬこと
 ヒト 費途 費用の出みち
 ヒトウ 悲悼 かなしみなげくこと
 ビドク 微動 かすかに動くこと
 ヒトウケ 人請 人のうけにんになる
 ヒトエ 單衣 衣服の一種
 ヒトエニ 偏 ひとすちに
 ヒトカサ 一嵩 ひときはに同じ
 ヒトガラ 人柄 じんびん

ヒトキワ 一際 一層
 ヒトキリ 一段 一つのきざみ、ひと
 つのくぎり
 ヒトクセ 一癖 ひとつのくせ
 ヒトクルメ 一括 一つにまとめるめ
 ること
 ヒトサシユ 食指 第二指
 ヒトシ 齊 不齊の長短なくそろひ
 て生ぜる義
 ヒトシ 侷 齊に略同じ、同じやう
 な
 ヒトシ 均、鈞 皆等分の意、平に
 して高低なき義
 ヒトシ 等 等級の同じき義
 ヒトシ 敵、適 對、待にひとしき
 也
 ヒトシキリ 一類 一時
 ヒトジチ 人質 妻子等を敵へ送りお
 くこと(昔)
 ヒトステ 人傳 人に托すること

ヒトダマ 人魂 死人のたましひ
 ヒトチガイ 人違 人をみちがへること
 ヒトツカミ 一掴 五本の指でにぎるこ
 と
 ヒトツキオ 隔月 一箇月づつ間をおく
 こと
 ヒトツネ 同寢 ともね
 ヒトツバラ 同腹 兄弟、同じ心
 ヒトツプエ 一粒選 注意してえらぶこ
 と
 ヒトトナリ 爲人 もちまへ、きしつ
 ヒトナダレ 人類 群衆の押され散るこ
 と
 ヒトフシ 一節 ひとくぎり、ひとふ
 し
 ヒトボシド 點火時 ひのくれがた
 キトマクモ 一幕物 (演劇)一幕で完結
 する戯曲
 ヒトマス 一先 何はともあれ、ちよ
 つと

ヒトマトメ 一纏 一つにまとめる
 ヒトミ 瞳 眸、目の中心
 ヒトミゴク 人身御供 犠牲、いけにへ
 ヒトヤ 獄 らうやのこと
 ヒトリ 獨 吾一人のみのこと、一
 人
 ヒトリアル 獨行 ひとりだち、または
 ひとりであるく
 ヒトリギメ 獨斷 己れひとりの考で定
 めること
 ヒトリボチ 獨法師 只一人
 ヒトワタリ 一應 ひと、ほり
 ヒナ 鄙 みなか
 ヒナ 雛 鳥などの少き子、ひ
 なまつり
 ヒナガタ 雛形 模型
 ヒナシ 日濟 日々にかへすこと

ヒナタ	日向	日のてらすところ	ヒネクル	玩	手先でひねり弄ぶ	ヒバシ	火箸	火をはさむ箸
ヒナブリ	夷振	古歌の一體、狂歌	ヒネモス	終日	一日中、しうじつ	ビハツ	美髮	理髮、髮結のこと
ヒナワ	火繩	火を點じて携へる繩	ヒネル	拈	燃、捻、捫、ねぢまはす	ヒバラ	脾腹	横腹
ヒナン	非難	悪しきをなじること	ヒノエ	丙	十二支の一	ヒバリ	雲雀	鳥の名
ヒナンコウ	避難行爲	危難を避くる爲め己を他處に去る行爲	ヒノキ	檜	木の名	ヒハレンチ	非破廉恥罪	主として國事犯をいふ、即ち通常の廉恥心の欠けによる犯罪にあらざる犯罪を云ふ
ヒニク	脾肉	も、の肉、11の款	ヒノキアタ	檜舞臺	本舞臺、ほんとうの腕を懸くべき最上の場所	ヒハン	批判	ひ、よらすること
ヒニク	皮肉	人の氣持を悪くさせるやうな言葉、あてふこと	ヒノコ	火粉	火のとびちるもの、火片	ヒヒ	披靡	敵がまけしりぞくこと
ヒニョウ	泌尿	醫學上の語—器	ヒノシ	火熨斗	布帛のしわをのばす具	ヒヒ	佛	獸の名
ヒニン	否認	或る事柄を認めざることを云ふ、否認を爲す權利を否認せしむることをいふ	ヒノト	丁	十二支の一	ヒヒ	霏々	雪の降る形容
ヒネ	避妊	性的に避くるをいふ	ヒノミ	望火梯	火繩	ヒヒ	輝	あかぎれ
	陳	ふるい穀物	ヒバ	檜葉	木の名	ヒビ	墨	練、陶器などの
			ヒバイドウ	非買同盟	申し合はせて買はぬこと、ボイコット	ヒビ	微々	極く少いこと

ヒヒキ	響	音のつたけり	ヒフウ	微風	そこかぜ	ヒベ(ワイウ)	ビバ	紐	ひも
ヒヒヤキ	墨燒	墨ある様にやいた磁器	ヒフエンイ	比附援引	他の規定と比べてこれを例にひきまゐること	ヒボ	ヒボ	悲報	かなしき知らせ
ヒヒョウ	碑表	故人の事蹟等をしるしたてたる石ぶみ	ヒフキ	火吹	火をおこす道具	ヒボウ	ヒボウ	秘法	他人に知らせぬ法
ヒヒョウ	批評	ある事物に對して、十分に觀察し、その價值を判断すること、文明を批評したものは文明批評	ヒフク	被服	おほふこと	ヒボウ	ヒボウ	誹謗	けなすこと
ヒヒョウイ	避病院	傳染病者を入院せしめて治療する病院、一般から隔離せられたる場所に設けらる	ヒフク	微服	貴人等の身なりをやつすこと	ヒボウ	ヒボウ	彌縫	一時しのぎにつくらふこと
ヒヒョウガ	批評眼	批評をなしうる見識と能力	ヒフクレ	火脹	やけどで皮膚の腫れたもの	ヒボウ	ヒボウ	備忘	わすれたる時の用意
ヒフ	皮膚	はだへ	ヒフタ	火蓋	11をきる	ヒボウ	ヒボウ	美貌	うるはしい顔
ヒフ	被風	衣服の名	ヒファン	悲憤	かなしみいきどほること	ヒボウキメ	ヒボウキメ	非法規命令	例へば官廳規の如く法規の性質を有せざる命令をいふ
ヒフ	日歩	百圓に對する日々の利子	ヒファン	碑文	石碑にほりつける文	ヒボク	ヒボク	婢僕	めしつかひ
ヒフ	日賦	ひなしすること	ヒファン	非分	理にあはぬこと、身分不相應	ヒボクリッ	ヒボクリッ	Hypocrite	偽善者、偽君子
ヒフ			ヒヘイ	疲弊	つかれよわること	ヒボケン	ヒボケン	被保險	保險されること

ヒホケンリ	被保険利益	於て保險契約に於ける、事故の發生により得る給付即ち利益をいふ
ヒホゴコク	被保護國	かつて我國に對して保護を受くる國家をいふ
ヒボコンテ	Hypochondry	憂鬱症、女のヒステリーに對して、多くの結果である
ヒボシ	火乾	火にかわかつこと
ヒボシ	日乾	日光でかわかつこと
ヒボシ	干乾	うまてやせること
ヒマ	隙間	
ヒマゴ	曾孫	まごのこ、彦
ヒマシ	篋麻子	トロー油
ヒマツ	飛沫	とばしり
ヒマドル	隙取	時間の多くかゝること
ヒマワリ	日廻	向日葵、草の名
ヒマン	肥滿	こえふとること
ヒマン	瀰漫	みなぎりばびること
ヒミツ	秘密	他人に秘しかくすること
ヒミツガイ	秘密外交	一般には事實を公にせず、方針を當局者が暗々裡に處理する外交
ヒミツケツ	秘密結社	何の目的を以ての存在を會員以外に秘匿する結社をいふ
ヒミツシユ	秘密出版	公に出版できぬ内々に出版すること、即ち社會の安寧秩序を破壊し(共產主義的のもの)、又は風俗を亂すやうなもの、又はイセツの書畫)の刊行の如きがそれである
ヒミツシヨ	秘密證書	遺言書が自分で遺言書を作つて
ヒミツロウ	ヒミツロウ	秘密漏洩罪
ヒミツロウ	ヒミツロウ	他人の秘密を法律上正當なる理由なく第三者に知らしむる罪をいふ
ヒミョウ	微妙	妙にして幽玄なること
ヒメ	姫	姫
ヒメイ	碑銘	石碑の銘
ヒメイ	悲鳴	かなしみなくこと
ヒメイ	非命	非業
ヒメガキ	姫垣	低い垣根
ヒメゴト	秘事	かくしごと
ヒメン	罷免	やめさせること
ヒモ	紐	ものを結ぶ太き糸

ヒモク	眉目	まゆとめ、ほまれ
ヒモジイ	餓	腹がへる
ヒモトク	繙	木を讀む
ヒモノ	檜物	まげもの
ヒモロギ	神籬	神を祭る所、やしろ
ヒヤ	鄙野	いやしきこと
ヒヤアセ	冷汗	つめたいあせ
ヒヤク	非役	つとめをやめてあること
ヒヤク	飛躍	とび上る
ヒヤクカシ	百貨商店	テパートメント・ストア
ヒヤクテン	ヨウテン	
ヒヤクカセ	百科全書	Encyclopedia
ヒヤクカセ	百科全書	天文、地理、美術、音楽から哲學、醫學、スポーツ等、あらゆる事柄について、比較的詳細に記した一種の辭書、これさへあれば何でも分るといふ便利
ヒヤクジ	圓法なもの	
ヒヤクシヨ	百事	すべてのこと
ヒヤクシヨ	百姓	人民
ヒヤクシヨ	百姓一揆	農民が多数押しを擧げ免稅減稅其他の事を追々暴動をいふ
ヒヤクシヨ	百燭光	禿頭のこと
ヒヤクセン	百選會	百人の人の作物又で、展覽させる會、大呉服店などでよくこの催したる
ヒヤクダン	白檀	木の名
ヒヤクド	百度	百たび
ヒヤクパー	百パーセント	ふのは百分の一、そこを百パーセントと云ふことである、これが近頃盛んに流行してゐる、例へば、百パーセントモガと云ふと、眞性
ヒヤクヒロ	腸	はらわた
ヒヤクミ	百味	數多のうまい食物
ヒヤクライ	白癩	癩病の一種
ヒヤクロウ	白鐵	しろめ
ヒヤス	冷	つめたくする
ヒヤツキ	百鬼	いろ／＼のばけ物
ヒヤツコ	白狐	白い狐
ヒヤタイチ	日雇賃	其日／＼にやとふもの、賃錢
ヒヤノ	洋琴	西洋樂器の名、Piano
ヒヤビヤ	冷冷	つめたく感ずるさま
ヒヤビヤ	Heart, Heart	漢體々々、の意、また賛成、同感の意

ヒヤムギ	冷麩	きりむぎをひきたしたもの	ヒューマニ	Humanism	人文主義、人道主義
ヒヤメシ	冷飯	つめたいめし	ヒューリタ	Human	道、人性、人間性
ヒユ	譬喩	たとへ	ヒヨウ	Human	清教徒
ヒユ	苧	草の名	ヒヨウ	Human	飛揚 とびあがること
ヒユア	Pure	純なと云ふこと、まじりけなきこと、純粹	ヒヨウ	Human	日備 日やとひ
ヒユース	Fuse	導火線、信管、電氣傳導の銅線(錫針金)	ヒヨウ	Human	豹 獣の名
ヒユーチユ	Futurism	未來派	ヒヨウ	Human	雹 雨の凍りてふるもの
ビューテイ	Beauty	美、美感、美人	ヒョウ	Human	銚 釘の一種
ビューテイ	Beauty art	美術術	ヒョウ	Human	秒 分の六十分の一
ウエツシユ	Beauty-wash	化粧水	ヒョウ	Human	病痾 やまひ
ビューテイ	Beauty-spot	美斑、容色の美を引立てるため、顔に貼る黒の小さい布	ヒョウ	Human	病因 病氣の原因
ニスボット	Beauty-spot	美を引立てるため、顔に貼る黒の小さい布	ヒョウ	Human	廟宇 おたま
ビウテン	Beauty-spot	美を引立てるため、顔に貼る黒の小さい布	ヒョウ	Human	苗裔 子孫
ヒューマニ	Humanism	人文主義、人道主義	ヒョウ	Human	評価 事物の價値を批評し定めること

ヒョウグ	表具	かけものやふすまなどの一	ヒョウサン	廟算	政府のみこみ
ヒョウク	病軀	病める身	ヒョウシ	拍子	舞臺などの調子を合すこと
ヒョウケツ	氷結	氷がはりつめる	ヒョウシ	拍子脱	はりあひぬけのすること
ヒョウケツ	表決	議決の數に加はること	ヒョウシ	表紙	書物の表裏につけあつた紙
ヒョウケツ	評決	評議してとりきめること	ヒョウシ	表示	他人の認識し得る状態に現示すること
ヒョウケン	謬見	間違つた意見、正しくはビウケン	ヒョウシ	標識	めじるし
ヒョウケン	病源	病根	ヒョウシ	病室	病人を入るる部屋
ヒョウケン	表現	Expression 感情や思想を外部に文章又は繪畫などによつて現はすこと	ヒョウシ	病舎	病人をいれるところ
ヒョウケン	表現主義	Expressionism 最近ドイツに起つた藝術上の新傾向で自然主義新派主義に反して、歐州大戰によつて目ざめた世界主義的傾向を取入れ、又印象主義的傾向を極端に對して之はあくまで積極的、外部から印象をそのまゝ、現すのでない	ヒョウシ	描寫	えがきあらはす
シユウケン	シユウケン		ヒョウシ	標準	めじるし
			ヒョウシ	廟所	おたま
			ヒョウシ	表彰	あらはしほめる
			ヒョウシ	表情	心中のある思ひを、顔付や舉動によつて外にあらはすこと

ヒョウシヨウ	表象	かたちをあらはす、又は觀念
ヒョウジヨウ	兵仗	儀衛の武器
ヒョウシヨウ	病症	病氣のたぢ
ヒョウジヨ	評定官	行政裁判所の裁判官をいふ
ウカン	病褥	病床
ヒョウジヨク	病褥	病床
ヒョウセイ	表旌	あらはしほめる
ヒョウセキ	標石	めじるしの石
ヒョウセツ	剽竊	他の文句をぬすむこと
ヒョウセツ	謬説	間違つた説、正しくはヒョウセツ
ヒョウゼン	飄然	ひら／＼と、ふらり
ヒョウゼン	渺然	ひろ／＼
ヒョウソ	療疸	病の名
ヒョウソク	表装	表具
ヒョウダイ	表題	表紙にかいた名、標題
ヒョウタン	瓢箪	酒を入れる器、ひさご
ヒョウチ	鋪地	鋪を入れ得る地
ヒョウチャク	漂着	たゞよひつく
ヒョウチュウ	標註	本文の上に註解すること
ヒョウチヨウ	病兆	病氣のきざし
ヒョウチョ	費用徴収	費用を取り立てることを行政法上では費用を納付すべきことを命じ應ぜざるときは財産を差押して公賣を爲し其代金のの中から費用額を取るを得
ウシユウ	費用徴収	費用を取り立てることを行政法上では費用を納付すべきことを命じ應ぜざるときは財産を差押して公賣を爲し其代金のの中から費用額を取るを得
ヒョウテキ	標的	ま
ヒョウテン	評點	試験の點
ヒョウテン	氷點	氷となるべき温度
ヒョウテン	標點	しるし
ヒョウデン	標點	しるし
ヒョウデン	謬傳	あやまれる言ひつた
ヒョウトク	剽盜	おひはぎ
ヒョウドウ	廟堂	朝廷、政府
ヒョウドウ	平等關係	互に對等の地位に居る關係をいふ、人と人とは平等の權利關係に居り國と國とは平等の權利關係に立つものと云ふことを得
カンケイ	平等關係	互に對等の地位に居る關係をいふ、人と人とは平等の權利關係に居り國と國とは平等の權利關係に立つものと云ふことを得
オセン	病毒汚染	傳染病の病菌の付いたよこれ
ヒョウドク	病毒汚染	傳染病の病菌の付いたよこれ
カンセン	病毒感染	傳染病にかゝること
ヒョウナマ	飄然式	いろ／＼の口實を得ぬこと、飄然で鮫をおさへるしから出た
ヒョウノウ	氷囊	こぼりぶくる
ヒョウハク	漂泊	たゞよひながれる
ヒョウハク	漂白	色を抜くこと、さらす

ヒョウバク	渺漠	ひろ／＼としてゐる
ヒョウヒョウ	飄々	ひら／＼と
ヒョウフ	屏風	家具の一
ヒョウヘン	豹變	急に變ること
ヒョウホ	漂母	せんだくば、
ヒョウボク	標榜	主義主張を公にしてそれ、自分をちの看板とし、旗印とすること
ヒョウボク	渺茫	ひろ／＼
ヒョウホン	標本	みほん、ひながた
ヒョウマ	病覽	病氣
ヒョウメン	表面解釋	條文の表面に表はれたる文字通りに解釋すること、いふ正面解釋ともいふ
カイシヤク	表面解釋	條文の表面に表はれたる文字通りに解釋すること、いふ正面解釋ともいふ
ヒョウモン	美容問答	顔を美しく、身をつきよく、身のため、婦人雜誌などに答へる問答
ヒョウヤナ	未央柳	木の名、金絲桃
ヒョウリ	表裏	おもてうら
ヒョウリュ	漂流物	所有者の占有を離れて河川湖海等に漂流する動産をいふ
ウブツ	漂零	おちぶれる
ヒョウレイ	兵糧	兵糧、軍人のかて
ヒョウロク	評論	評し論ずること
ヒョウロン	比翼	つばさをならべること
ヒョク	肥沃	土地のこえたること
ヒョク	火除	火の延焼をよけること
ヒョク	彦徳	彥男
ヒョットコ	鴨	鳥の名
ヒョドリ	顔門	赤兒の鬘蓋骨のまだ固らぬ時、中央の動
ヒョメキ	顔門	赤兒の鬘蓋骨のまだ固らぬ時、中央の動
ヒヨリ	日和	そらのけしき、天氣もやう
ヒヨリミ	日和見	一般の形勢を見てよき方につかうとすること
ヒヨロツク	踏浪	あしもとがふら／＼する
ヒヨウシ	脆弱	かよわい
ビラ	ビラ	ビラ(Bill)の訛、引札、廣告用の小紙片、張札
ヒライシン	避雷針	らいよけ
ヒラク	開	閉の反対、開門、開口、花開の如し、又口あけの義
ヒラク	開、辟	二字通用、開に同じ、開闢と連用
ヒラク	啓	もの、口をあくる也、門戸をひらく也
ヒラク	發	もと矢をはなつ義
ヒラク	拓	地をひらく也

ヒラク 披 両方へ分け開く意
 ヒラク 排 手にて推し付くる也
 ヒラク 拆 やぶりひらく也
 ヒラク 拓 地をひろめる
 ヒラク 啓 智徳などをひらく
 ヒラッタイ 通 大ひらか、厚みなくして横にひろい
 ヒラヒラ 翻々 ひるがへるありさま
 ヒラミッド Pyramid 金字塔、石又は煉瓦の正方錐形の建造物で、古代エジプト帝王の墓、舊も大なるものは四百五十尺
 ヒラメク 閃 ひらく、すること、きらめく
 ヒラリ 譏然 かるくひるがへる
 ヒラン 糜爛 やぶれた、れること
 ヒリ 非理 理にはづれたこと

ヒリアード Billiard 玉突、撞球技
 ビリオネー Billionaire ビリオン(Billion)は英米で兆、米で十億、一般富豪をミリオネアといふに對し、それ以上の富豪の意で、米の石油王ロッキンフエラーの如きをかくいふ
 ビリケン Billiken 米國の福の神。尖つた頭の上つた眼、しかしその容顏の特色、轉じて、頭の尖つた人をビリケンといふ
 ヒリツ 比率 パーセンテージ、割合
 ヒリツク 辣痛 ひり／＼いたむ
 ヒリックケン 非立憲 憲法の規定に違反し、例へば國務大臣、帝國議會に於て不信任を決議するも憲法に帝國議會を解散するも憲法とする規定なきを理由として其職を辭せざるが如し
 ビリョク 微力 わづかの力

ヒリン 比隣 のきをならべること
 ヒリン 鄴齊 けちんば
 ヒル 蒜 草の名
 ヒル 蛭 蟲の名
 ヒル 晝 日のある間
 ヒル 嚏 くさめする
 ヒル 簸 賣であふりふるふ
 ヒル 篋 書附、勅定書、ピラ、證書、手形
 ヒル 比類 たぐひ
 ヒル 翻、繡 二字通用、ひつくりかへる義
 ヒルガエル 飄 ひらひらと風に吹かれて飛ぶ義

ヒルガオ 晝顔 草の名
 ビルグリム Pilgrim 巡禮、行脚
 ビルテイン Building 建物、家屋を云ふのであるが、最近では一般に貸事務室のある建物を云ふ、東京土地建築ビルディングなどと、不思議な名のあるビルディングがあるが、要するに一般の建物を云つて貸事務室のある建物を云つてゐる
 ヒルネ 晝寝 ひるねること
 ビルンロ Bill-broker 手形仲買人
 ヒルム 痺 力がよわる
 ヒルメシ 晝飯 正午の食事
 ヒレ 鯖 魚の
 ヒレイ 比例 わりあわせ
 ヒレイ 非禮 不禮

ヒレイ 美麗 うつくしいこと
 ヒレイゼイ 比例税 一定の比率により税をいふ、而してその物件の量の大小、價の高下に關係することなし
 ヒレキ 披瀝 あらはし出す
 ヒレツ 卑劣 いやしきこと
 ヒロ 尋 およそ六尺の長さ
 ヒロイック Heroic 超人的、英雄的、勇しき、雄々しき
 ヒロイン Heroine 女傑、烈婦、女丈夫、「文學」女主人公
 ヒロウ 卑陋 いやしきこと
 ヒロウ 披露 ひろめ、ヒロ
 ヒロウ 疲勞 つかれ
 ヒロウ 拾 採り收むる意
 ヒロウ 撮 拾ひ取る也、多く、くつもひろふに用ふ

ヒロウ 拮 多くひろひあつめる也
 ヒロウ 尾籠 失禮の意
 ヒロウ 天鷲絨 織物の名
 ヒロウ 擴 ひろくなる
 ヒロウ 微祿 おちぶれる
 ヒロウ 美祿 天の—、酒の別名
 ヒロウ 廣 狭の反對、限りなく廣き義
 ヒロウ 博 廣也、大也、幅の廣き義、疏也、遺也、兩方に限りありて其の間のは、廣き意
 ヒロウ 弘 大なり廣に近し、ひろむるとも訓む
 ヒロウ 闊 深人りをせず、ばつとしてひろき也
 ヒロウ 汎 博に近し、ゆつたりと餘りありて廣き也、窄の反對
 ヒロウ 寬 深く廣く大なる義
 ヒロウ 宏

ヒロソテ	廣袖	どてらの袖の如きも
ヒロブタ	廣蓋	からひつの蓋、又は其の如く作つた器
ヒロノ	曠野	ひろい野
ヒロメル	廣	ひろむ
ヒワ	鶺鴒	鳥の名
ヒワ	琵琶	楽器の名
ヒワ	枇杷	木の名
ヒワダ	檜皮	ひのきの内かは、ま
ヒワレ	日割	乾燥してさけめを生ずること
ヒン	止針	とめばり
ヒン	瓶	ガラスの器
ヒン	便	たより、ついで
ヒン(ミン)	民	わな、罟、兎等を捕へる括りわな
ヒンカキ	鬢掻	鬢をかきくし
ヒンカク	賓客	おきやく
ヒンカツ	敏活	すばやく活潑なること
ヒンカン	敏感	物事に感じ易いこと
ヒンギ	便宜	べんり、たよりのよ
ヒンキユウ	貧窮	びんぼう
ヒンク	貧苦	まづしくくるしむこと
ヒンク	貧告	石竹、淡紅色
ヒンコク	稟告	申し上げる
ヒンコン	貧困	まづしい
ヒンサン	鬢差	鬢をふくらす爲に入
ヒンシ	品詞	單語を性質又は職掌によりて分類したるもの、種別
ヒンシツホ	品質本位	外観上の體裁よりも、内容を主
ヒンシノジ	瀕死ノ状態	將に死なんとする様な状態をいふ
ヒンシヤク	貧弱	外見上では、みすぼらしい、内容的には、充實しない、良質でないの意
ヒンシユク	聾覺	かほをしかめること
ヒンシヨウ	憫笑	あはれみわらふこと
ヒンシヨウ	敏捷	すばしくてはやいこと
ヒンジョウ	便乘	船に乗ること
ヒンズル	寶頭盧	羅漢の名、寺の木堂の傍にある木像
ヒンセイ	品性	品格、性質といふこと
ヒンセキ	擯斥	排斥せらるること、いやしみのけものにせらるること
ヒンセツト	Pincett	小さい物體を挟むに用ゐる松葉形の金具

ヒンセン	貧賤	まづしくいやしきこと
ヒンゼン	惘然	あはれ
ヒンソク	敏速	すばやきこと
ヒンタ	贅太	贅—
ヒンターラ	ヒンターランド主義	國際法に使用せらるる、語にしてヒンターランドとは、過語にして背面地帯の意味なり、而して一海岸を先占するときは當然其の背面地帯にも勢力を及ぼすものとする説
ヒンタラ	Pinch	危機(野球の語)
ヒンツケ	贅付	—油
ヒンテキ	貧的	貧乏人、金のない連
ヒンテン	晏天	秋の空
ヒント	ヒント	暗示、例へば「この事業は一寸したことからヒントを得た」等用ひる
ヒンパン	類繁	しげきこと
ヒンビョウ	品評	しなさだめ
ヒンビン	類々	しきりに
ヒンベン	黽勉	つとめはげむ
ヒンボウ	貧乏	まづしきこと
ヒンボン	Pingpong	一種の室内遊戯、遊び方テニスの名がある、卓上テニスの名がある
ヒンモク	品目	品物の目録
ヒンラン	紊亂	みだれること、ブ
ヒンロウ	檳榔	木の名
ヒンワン	敏腕	はたらきのあること
ヒウラガキ	ニウラガキ	被裏書人
ヒキアトケ	ハイ	被裏書人
ヒキアトケ	引跡氣配	大引相場の後に生ずる市場の人氣景況のこと(取引所用語)
ヒキウケ	引受	手形法上特殊の意味を有する語にして、手形支拂人と指定せられたる者が手形金額を支拂ふべき事を約する手形法上の行為なり、手形に署名して爲すものとす
ヒキウケカ	引受價額	額面以上の價額を行したる場合株式の引受人が株式申込書に記載したる價額
ヒケアトシ	引跡商内	大引後相對で賣買を約すること(取引所用語)
ヒケソウバ	引相場	賣買約定の整つた最後の値段(同上)
ヒコウホン	跛行本位	金銀共に之を本位貨幣とし無制限支拂の效力を有せしむるも自由鑄造を許すもの、鑄造を制限する貨幣制度
ヒザオレ	膝折れ	相場の騰貴せずして低落すること(取引所用語)
ビスネス	Business	仕事、事務等の意
ビスネス・センター	Business Center	商業の中心地の意、東京市に於ける丸の内のこと

5

賦	文の一體
歎	食品の名
傳	かしづきまゐる
腑	はらわた
譜	音樂の一
斑	ぶち、まだら
婦	をんな、よめ
經	直也過也、物事を一わたり過ぎ行く義、經過、經驗
歷	物事を一つ／＼次第に經る也、歴代、歴官
更	あらたむ、かへる、舊きものをかへて經る義、更新、更始
関	物をこえて經る也、関月、草木の多く生じたる也、芝生
夫	をとこ、をつと
符	わりふだ、わりふ、しるし
賦	とりたてもの、みつぎもの、ぶやく、公役
巫	みこ、かんなき
計	死去のしらせ
歩	六尺四方、坪
分	寸の十分一、小数の第一位
部	ぶ、ん
武	たけきこと、を、しきこと
ファースト	Face 茶番、道化芝居、笑劇 First 一學、(野球の語)
ブアイ	歩合 わりまへ
ブアイキョ	無愛敬 ぶあしらひ
ブアイソウ	無愛想 あいそのないこと
ファイリン	Filing system 事務整理法の一法で、主としてブアイ
グ・システム	ルブックを用ふ
ファイイル・ブック	File-book 綴込帳簿の一種、必要に応じて、記入用紙を自由に増減しうるやうになつたもの
ファウンテン・ペン	Fountain-pen 万年筆、ブアウンテンは泉の意で、つまり一度インキを入れれば泉のやうに次々にインキが出るペン
ファクト	Fact 事實
ブアシライ	無待遇 不親切なまてなし
ファッション	Fashion 流行、流行の着物とか、洋服とかをマネキン(その項參照)等にを着せて、百貨店等が宣傳のために見せるのを、ファッション・ショー(Fashion show)と云ふ

ファン	不安 安心でないこと
ファン	Fan 愛好者、好事家のこと、特に運動競技、映畫等の熱心家に多く用ひる、英訳 Fanatic の略
ファンシー	Fancy-ball 假裝會
ファンタジ	Fantasy 空想、過去の記憶と現在の經驗とを、背景及び材料として、想像以上にあり得べからざる事物を頭に浮べる事
ファンナイ	不案内 案内知らぬこと
ファイ	布衣 いやしい人、ホイ
ブイ	Buoy 浮標、救命袋
ブイ	無異 かはりなし
ブイ	無爲 なにもせぬこと
ブイ	武威 武力のいくわう
ファイナー	Finale (音樂)終曲
フィーネ	Fine (音樂)終結(音曲反覆して終結するとき)
フィーリン	Feeling 感覺、知覺、感觸、情緒
ブイク	傳育 かしづきただてること
ブイク	撫育 いつくしみそだてること
フィクション	Fiction 小説、作り話
フィゴウ	Fiction 火をおこす具、フィゴ
フィジオロ	Physiology 生理學
ジイ	Physician 醫者
フィジシャン	Physic 醫學、醫術
フィジック	Physics 物理學、理學
フィジックス	Physics 物理學、理學
フィチョウ	吹聴 いひふらす、いひひらゆること、話し廻り人の耳に吹き込むこと
フィフイキ	回々教 モハメツト教
ウイリ	斑入 まだらのあること
フィールド	Field 原野、平野、スポーツ用語として試合場、競技場のこと、又陸上競技で百、二百と云ふ走る競技をトラック(track)と呼び、槍投、高走、圓盤投等をフィールドと呼ぶ
フィルム	Film 薄皮、膜、寫眞感光膜、活動寫眞を寫した薄膜
フィロソフ	Philosopher 哲學者
フィロソフ	Philosophy 哲學、哲理
フイン	訃音 死去のしらせ
フイン	無音 たよりをせぬこと
フィンガー	Finger-bowl 西洋料理の食後、指先の汚れを洗ふための器、飲むために出るので、器、飲むために出るので、なす
ブーア	Poor 貧乏な、下手な、貧弱な
フワアツ	風壓 風の壓力
フワイン	風韻 みやびのおもむき

フウイン	封印 封印の如く任意に 封分することを禁ずる目的 を以て施したる公務員の印 章をいふ
フウウン	風雲 かぜとくも、よき機 會
フウガ	風雅 みやび
フウガワリ	風變 やうすのかはつてゐ ること
フウカク	風格 性格、風采
フウカン	諷諫 物にかこつけいさめ る
フウカン	封緘 手紙に封をすること
フウキ	風氣 引きかぜ
フウキ	風紀 風俗紀律といふこと
フウギ	風儀 ならはし
フウキョウ	風教 世のをしへ
フウキリ	封切 新映畫又は新たに船 來した映畫を初めて
フウキン	風琴 樂器の名、オルガン
フウケー	Bouquet 花束
フウコウ	風光 けしき
フウサ	封鎖 他の國家の港灣、海 岸、河口等に於ける 船舶の交通を遮断すること をいふ、之れを犯したると きは其船舶を捕獲す
フウサイ	風采 ひとがら、やうす
フウシ	風姿 やうす
フウシ	諷刺 諷刺はしに人を罵る こと、それとなく間 接にあてこすりをいふこと
フウシヤ	風邪 かぜ
フウシユウ	風習 ならはし
フウシヨ	封書 ふうじたてがみ
フウシヨウ	諷誦 よみとなへること
フウジル	封 かたくふうをする
フウジン	風塵 ほこり
フース・ヒー	Moscow 人物評論、人物 月旦(批評)
フウセツ	風説 世間のうはさ
フウセツル	風説流布 成うはさを方々 へ話し廻ること
フウセン	風船 輕氣球
フウソク	風速 風の速さ
フウソク	風俗 ならはし
フウソクカ	風俗壞亂 みだらなことを 記載して風俗を みだすこと
フウソクア	風俗紊亂 風俗が亂れるこ と
フウラン	風袋 いれもの、おもさ、 風體

フウチ	風致 ありさま、おもむき、 あぢはひ
フウチヨウ	風潮 時代の一般の傾向、 有様
フウチン	風鏡 軸物の兩端にかける おもり
フウツツ	風通 織物の名
フウテイ	風體 なりふりすがた
フウテン	瘋癲 きらがひ、ものぐる ひ、精神病者
フウテンシヤ	瘋癲者 癡狂者
フウト	呎 Foot およそ一尺
フウド	風土 土地のありさま
フウトウ	封筒 手紙を入れるふくろ
フウト・ポ ール	フット・ボール
フット・レ グ	Football 直譯すると「長靴 はいた足」だが、米國では 酒の密賣の意、禁酒勸行の 國だけに、公然と酒の販賣 されぬところから、靴の中
フウハ	風波 なみかぜ、あらそひ
フウバイ	風媒 かぜがなかだちする こと
フウバギユウ	風馬牛 きゝながすこと
フウハク	風伯 かぜをおこす神
フウビ	風靡 なびかせる
フウヒョウ	風評 うはさ
フウボウ	風貌 姿かほつき
フーフ	Bouffe 滑稽歌劇
フウフサイ サンケイヤ	夫婦財産契約 夫婦の財産関係を定むる契約 結婚前、婚姻届出 婦となつた場合に於ける夫 の財産をいふ、妻の財産は夫 が使用するが、夫が使用する 費用は如何に負擔するか 等の定めをいふ
フウミ	風味 あぢはひ
フウライ	風來 何處からとも知らず 來ること
フウライモ	風來者 おちつくところも ない人
フウラン	風蘭 蘭の一種
フウリユウ	風流 みやび
フウリン	風鈴 軒につる鈴
フール	fool 愚人、馬鹿物
プール	Pool 池、水溜、水泳練習の ため學校や公園等に設備さ れた貯水池
プールジョ	Bourgeois 有産者(財産の 多少にかはらず)有閑者、 相當收入ある一般階級生活 者、もとの意味では、第一 階級、第二階級の人々に對 して、中流人、市民、村長、 小商人等、普通人若はそれ 以下を指したが、經濟上で も社會上でも次第に勢力を 得るに及び上の意味となつ た
プールジョ	Bourgeoisie 有産階級、有 閑階級、俸給生活者の階級

フールス・デー	Fool's day 四月馬鹿、萬愚節、四月一日、歐米ではこの日はどんな嘘をいつても欺しても罪にならないとして、人々互にだましあつて興ずる日	フェード・アウト	Fade-out 「映畫」ぼかし込み、畫面が次第に暗くなつて暗黒のうちに消えてゆくこと	フェキ	不易 かはらぬこと
フクロウ	封蠟 容器の口を密封する物	フェード・イン	Fade-in 「映畫」ぼかし出し、薄明、闇から次第に薄明るくなり、遂に明るい畫面が浮出して來ること	フェキ	扶掖 たすけること
フウン	浮雲 うきくも	フェーブル	Fable 寓話、昔話、假作物語	フェキゲン	夫役現品 市町村がその公人が爲に勞役或は金錢にあらざる物品を納税せしむることあり、この勞役を夫役と云ひ物品を現品といふ
ブウン	武運 いくさの運	フェーヤ	Fare 「汽車電車などの」賃金	ビン	
フェ	笛 樂器の名	フェーヤウ	Farewell さばば、さよなら、御機嫌よくの意、告別	フェダレー	Federation 聯合、同盟、聯邦
フェース	鯨 魚の浮袋	フェーヤウ	Farewell-meeting 送別會	フェミニズ	Feminism 女性主義、女性の性的差別を破り、一切の男女平等を聲して、男子と同等にならうとする婦人運動
フェイス	Face 顔、容貌、表面、外面	フェーヤリ	Fairy tale お伽噺	フェツ	斧鉞 をの、まさかり
フェイス	Faith 信念、信仰	フェーヤリ	Fairy 西洋お伽噺に出て來る仙女	フェテ	不得手 じゆくれんせぬこと
フェイスフ	Faithful 忠實な、誠實な、謹直な	フェーヤリ	Fairyland 仙人郷、仙境	フェル	殖 數がまず、ふゆ
フェータリ	Fatalism 運命論、宿命論	フェーヤリ	Farewell-meeting 送別會	フェルト	Felt 獸毛を硫酸等でぼぐして綿状となつたものに糊を

フエン	加へ壓搾したるもの、毛氈地、フェルトの帽子、フェルトの草履などがある	フォトグラ	Photogravure 寫眞版畫の一種、凸面寫眞版から印刷したもので、寫眞版畫中最も美しく精巧で感じがよい普通略してグラヴィアといふ	フカイ	不快 面白からぬこと、又病氣
フエン	不縁 えんぐみの破れること	フォトブレ	Photo-play 映畫劇	フカイサン	不解收罪 罪擧を企て、其の官憲が三回以上解罪の命令をせしむるときに、仍ほ解罪の命をせしむるときに、刑法百七條
フエン	布衍 のべ廣げること、敷衍	フォトブレ	Photo-player 映畫機	フカイナシ	無腑甲斐 いひがひないこと
フエンリョ	無遠慮 遠慮せぬこと	フォトマリ	Formalin 防腐殺菌用の劇薬	ツフカオツ	不可押物 債權者が強制賣を云ふ、例へば債權者の家族の爲に、却り可からざる衣服、家具、職業用具、勳章、印、神鏡、佛像公にせざる著述の稿本、學用品等はこれなり
フォーカス	Focus 焦點、中央、中心	フカ	鱧 魚の名	フカカイ	不可解 分らない、理解が
フォーケ	Fork 洋食用肉叉、熊手	フカ	負荷 おひになふこと	フカク	不覺 いくぢないこと、ま
フォーゲ	Forget-me-not 忘れな草	フカ	孵化 卵がかへること	フカク	俯角 水平に對してなす見
フォーミ	Form 形、形状、人形、型	フカ	浮華 はでやか	フガク	舞樂 雅樂のまひ
フォー	Force 力、勢力、兵力、腕力	フカイ	賦課 租税等の負擔を課すること	フカクテイ	不確定期限 とは確定す
フォー	Fortune 運、仕合、財産、富貴、財源家	フカイ	附加 つけくはへること	キゲン	
フォー	Form 形、形状、人形、型	フカイ	附會 こじつけ		
フォト	Photograph 寫眞				

とも其時期の不確定たる
期限をいふ、例へば「甲が
死亡の時より……」等の契
約のことし

フカクテイ
不確定期限附法律行為
キケンツコ
ホウリツコ
ウイ

フカクテイ
不確定給付
債権の目的
権の成立當時に給付すべき
ものが不確定なるものを後
に於て給付物が確定する場合
に於て之を不確定給付とい
ふ。

フカクテイ
不確定債務
債務成立の
目的物確定せざるも此の後
に於て何等かの方法により
目的物の確定する債務をい
ふ。

フカクテイ
不確定ノ故意
或る犯罪
と欲するもこれに依り生
ずる事實の不確定なる場合
をいふ、即ち群衆中に入ら
しめて何人かを選せんとする
犯意の如きである。

フカケイ
附加刑
主刑に對する語で
れに附隨して科するこの
出来る刑をいふ、没収はこれ
である。

フカケイ
不可抗力
普通人間の力で
は到底防ぎ
れない大きな力、多く自然
の偉大なことにいふが、人
爲的なものにもいふが、人
の反對、水に限らず

フカシ
深
廣く情思、義理などの
深きにも用ふ。

フカシ
淺、濬
堀や、川をさらへ
て深くする義。

フカシ
遠
奥深く遠き也、幽遠

フカシ
覃
深く廣き也

フカシ
淵
ふちの如く深くして底
の知れぬ也

フカシ
不可思議
はかりがたきこ
と

フカシ
不可侵權
何人も侵すこと
の出来ない持
權、三種あり天皇の不可侵
權、公使の不可侵權及軍使
の不可侵權

フカス
蒸
むす

フカテ
更
夜などをー

フカフンキ
深手
おもききず

フカブンケ
不可分給付
性質上又は
思に依り分割し得可からざ
る給付をいふ、債権の目的
物が不可分給付なるときは
不可分債權なることは勿論
なり

フカブンサ
不可分債權
債權の目的
権利の如き目的物を分割す
ることの出来ない債權

フカブンサ
不可分債務
債務者が二
以上あるが債權が一つに
分つべからざる債務を云ふ
意思に依り又はその性質上

ツカブンフ
不可分物
その性質上又は
當事者の意思に

フカミ
深處
ふかいところ

フカンシヘ
不換紙幣
本位貨幣即ち金
換のできぬ紙幣、これは引
換の十銭の引換をせぬ紙幣
の(十銭)の引換をせぬ紙幣
如き)と、引換をする紙幣
事(質)に及ばぬ(國)の資
な(質)に及ばぬ(國)の資
め(質)に及ばぬ(國)の資
不換紙幣が多ければ、それ
だけ紙幣の価値が安くなる
やのマルクが紙幣やドル
となつたのも、このため
ある。

フカンゼン
不完全所有權
所有者が
の使用權又は收益權の一部
或は全部を或る期間他人に
與へたる場合に對する其所
有者の其所有物に對する所
有權をいふ。

フキ
蕨
草の名

フキ
純
きもの、ふき

フキ
不軌
むほん

フキ
不羈
ものにかはらぬこ
と

フギ
不義
義にそむく、あるま
じき行

フギ
附議
相談させる

フギ
舞妓
まひひめ

フギ
武技
武藝

フキアゲ
吹上
噴水

フキテモノ
吹出物
粟粒のやうなでき
もの

フキナガシ
吹流
旗の一種

フキヌキ
吹貫
ふきとうし

フキヤ
吹矢
いきでふきだす矢

フキユウ
不朽
いつまでもすたれぬ
こと

フキユウ
普及
ゆきわたること

フキヨウ
不況
景氣の悪いこと

フキヨウ
布教
宗教上の教をひろめ
る

フキヨウ
不興
面白からぬこと

フギョウ
俯仰
うつむくとあふむく
と

フギョウ
不撓
たゆまざること、フ
トウがたしい

フキヨウ
奉行
役の名

フキヨク
舞曲
まひの曲

フキヨセ
吹寄
風で吹寄せること、
経々の物をあつめる
こと

フク 拭 ぬぐふ
 フク 葺 屋根をおほふ
 フク 噴 はき出す
 フク 副 そへ
 フク 不虞 思ひがけぬこと
 フク 河豚 魚の名
 フク 武器 いくさの道具
 フク 腹案 腹の中だけで出来て
みる案、未発表の案
 フク 腹郁 香のかんばしきさま
 フク 福音 幸なるおとづれ
 フク 幅員 ひろさ、はば
 フク 複音 單音ならぬおん
 フク 覆蓋 おほひ、ふた

フクケン 復権 國家が犯罪者に對し
再びその公權を回復する時
とをいふ、復権は天皇の大
權なり、破産宣告を受けた
る者が一切の債務を支拂つ
た場合にも復権あり
 フクコウジ 副甲狀腺 咽ぼとけの副に
あつた腺、極めて微細な四
つの小腺、小さいながら内
分泌腺の一種として重要な
ものである、それを除去し
ると生命に係ることさへあ
る
 フクサ 袱紗 帛でつくられるふろし
き
 フクサイ 伏在 かくれてゐること
 フクザイ 服罪 罪に服すること
 フクザツ 複雑 こみひつてゐること
或一つの作用にと
もなつて起つて來
る作用をいふ
 フクサヨウ 副作用 ある目的を得んと
して作業中その目的
の物以外更に第二第三の物
が出來ること多く工業上の
 フクサンブ ツクサンブ 副産物 ある目的を得んと
して作業中その目的
の物以外更に第二第三の物
が出來ること多く工業上の

フクシ 福祉 さいはひ
 フクシ 副使 つきそひの使
 フクシ 副詞 動詞などを限定する
語
 フクシ 複寫 またうつし
 フクシヤ 福者 しあはせもの
 フクシユウ 復讐 かたきうち
 フクシユウ 復習 おさらい
 フクジユウ 服従 したがふこと
 フクショ 副署 國務大臣が御名御璽
の傍に自分の姓名を
書くことをいふ
もとの職にもどるこ
と
 フクシヨク 復職 現俗すること
 フクシヨク 服飾 きものなどの總名

フクシヨク 副食物 おかし
 フクシン 覆審 はじめから取調をや
りなほすこと、をい
ふ、第一審で取調べた所と
同じことを更に繰返へすこ
とである
 フクシン 腹心 心の底までうちあか
すこと
 フクジンズ 福神漬 漬もの、名
 フクス 伏 したがふ、かくれる
 フクス 服 したがふ、身につける、
のむ
 フクスウ 複數 二以上の數
 フクスケ 福助 脊ひくく頭大なる人
 フクセイ 複製 同じものを多數にし
らへること
 フクセキ 復席 もとの席にかへること
 フクセキ 復籍 婚姻又は養子縁組に
因つて他家に入つた
者が離婚又は離縁等に因り
て元の籍に歸つてくること
をいふ

フクセキキ 復籍拒絶 戸主の同意を得
ずして家族が婚
姻又は養子縁組を爲したる
時、その日より一年間戸主
はその家族の復籍を拒絶す
ることを得るこれを復籍拒
絶權といふ
 フクセン 伏線 後にいはんとするこ
と、準備的、ある事を用ふこ
と、文章談話ともに用ふこ
と
 フクセン 複線 汽車や電車などの線
路が上り下り兼用で
なく、二線別々になつてゐ
ること
 フクソウ 服装 みなり
 フクソウ 輻湊 よりあつまること
 フクソウ 伏奏 帝王に申上げる
 フクソウ 腹藏 腹の中にかくすこと
 フクソウ 不俱戴天 ともに天をいた
だかぬ
 フクダイリ 復代理人 代理人が其權限
の一部を行使し
むる爲め自分で選任したる

フクツ 不届 木人の代理人をいふ
物事に届しないこと
 フクツ 腹痛 はらいたみ
 フクツツ 覆轍 車の覆へること、先
例
 フクツク 福德 しあはせ
 フクトク 伏匿 かくれること
 フクニン 復任 再び任命されること
 フクハイ 覆敗 くつがへり破れるこ
と
 フクハイ 腹背 はらとせなか
 フクハイ 不具癢疾 かたわで身體が
役にたつないこ
と
 フクフ 腹部 腹の部分、物のなか
ほど
 フクフクセ 複複線 旅客列車用の複線
と貨物列車用の複
線とを、別々に併し並行さ
せて敷設してあること

フクベ	瓠 匏、へうたん	フクム	喙 鳥獸の頬に食を貯ふ也	フクヨウ	服膺 よく心にこめて忘れぬこと
フクヘイ	伏兵 かくれた兵	フクムギム	服務義務 命ぜられたる事務を忠實に處理する義務	フクラム	服 ふくれる
フクヘキ	復辟 皇位にかへること	フクムメイ	服務命令 服務命令は官吏に對する國家の命令をいふ	フクラハギ	服膝 足のうしろの方のやわらかなところ
フクボツ	覆没 くつがへりしづむこと	レイ	復命 かへりてへんじする	フクリ	福利 幸福と利益
フクホン	副本 本もの、文書と同一の内容を記載した文書	フクメイ	復命 こと	フクリノホ	複利ノ方法 民法に定むる重利の利息に又利息を附する方法である
フクホニイ	複本位 二種の物を本位とする	フクメン	覆面 かほをつむむこと	フクロリョウ	副領事 領事の職務を補助し領事の差支の場場合に之れを代理する官吏をいふ
フクマク	腹膜 腹部にある膜	フクモトイ	福本イズム マルキストの理論を以て、一九二五—二六	フクレツラ	腹面 心の面白くないときむつとした顔
フクマデン	伏魔殿 悪魔の潜伏する堂敷その他の悪徳を敢てする人々の多数ある處、また一般團體の事をいふ、(一種の魔窟の意に)	ズム	福本イズム マルキストの理論を以て、一九二五—二六	フクロクジ	福祿壽 七福神の一
フクム	含 口中に物をくむ也、また廣く含む入る、義	フクメン	覆面 かほをつむむこと	フクロダタ	袋叩 よつてたかつて騒ること
フクム	衝 口に内にくむ、義、俗は半ば外に出す也	フクモトイ	福本イズム マルキストの理論を以て、一九二五—二六	フクロダナ	袋棚 壁のはり出た袋の様な戸棚

フクロネズ	袋鼠 カンガルー	フケン	符驗 き、め、しるし	フケンセイ	府縣稅 府縣といふ自治體が其團體の收入とする目的で取立てる税(家屋税、所得税附加税等)
フクワケ	福分 品物をわけあたへること	フケン	富源 とみのみなもと	フケンチジ	府縣知事 府縣行政の長官といふ自治體の代表機關となるもの
フケ	雲脂 髪にたつ白いあか	フケン	浮言 評判	フケンヒ	府縣費 府や縣といふ自治體の費用
フケイ	不積 むかながへ、根柢無	フケン	誣言 悪口の言葉	フケンレイ	府縣令 地方長官である府縣知事が其權限内の事項に付發する命令をいふ
フケイ	不敬 ろやまはぬこと、失禮	フケン	附言 つけ加へた言	フコ	畚 土などもりて運ぶ器具
フケイ	武藝 武道にかゝる藝術	フケン	分限 むのほど、かねもち、侮言 あなどることば	フコ	武庫 武器ぐら
フケイキ	不景氣 景氣がわるい、さびしい	フケン	夫權 夫が妻に對して有つべき権利をいふ例	フコウ	附合 二以上の物がくつゝ、状態に在る場合又はこれを離すには過分の費用を要する場合をいふ
フケイザイ	不敬罪 皇族等の尊嚴を損ずる行為によつて成立する罪	フケン	夫權 夫が妻に對して有つべき権利をいふ例	フコウ	負號 負數を示すしるし
フケイゾク	不繼續地役權 承役地をが如く間斷なく要益地に便を與ふるにあらずして時々便を與ふる地役權をいふ	フケン	夫權 夫が妻に對して有つべき権利をいふ例	フコウ	富豪 かねもち
フケツ	不潔 きたないこと	フケン	夫權 夫が妻に對して有つべき権利をいふ例		
フケル	耽 おぼれる	フケン	夫權 夫が妻に對して有つべき権利をいふ例		

フコウ	符合	二つのことのおよくあふこと
フコウ	符號	文字に代るべきものの電信符號速記符號の如きをいふ
フコウイキ	不行爲期間	裁判機關をして一定の期間内或る訴訟行為を爲さざらしめんが爲めに存する期間を云ふ、刑へば被告人の呼出に要する期間、被告人の呼出に要する猶豫期間、公判呼出に要する猶豫期間等の如し
フコウコク	符號刻記	文字に代るべきものをきざみつけること
フコク	布告	一般に告げ知らすこと
フコク	誣告	他人に對し刑罰や懲戒をその事實を告訴する目的でその事實を虚偽の申告をすること
フコクフリ	不告不理	裁判所は検事の起訴事件の取調裁判を行はなといふこと
フコクフリ	不告不理ノ原則	検事の起訴事件の取調及裁判を爲さない主義をいふ
フコクフリ	武骨	禮儀を知らぬこと
フコクフリ	房	花實の一莖に藤り垂れたもの
フコクフリ	總	元を束ねて先を散らし大物
フコクフリ	跌坐	あぐらをかく
フコクフリ	負債	借財、借金
フコクフリ	不才	はたらきのないこと
フコクフリ	不細工	ふてぎは
フコクフリ	塞	さへぎりさまたげる
フコクフリ	鬱悶	ふさぐに同じ
フコクフリ	塞	通の反對、向ふへ通れぬやうにする義
フコクフリ	杜	塞に同じ、とづるとも訓む
フサケ	瘻	つかへふさがる意
フサケ	梗	さへはるものありて通ぜざる義
フサケ	室	塞也、望欲
フサケ	鬱	氣分のふさがる義
フサケ	不作為	或事を爲さないこと即ち意思に基く消滅的靜止
フサケ	不作為犯	「必要なる保護を爲さざると」を爲さざると式で定められた犯罪
フサケ	不作為令	或事を爲さないこと即ち命令として命ぜらる
フサケ	不遑及ノ原則	以前にさかないといふ原則
フサケ	不作保險	當事者の一方が又は他の事故により相手方が掛作物に付て被むることあるべき損害の填補を約するの保險をいふ
フサケ	戲	ふざける

フサケモノ	巫山戯者	じようだんななぞの上手な人
フサツ	燕雜	入れ亂れて條理のないこと
フサブサ	總々	しげくあつくたれさがらさま
フサホウ	不作法	ぎやうぎのわるいこと
フサマ	無様	みにくきさま
フサワシ	相應	かなふこと
フシ	節	物のくぎり
フシ	不死	死なぬこと
フジ	藤	花の名、フヂ
フジ	燕辭	つまらぬことば
フジ	無事	ひまなこと、たつしやなこと
フシギ	不思議	あやしいこと
フシダラ	不檢束	だらしのない、しまりなし
フジダナ	藤架	藤つるをまとはせる
フジツ	不日	日ならず、やがて
フシツケ	不躡	無作法なこと
フシド	臥所	寢室
フジバカマ	藤袴	草の名
フシマツ	不始末	始末のわるいこと、不行跡
フジミ	不仁身	殆ど感じのないからだ
フジユク	不熟	じゆくしない
フジユツ	撫恤	いたはりあはれむこと
フシユビ	不首尾	首尾のわるいこと
フジユン	不順	順序の亂れること
フジユン	不純	きつすめでないこと
フジユン	不純正不作為犯	作爲犯を不作為犯を以て犯したるときをいふ
フシユン	扶助	たすけること
フシユン	部署	手くぱり
フシユン	不詳	よくわからぬこと
フシユン	負傷	きずをまふこと
フシユン	不肖	親ににぬこと、愚かもの
フシユン	不祥	ふきつ
フシユン	不承	不承知
フシユン	不淨	清からぬこと、便所のことにも
フシユン	不精	くはしからぬこと
フシユン	無性	なまげがちのこと

フシヨウヒ	不消費物	性質上一回の使用により消費せざるものをいふ、土地・家屋・機器等の如し
フシヨウブ	不精無精	いやく／＼なやうすて、しぶ／＼ながら
フシヨク	腐蝕	くさること
フシヨク	扶植	たすけたること
フシヨク	侮辱	あなどりはづかしめること
フシヨクザ	侮辱罪	公然人を侮辱する罪(刑法三三二條)
フシヨクテ	侮辱的ノ言辭	「馬鹿野郎」とか「貴様は詐欺師だ」といふ様な人を侮辱した言葉
フシヨクヒ	侮辱罪ノ言辭	あなどりはづかしめ損ずること
フシン	不振	ふるはざること
フシン	腐心	苦心すること
フシン	不審	うたがはしいこと
フシン	普請	家などを造ること
フジン	不仁	なさけ心のないこと
フジンカイ	婦人解放	従来男子に對し屬的であつた女子の地位を高めて、同等とすること、そのためには教育上、職業上、政治上、社會上に於いて、凡て男子の得る権利や待遇を、婦人にも同様與ふべしとの主張、十九世紀の婦人の中頃から歐洲に起つた婦人の自覺による運動
フジンセツ	不親切	親切でないこと
フジンドウ	婦人同盟	婦人の社會運動團體の通稱、無産政黨では特に婦人同盟を組織して、その政治的進出を指導してゐる
フジンモン	婦人問題	自覺せる婦人が統的の關係にあるその地位を脱却して新しい境遇に立たんとし、而も尙古きに
フス	伏	俯に近し、傾儀はかたぶきたふる、也
フス	俯	仰の反對、うつむく義
フス	伏	起の反對、面を地につけうつふしなる義
フス	伏	仰の反對、うつむく義
フス	伏	はらばひになる也
フス	踏	はらばひになる也
フス	賦	わりあてゐる、又詩などをつくる
フスイ	不隨	おもふまゝ、にうごかぬこと
フスイ	附隨	つきしたがふ
フス	不隨	おもふまゝ、にうごかぬこと
フス	附隨	つきしたがふ

七二二

フスイ	不粹	ぶこつ、無風流
フスウ	頁數	數學の語、正數に對して
フスブル	煤	火がよく燃えずにいぶる
フスベル	燻	けぶらせる、いぶす
フスマ	襖	からかみ
フスマ	衾	ふとん
フスマ	麵	小麦粉を製したる後の屑、麩・麩皮等
フセ	布施	僧にほどこす品
フセイ	賦稅	課稅
フセイ	風情	おもむき、あぢはひ
フセイ	無勢	人數の少きこと
フセキ	附籍	他家へついた戸籍
フセグ	防、坊	豫防と連用、事に先ちてあらかじめ用心してふせぐ也
フセグ	樂	あたるとも調む、さし當りてふせぎ止むる也
フセグ	扨、捍	二字通用、外の害をふせぎて己を守らる也
フセグ	拒、距	二字通用、こばみふせぐ也
フセツ	敷設	布設、しきまうけること
フセツ	浮説	ねなしごと
フセツ	符節	わりふ
フセツ	伏樋	地中に伏せ埋めて設ける樋
フセドイ	伏縫	縫込ををりかへし縫をする
フセヌイ	附箋	つけふだ、さげがみ
フセン	普選	普通選舉の略
フセン	麸素	麩のもと、グルテン
フソウ	扶桑	支那の神木、轉じて日本のこと
フソウ	無雙	ならびなきこと
フソウ	武装	いくさのしたく
フソウ	不相應	適當でないこと
フソク	不足	たらぬ
フソク	不測	はかられぬこと
フソク	附屬	つきそふこと
フソク	附屬書類	圖書にくつつけられて提出すべき書類をいふ例へば判事の命令状の如し
フソク	不足保險	保險金額が保險料より少き場合を云ふ
フソク	不揃	そろはないこと
フソク	不遜	たかぶること
フソク	蓋	もの、おほひ
フソク	符	神佛のまもりふだ

ブタ	豚 獸の名	フタイタイ	不代替物 性質上又は當事者の意思により他の物を以て之に替ふることを得ざる物をいふ	フタツ	雙 一對なり、二羽の雀を字なり、ならぶとも訓む
フタイ	附帶 つきそふこと、つき伴ふこと	フタイトコ	再從兄弟 またいとこ	フタツ	再 一つことを二度するなり、再拜の類
ブタイ	舞臺 をどりば、ステージ	フタイハン	附帯犯 或る犯罪者がその犯行の爲めに他の犯罪を犯したるが如き場合に、この犯罪を附帯犯といふ	フタツ	布達 ふれ告げること
ブタイカン	舞臺監督 〔演劇〕脚本の撰優の所作・科白等舞臺上に於ける一切を監督する人	フタイエマブ	二重險 まぶたの皮の二重に重なつたもの	フタナ	文棚 木をのせる棚
ソフタイコ	附帯控訴 既に被告人の側にあつた事件に付控訴の申立所は不服であるといふ申立をするをいふ	フタエマブ	塞 ふさがる	フタナリ	兩性 男女兩性を具ふる者
フタイシソ	附帯私訴 民事の訴が刑事の訴に附帯して請求する所の民事の訴をいふ	フタゴコロ	附託 たのむ、まかせること	ラフタノアブ	豚油 豚からとつたあぶら
ウコク	附帯上告 附帯控訴と同じ人の側から既に上告申立の検事が原判決に不服であるといふ申立をするをいふ	フタツ	貳 物の数の二つ也、貳はそへるとも訓む、二と意義通用す	フタマタ	二俣 二つにわかれたまた
フタンツキ	負擔附遺贈 受贈者が遺贈に他人に對して受ける利益を與ふることを定めたる遺贈をいふ	フタツ	兩 同じやうなもの二つ也、もと車輛の輛なり	フタモノ	蓋物 蓋のある入物、陶器の合子
ゾタンツキ	負擔附贈與 負擔を條件とする贈與をいふ	フチャク	附着 ひつつくこと	フダン	不斷 たえざること
フチ	淵 瀧、水の深き處	フチャク	不調 とゝのはぬこと	フダン	武斷 武力によりて事をさばくこと
フチ	扶持 たすけること、一い	フチャク	符牒 しるし	フダン	負擔 他に對して自己がなすべきことを引受くるによりて生ずる責任をいふ
フチ	不治 病のなほらぬこと、一い	フチャク	符帳 商家で物價を證語でつけたしるし	フダン	不斷着 つねぎ
ブチ	斑 まだら	フチャク	不調法 つたないこと、あやまち	フダン	
ブチ	Petit-Doungois 小ブルジョアの意、ブルジョア階級の中間にあつて何れの大階級にも屬さない工業主、小商人、自作農等は一方自己の労働によつて生活するが、その生産品は自らの望みのまゝに処分することの出来るブルジョアと	フチャク	浮沈 うきしづみ、盛衰	フダン	
ブチ	Petit-Doungois 小ブルジョアの意、ブルジョア階級の中間にあつて何れの大階級にも屬さない工業主、小商人、自作農等は一方自己の労働によつて生活するが、その生産品は自らの望みのまゝに処分することの出来るブルジョアと	フチャク	擊 うつこと	フダン	
ブチ	Petit-Doungois 小ブルジョアの意、ブルジョア階級の中間にあつて何れの大階級にも屬さない工業主、小商人、自作農等は一方自己の労働によつて生活するが、その生産品は自らの望みのまゝに処分することの出来るブルジョアと	フチャク	普通 なみ／＼なること	フダン	
ブチ	Petit-Doungois 小ブルジョアの意、ブルジョア階級の中間にあつて何れの大階級にも屬さない工業主、小商人、自作農等は一方自己の労働によつて生活するが、その生産品は自らの望みのまゝに処分することの出来るブルジョアと	フチャク	普通株式 優先株式にあらざる株式をいふ	フダン	

フタンツキ	負擔附遺贈 受贈者が遺贈に他人に對して受ける利益を與ふることを定めたる遺贈をいふ	フツウ	普通 納税をするとき、その年齢に達した者は原則として誰にでも選挙権を與ふるといふ主義をいふ
ゾタンツキ	負擔附贈與 負擔を條件とする贈與をいふ	フツウ	普通選挙ノ沿革 普通選挙、明治三十四年以來多額の懸案であつた普通選挙制は、大正十四年三月二日第
フチ	淵 瀧、水の深き處	フツウ	普通 納税をするとき、その年齢に達した者は原則として誰にでも選挙権を與ふるといふ主義をいふ
フチ	扶持 たすけること、一い	フツウ	普通 納税をするとき、その年齢に達した者は原則として誰にでも選挙権を與ふるといふ主義をいふ
フチ	不治 病のなほらぬこと、一い	フツウ	普通 納税をするとき、その年齢に達した者は原則として誰にでも選挙権を與ふるといふ主義をいふ
ブチ	斑 まだら	フツウ	普通 納税をするとき、その年齢に達した者は原則として誰にでも選挙権を與ふるといふ主義をいふ
ブチ	Petit-Doungois 小ブルジョアの意、ブルジョア階級の中間にあつて何れの大階級にも屬さない工業主、小商人、自作農等は一方自己の労働によつて生活するが、その生産品は自らの望みのまゝに処分することの出来るブルジョアと	フツウ	普通 納税をするとき、その年齢に達した者は原則として誰にでも選挙権を與ふるといふ主義をいふ
ブチ	Petit-Doungois 小ブルジョアの意、ブルジョア階級の中間にあつて何れの大階級にも屬さない工業主、小商人、自作農等は一方自己の労働によつて生活するが、その生産品は自らの望みのまゝに処分することの出来るブルジョアと	フツウ	普通 納税をするとき、その年齢に達した者は原則として誰にでも選挙権を與ふるといふ主義をいふ
ブチ	Petit-Doungois 小ブルジョアの意、ブルジョア階級の中間にあつて何れの大階級にも屬さない工業主、小商人、自作農等は一方自己の労働によつて生活するが、その生産品は自らの望みのまゝに処分することの出来るブルジョアと	フツウ	普通 納税をするとき、その年齢に達した者は原則として誰にでも選挙権を與ふるといふ主義をいふ
ブチ	Petit-Doungois 小ブルジョアの意、ブルジョア階級の中間にあつて何れの大階級にも屬さない工業主、小商人、自作農等は一方自己の労働によつて生活するが、その生産品は自らの望みのまゝに処分することの出来るブルジョアと	フツウ	普通 納税をするとき、その年齢に達した者は原則として誰にでも選挙権を與ふるといふ主義をいふ

フツシヨウ 佛性 佛の様な善い性質
 フツシヨウ 佛情 人々の心世間のやう
 フツシヨウエ 佛生會 佛の誕生日を祝する式
 フツジヨウ 佛生會 佛の誕生日を祝する式
 セイキユウ 佛生會 佛の誕生日を祝する式
 フツジヨウ 佛生會 佛の誕生日を祝する式
 フツジヨウ 佛生會 佛の誕生日を祝する式
 フツジヨウ 佛生會 佛の誕生日を祝する式

フツシヨク 物色 適当な人物を探ること
 フツセツ 佛説 佛のをしへ
 フツソ 弗素 原素の名
 フツソ 佛祖 釋迦牟尼
 フツソウ 佛像 ほとけのすがた
 フツソウ 佛騷 ものさわがしきこと
 フツソウ 佛葬 佛式のとむらひ
 フツダ 佛陀 ほとけ Buddha
 フツダオス 打倒 たふすと同じ
 フツダクル 打手繰 うばふと同じ
 フツダン 佛壇 佛像や位牌をおく壇
 フツダンホ 佛壇 佛像や位牌をおく壇
 フツチガイ 打違 交又、うちちがひ

フツチヨウ 佛頂面 ぶあいけうなかほ
 フツツカ 不束 才能のたらぬこと
 フツテイ 拂底 とぼしきこと
 フツテキセ 物的設備 物から出来上つた設備
 フツテン 佛展 フランス美術展覧會の略
 フツテン 沸點 沸騰點
 フツテン 佛典 佛の經典
 フツディング Pudding 肉や果物にパンの皮をかけて蒸した菓子、所謂プディング
 フツトウ 沸湯 にえゆ
 フツトウ 沸騰 わきあがること
 フツトウ 佛堂 お寺
 フツドゥ フットボール Foot-ball 蹴球、蹴球、これにはラグビーユニオン、フットボールユニオン、ラグビーユニオン、フットボールユニオン

フットライ Football 前脚、脚光、舞臺の前面下部から舞臺面を照らす光線
 フツバラウ 打拂 おひはらう
 フツベンシ 物品證券 證券以上の権利が給付を目的とする場合の物品証券を指す、例へば商法上送金とよぶ、例へば貨物引換証券、倉庫の發行する貨物引換証券等の如し

フツボウソウ 佛法僧 三寶、又鳥の名
 フツミヨウ 佛名 ほとけの名號
 フツモン 佛門 佛道
 フツリ 物理 ものの道理、一學
 フツリアイ 不釣合 つりあいのわるい
 フツロン 物論 フツギに同じ
 フテ 筆 文字を書く具
 フテイ 不貞 操正しからざること
 フテイ 不逞 命に従はぬ者を云ふ
 フテイサイ 不體裁 みにくし
 フテキ 不敵 ものにおそれぬこと
 フテキ 不出來 わるいでき
 フテキトウ 不適當 適當しないこと

フテキホウ 不適當法行爲 法律の規定行為をいふ、債務の不履行、不法行為の如し
 フテクサレ 不貞腐 自棄、やけをおこすこと
 フテサキ 筆端 ふでのさき、筆のはたらき
 フテネ 不貞衰 不平のためぬれてゐること
 フテル 腐敗 へん、怒つて命に従はぬ
 フテンノモ 普天下 あめがした
 フト 不圖 はからず
 フト 浮圖・浮屠 佛塔、一層又は二層の佛塔、僧侶又は佛敎の塔
 フトイ 太蘭 水草の名
 フトウ 不當 公益上適當でないこと、失當なること
 フトウ 仆倒 たふれること

フトウ 埠頭 船舶のとまる所、はとば

フトウ 不撓 たゆまざること

フトウ 浮動 ふわ／＼動くこと

フトウ 不同 同じからぬこと

フトウ 不動 うごかぬこと

フトウ 舞踏 をどり

フトウ 葡萄 果物の名

フトウ 無道 道なきこと

フトウ 不凍港 冬にこほらぬ港

フトウ 不動産 土地及其定著物(建物)の如しをいふ

フトウ 不動産工事ノ先取特權 債務者の不動産に關して爲したる工事の費用に付其工事を実施したる不動産上に所有する特別の先取特權なり但しこの特權は其工事に因り

フトウ 不動産質權 不動産を目的として受取りたる不動産を占有し、且つ其不動産につき他の債權者に先ちて質權を有する者は之を併用し及収益するの權利を併有す

フトウ 不動産ノ先取特權 債務者の特定の不動産に對する先の特權なり、此先取特權は不動産の保存、工事、賣買の原因より生ずる債權を有する者の先取特權なり

フトウ 不動産賣買ノ先取特權 不動産を賣渡したるも買受人がその代價又は利息を支拂はざる場合に賣渡したる不動産の上に所有する特別の先取特權なり

フトウ 不動産物權 不動産者の物權なり、例へば所有權、不動産質權の如し

フトウ 不動産保存ノ先取特權 或人の不動産を保存したる者が其保存の費用に付其の不動産の上に所有する特別の先取特權なり

フトウ 舞踏病 Chorea 一種の病的にちやうどダンスをするやうに顔面又は四肢を動かす病

フトウ 不當辨濟 法律上債務の存在をいふ、不當辨濟を受けたる者は不當利得の原則に従ひ返還せざるべからず例へば全く債務の存在を認めし時債務ありと信じて給付を爲したるが如きは之れである

フトウ 不透明 と すきとほらないこと

フトウ 不當利得 法律上利益を得べき正當の事由

フトオリ 太織 織物の名

フトク 不徳 徳なきこと

フトク 婦徳 女の徳

フトクハイ 不徳背倫 道徳に背き倫理を紊ること

フトクテイ 不特定物 指定せられずして數量或種類等を以つて提示せられたるものをいふ

フトクテン 武徳殿 内裏の御殿の一

フトクサク 不得策 不利益な方法

フトクヨウ 不得要領 わけのわからぬこと

フトコロ 懷 衣と胸との間

フトツバラ 太腹 こゝろのふといこと

フトモモ 太股 股の内部のふくれた部

フトモノ 太物 衣類にする布帛の總稱

フトン 布団 坐下にしくもの

フナ 鮎 魚の名

フナ 樵 木の名、山毛樺

フナアシ 船脚 船の早き

フナウタ 船歌 歌乃、船のうた

フナオロシ 船卸 舟を始めて水に浮すこと

フナガカリ 船繋 碇泊

フナジ 船路 船の航路

フナニ 船荷 船に積む荷

フナニシヨウ 船荷證券 船長の發行して運送品の運送品を代表し運送品の處分買入等は此證券を以てするものである

フナノリ 船乗 船員、流員

フナバタ 舷 舟の横ばら

フナヒン 船便 船のたより

フナヨイ 船暈 船につて起る一種の疴氣

フナン 無難 さはりなきこと

フナイ 不似合 にあはれないこと

フニョイ 不如意 心のまゝならぬこと

フニン 赴任 つとめにおもむること

フニン 不妊 兒のできぬこと

フニンジョウ 不人情 なまけのないこと

フヌケ 腑脱 ばかもの

フネン 無念 口惜しきこと、ムネ

フノウハン 不能犯 初めから犯罪の結果を生じないことをやるをいふ例へば既に死

フヤシヨウ 不夜城 修夜盛に燈の輝く所
 ファス 殖 ふえさせる
 ブユ 蝸 蝸の名
 フユウ 浮遊 うかれあそぶ
 フユウ 富有 かねもち、富裕
 フユウ 蜉蝣 蝨の名
 ブユウ 武勇 たけくいさましいこと
 フユーズ 電氣の安全器の所につける熔融し安き合金、ヒューズ
 フユウツウ 不融通物 取引をしない物例へば春畫阿片の如し
 フユキトド 不行届 ゆきとどかぬこと
 フユゴモリ 冬籠 冬の間ひきこもること
 フユムキ 冬向 冬の意、冬に用ふる

ブヨ 賦與 與へること、附與といふに同じ
 フヨ 附與 與へること
 ブヨ 蝨子 ブトに同じ
 フヨウ 芙蓉 蓮、木の名
 フヨウ 浮揚 ふきあがる
 フヨウ 扶養 たすけやしなふこと、自分の資産又は勞務によつて生活することの出来ない者を近親が養ふをいふ
 ブヨウ 撫養 いつくしみやしなふ
 ブヨウ 舞踊 まひをどり
 ショウケン 不要因證券 證券の成立因をも要せざるものをいふ、手形の如きはこれなり
 フヨウギム 扶養義務 自分の方で生活を営むことの出ない場合合に近親の者等が物質上こ

フヨウギム 扶養義務者 民法第九百五十四條以下の規定に依り近親の生活を助けてやらなければならぬ義務を負ふ者
 フヨウコク 附庸國 他國の統治權に服する國の如きこれなり、而して附庸國は宗主國の許可なしに自ら主權的行動を爲すことを得ず
 フヨク 扶翼 たすけること
 フラート 浮氣 ぶざける、いちやつくこと、あつた女は、ひどいフラートだ、云へば、浮氣っぽい女だと云ふこと
 フライ・オ Bravo 出来した、うまいぞ、快哉！
 フライ 無頼 あぶれもの
 フライ F.V. 油であげたもの
 フライカン 無頼漢 ならず者

フライス Price 價格、代價、報酬
 プライド Pride 誇り、自尊心、自慢、高慢、自負
 プライベ— Private 一個人の、秘密の、非公式の、「これはプライベートの問題だ」と云ふと、「一私人の問題で公の問題ではない」とのこと
 フライヤー Flyer 「飛ぶもの」の意から急行列車、飛行機、飛行家
 フライイング Flying corps 飛行隊
 フライイング Flying stand 飛行機(特に軍艦の甲板上に設けられた滑走臺)
 フライボート Flying boat 水上飛行機
 フライレター Blind reader 宛名不明信書係、(英米の郵便問下は)誤達筆に書かれて然るが手紙の宛名を判読する係がある、それをいふ
 フライレター Blind letter 盲目の手紙の意、先達不明の手紙
 フラウ Frau 婦人、人妻
 プラウド Proud 高慢な、誇るに足る

ブラックチカ Practical 實地の、實用的、實驗的、應用的
 プラグマテ Pragmatism 實地主義、實用主義、眞理とは實地的効用を有するもの、實地に適用せらるるものは眞理、然らざるものは偽であるとの説
 ブラシ Brush 刷子
 プラス Plus マイナスの對、「加へる」意、また收入、財産の意に轉用する
 フラスコ Frasco 硝子びん、水筒
 フラセル 令降 降るやうにする
 プラタナス Platanus さすかけの木、大都市の街路樹として多く用ひられてゐる
 フラチ 不埒 ふとまき
 プラチナ Platinum 白金(灰白色の貴金屬)
 プラチノイ Platinoid ニッケル、亜鉛、銅の合金、白金に類似してゐる、近來この外種々な合金によつて、白金に似たものをつくつてゐる、プラチノン

ブラックケット Blacket boat 毛布製ボート(軽い木片の上兵士の防水ゴムを張つて作つたもの、陸軍などで用ふ)
 ブラック・バンド Black hand 黒手と譯す、イタリーの不正黨は秘密結社を作つて復讐をこゝろとしたが、その仲間の表徴として黒手マークを用ひた、それ以來悪黨謀議の意味となつた
 ブラック・リスト Black list 黒表、注意を要する人間の一覧表
 ブラック・レッグ Black-leg 同盟罷業中の工場に雇はれる臨時職工、罷業破り
 ブラック・プラットフォーム Platform 停車場などの昇降場、歩廊又教壇、演壇
 ブラック・ラブ Platonic love 肉慾を離れての愛(男女間の)。清淨な愛
 ブラボー Bravo 素敵、萬歳の意
 フラワー・ランゲージ Flower language 花言葉

フラン	腐爛	くさりたゞれる	フリー	Free	自由の、我儘の、無料	ブリヤク	武略	いくきはかりごと
フラン	法	佛國の貨幣の單位	フリーカ	Free conversation	別に題目を定めないので、その時の話題について會話すること、學校などに於ける會話練習法	フリユウ	浮流	うかびながれる
フラン	腐亂	くさりみだれる	フリーパス	Free pass	無賃乗車券	ブルキユース	Blue Stocking	青結派
フラン	Plan	針畫、設計、圖面	フリカケル	振懸	水なぞをふつて注ぎかける	ブルーバード	Blue-bird	青S鳥
フランキ	孵卵器	卵をかへす器械	ブリキ	弐力	薄い鐵板に錫をぬつた物	ブラック	Blue-black	濃藍色
フランケッ	Blanket	毛布、ケット	ブリズム	Prism	光學用硝子稜柱	ブルイント	Blue-print	青寫眞
フランコ	鞞	しうせん、運動機械	フリソデ	振袖	ながいそで	ブルジュウモ	不立文字	禪宗の語、眞意からぬといふこと
フランセッ	Planshet	二木の小脚輪と鉛筆とをそなへたハート形の板、心理作用によつて自動的に文字を書く、紙占ひ又心理實驗に用ふ	フリダシ	振出	振つて出す、爲替をだす	フリヨ	俘虜	とりこ、敵國の戰國員又は敵軍に盡力する個人であつて降服若は捕獲により我軍隊の權力の下に立ちて保護を受くる者をいふ
フランタン	Plamntante	春の意	フリダス	降出	雨がふりはじめる	フリヨ	不慮	無慮、思ひかけぬ
フランデー	Brandy	葡萄酒を蒸溜してつくつた強烈な酒	ブリッチ	Bridge	橋、橋梁	フリヨウ	無聊	つれづれ
フランネル	Flannel	細絨、舶來の毛織物の名	ブリムク	振向	かへりみる、ふりかへる	フリヨウシ	不良少女	不良少年と腹合せ、又は單獨
フリ	鱒	(魚の名)	フリヤイ	振合	他のやらすあひ、フリアイ			

フリヨウシ	不長少年	攝ッばらひ、こ又婦女誘惑等をする少年、相當年輩の青年等もあつて、多く團體を組み、不良少女と共同して悪事を働く	フリワケカ	振分髪	子供の髪	フルウ	震	雷にて震動する也、轉じて威光に畏る、にも用ふ
フリヨウセ	不長井水	飲料とするときは衛生に害ある	フリリン	不倫	みちでないこと	フルウ	振	ふる／＼とふり動かす也、震と音義通ず
フリヨウト	武陵桃源	理想境	プリンシブ	Principle	原理、原論、原則、主義	フルウ	揮	手にて物をふる也、揮毫、揮才
フリヨウヒ	不長ビス	不良少女のタイ	プリンス	Prince	君主、皇子、公爵	フルウ	戦	がた／＼とや手のふるふ義、戰々
フリヨウロ	不長老年	相當年輩に達し	プリント	Print	印刷、印刷物、版畫	フルウ	顛	身のふる／＼とふるふ也
フリヨウ	不長老	相當年輩に達し	フル	振	ふりまはす、又きらふ	フルウ	飾	ふるひにて通す義
フリヨウ	不長老	相當年輩に達し	フル	降	そらより落ち下る	ブルース	Blouse	粗布の上被ル(藍家彫刻家などが仕事をするときに着る)
フリヨウ	不長老	相當年輩に達し	ブル	觸	あたる、さける	ブルーフ	Proof	證明、校正刷、防水布
フリヨウ	不長老	相當年輩に達し	ブル	いかに取りすまふこと、勿體ぶること、自慢すること	ブル	ブルカブ	古株	古がほ
フリヨウ	不長老	相當年輩に達し	ブル	ブル	ブルジョアの略	ブルキズ	古削	昔うけたきず、又舊悪
フリヨウ	不長老	相當年輩に達し	ブル	羅斗	闘	フルクサシ	古臭	ふるい、陳腐
フリヨウ	不長老	相當年輩に達し	ブル	部類	類により別を立てる	ブルケイ	ブルケイ	〔印刷〕波形線のこと
フリヨウ	不長老	相當年輩に達し	ブル	奮	勢ひよく勇み進む也、奮發、奮戰			

フルサト 故里 故郷、こきやう
 フルシ 古 今に對す、古人、古聖、古賢、皆今人にあらず
 フルシ 故 新に對す、舊字に近し、故人はふるなじみの人も
 フルシ 舊 新に對す、故舊と連用、事のふるくなりたる也
 フルシ 陳 久也、物のふるびてひねになる也
 フルシ 陳 ブル臭味 ブルジョア
 フルシ ブルジョア Bourgeois ブルジョアーズの項参照
 フルシ ブルジョア Bourgeois 生産機關の所有者で、賃労働者の階級ブルジョアとは佛語の都市市民階級をいふのであつて、それ貴族でもないのでない、農者、小商人の中にもブルジョアを認めたが、このブルジョアの歴史的發達によつて、生産

フルス 機關の機械化によつて、全社會がブルジョアとプロレタリアの二大階級に分れた。このブルジョアが、一階級として結合されたのがブルジョア階級である。ふるくする、つかへい
 フルス 古巢 もとのす
 フルス ビ Full-speed 全速力
 フルチ 瘀血 あくち
 フルマイン Bulldog 闘犬、喧嘩犬
 フルマイ 振舞 おこなひ
 フレキ Play 遊戯、競技、演劇、奏樂
 フレイ Bake 制動機、動いてゐるのを止める機械
 フレイ 布令 おふれ
 フレイ 不例 びやうき
 フレイ 無禮 禮なきこと

ブレイガ Play guide 芝居、音樂會、舞臺會等の前賣り切符屋
 プレート Plate 板 延金、(野球)投手板
 フレーズ Phrase 語句、字句、成語
 プレーヤ Player プレーをする人
 フレガキ 觸書 政府の法令規則をかいたもの
 プレジデント President 大統領、總裁
 プレセント Present 現在、出席、贈物
 プレチュリ Pretulism 減食主義、小食主義(よく咀嚼すれば、從來用ひつゝある食事の三分の一にて十分なりとする説)
 フレッシュ Fresh 新鮮な、清新的
 プレッシェ Press 雑沓、壓迫、印刷、出版、新聞
 フレナガス 觸流 ふれをつたへること

フレノーロジ Phrenology 骨相學、頭蓋の性質能力運命等を判斷するもの
 プレミアム Premium 色々の意味に用ひられる、政府や個人が発見の發明を獎勵し、金、株券の相場が市價より高い時、この株券はプレミアムの附と云ふ。規定保額金に規定の災厄のため、被保險者がとる保費の労働者が規定賃銀外にその出来工賃の賞銀値が、之に相當する紙幣より大なる時
 フレームン Framing up 事件捏造又は犯人製造の意、何人かを無罪の罪に陥せんとする時、最初から計画的に凡ゆる時、罪を設けて、その人間に罪を犯さしめて、刑法に觸れさせることである
 フレル 觸 さはる
 フレンチ French 佛蘭西語、佛蘭西の
 フレンド Friend 友、贊助者
 フレノー—フロツ

フレンドシ Friendship 友誼、親交
 フロ 風呂 茶の湯の具、ゆあみ
 フロ プログラム、プロステテユー
 フロ アート等の略
 フロカー Broker 仲買人、才取
 フローク Prologue 序詞、前口上、芝居の最初に演説者や道化師などが飛び出して、芝居の内容を説明する口上を云ふ。それから、文章の初めなどに一寸する前書の意に用ひたりする、これに對する終詞をエピローグと云ふ
 フロークン Broken 破れた、滅茶々々な、氣落せる、變則な等の意
 フロークン Broken-heart 破れた胸の意、失戀又は斷腸事
 ハート Prosit (乾盃して)御健康を祝す、御成功を祈るの意
 フロージッ Brooch 襟どめ、胸どめ針
 フローチ Broad Casting (無電放送)
 キヤスティ

フロウニン 浮浪人 一定の住居も生業もなからる所々をぶらぶらする付き廻る者をいふ
 フロウノ徒 一定の住居無く所々をうろつき廻る者
 フロキノ Pokino プロレタリア映電同盟の略、ナツプ(その項参照)の映電部であつて、小型映電によつて、製作運動に入り、着々その作品を發表してゐる
 フロク 附録 つけがき
 フログラム Program 番組、順序書
 フログレップ Progress 進歩、向上、進行
 フロシキ 風呂敷 物をつゝむ布帛
 フロセス Process 進行、過程、徑路、手續、仕方
 フロダクト Product 産物、生産物
 フロツク Frockcoat 男子用の通常禮服の代用服
 フロツクコ

プロッティ Blotting-paper 吸取紙
 バグ・ペー Plot (小説・脚本などの)筋、仕組、脚色
 フロバ 風呂場 風呂に同じ
 プロパーテ Property 特性、財産
 プロバガン Propaganda 宣傳、一つの問題に關する全體的な系統立つた理論を廣く傳へることに、宣傳は煽動と異つて一つの問題の性質を詳細に「説明する」のである、宣傳は言語或は文書で行はれる、アジテーション(煽動)のアジと共に、よくアジ・プロと速稱する、アジ・プロとは煽動宣傳の意
 プロバビリ Probability 見込、可能性
 プロフィール Profile 横顔のこと、彫刻に重くに用ひられる、これが一般的に用ひられる場合には断片的印象といふ様な意味となる、例へば「世界人のプロファイル」といへば世界人の側面観といふ様な意味である
 プロフェッサー Professor (大學・專門學校の)教授、専門家、玄人、賣人
 プロブレム Problem 問題
 プロペラ Propeller 推進機、飛行船飛行機等を前進せしむるもの
 プロマイド Promide 不變色寫眞
 プロモーター Promoter (會社設立の)發起人、運動屋
 プロレタリ Proletariat 無産階級、語源はラテン語「プロレタリウス」この言葉は古代ローマの最低階級、近代的意味では土地、道具、原料の一切をもち合せず、自己の労働力を資本家に賣り渡すことによつて、尙一般にプロレタリヤといふ無産者を指し、アジテーション(煽動)の無産階級を指してあるが、正しくプロレタリヤ(佛)、プロレタリヤ(英)といふべきである
 プロレタリ アート
 プロレタリヤ 藝術
 プロレタリヤ 藝術 無産階級の藝術、社會が有産階級と無産階級の二つに分裂して、その對立が尖鋭化する、藝術も對立に立つた、そのイデオロギイに立つた、有産階級の藝術は有産階級の藝術と異つて、その表現に追いつき、無産階級の藝術は有産階級の藝術と異つて、人心をあげる力をもつてゐるので、一部人士から宣傳藝術、煽動藝術との非難をうけることもある
 プロレタリヤブルジョアの對、職工、労働者、下流民、無産者
 プロローグ Prologue 序言、戯曲なるの序曲、序詞、前口上、開會の辭
 ブロンズ Bronze 青銅、唐金
 ブロンド Blond 金色の(髪)、金髪白面級眼の部分 ぶるあわけ

フワズイコ 附和隨行 兵卒軍夫の如き仕事を爲したる
 フワライド 附和雷同 他人の言ふことと同じことを言ふこと又すること
 フワリ 歩割 歩合
 フンイ 忿志 いかり
 フンイキ 雰圍氣 大氣、くろき
 フンウン 文運 世の盛衰のありさま
 フンカ 噴火 火を吹き出すこと
 フンカ 文華 文學のこと
 フンガ 文雅 みやびやかなること
 フンカ 文化 最も進歩した精神的要素をも十分に加へて、築きあげた文明開化の總べてをいふ
 フンガイ 憤慨 いきどほりなげく
 ブンカセイ カツ 文化生活 建築家具その他應用して、最も便利に衛生的に且つ趣味のある生活を営むること、轉じて、西洋かぶれの新しいかぶりの贅澤な生活を嘲つていふ
 ブンカツ 分割 わけること
 ブンカツジ 分割讓與 わけたりゆづり渡ししたりすること
 ブンカムラ 文化村 文化的設備を備へた住宅地をいふ、ここに集り、多く新奇を設け、さまざまの洋館がずらりと並んでゐる
 ブンカン 分監 分けられた監獄
 ブンカンチ 文官懲戒令 一般の文官を定めた勅令である
 ブンカインレ イ 文官奉職請願 陸軍の下官となり度い故採用して貰ひ度いといふ願
 ブンカンホ イガン 奮起 氣をふるひて立つこと
 フンギ 紛議 ゴタ／＼の争ひ
 フンギ 分岐 わかれまた
 フンキユウ 紛糾 もつれみだれる
 フンギョウ 分業 しわざを分けて行ふこと
 フンギリ 踏切 おもいきること
 フンケ 分家 家に屬する者がその創立することといふ、一家を爲すには、戸主未成年者なるときは、戸主及親権者の同意を得ることを要し、市町村長に届出あることによりて成立す
 フンケイ 刎頸 友情の親密
 フンゲイ 文藝 文學、美術の總稱、或は文學の意、學術より意味が狭いが、場合によつて藝術全體をいふこともある
 フンゲイヒ 文藝批評 文藝上の作品や作家に對する批評をいふ
 フラス—フツケ

フンケイフ	文藝復興	間全歐洲に起つた藝術革命の運動、基督教の活動に依つて開かれた藝術的運動の復興である、この運動は単なる古代文藝の復興ではなく、即ち人間自覚の運動である、即ち人が宗教に囚はれていない古代文藝に接して一個の人間として自覚を得たのである
フンゲキ	奮激	ふるひげむ
フンケン	文檢	文部省検定試験の略
フンケン	文獻	参考書
フンケン	分遣	一部をさいてつかはすこと
フンコ	文庫	書籍庫、圖書館
フンゴツ	文豪	大文章家
フンコツ	粉骨	力をつくすこと
フンサイ	粉碎	こなみじんにくたくこと
ブンサイ	文彩	いろどり
ブンザイ	分際	みのほど
ブンサン	分散	ちり／＼になること
ブンシ	憤死	いかり死する
ブンシツ	紛失	まぎれて見えないこと
ブンジバル	踏縛	しばる
ブンシムラ	文士村	文筆を以て立つ人、人が多く住居する地域をいふ
ブンジャク	文弱	文にふけてよわきこと
ブンシユウ	文集	文をあつめた本
ブンシユツ	噴出	ふきだす
ブンシヨ	文書	文字や符號を以て人の思想を表はした物件をいふ
ブンジョウ	粉狀	粉の形ち
ブンジョウ	紛擾	もつれみだれること
ブンショウ	文章	言語を文字でかきあらはしたもの
ブンショウ	分掌	分け司るをいふ
ブンシヨキ	文書毀棄罪	官公署の文書等を擅に破つたり塗りつぶしたり其他の方法を以て其效用を失はしむる罪をいふ
ハツバノ	文書ノ發賣	文書を發行し賣捌くこと
ブンシヨヘ	文書變造	真正に成立してを不法に變更するをいふ
ブンシヨク	扮飾	みづくろひ
ブンシン	奮進	いきほひよく進むこと
ブンシン	文身	いれづみ
フンスイ	噴水	ふき出す水
フンスイ	文粹	選んだ散文の文集

フンスマリ	糞滯	便通のないこと
ブンセイ	文星	文豪に同じ
ブンセイ	文勢	文章の勢
ブンセキ	分析	分けることをいふ、つゞの事項を分けて説明することである
ブンセキ	分析證明	薬品の組成分は何かと何々であるといふことを説明するをいふ
ブンセン	奮戦	ふるひたゝかふこと
ブンセン	文選	活字ひろひの職工
ブンゼン	憤然	いきどほるかたち
フンスウ	扮装	役者が或物の身成をする
フンスウ	紛争	あらそひ
フンスウ	文藻	詩文
フンゾリカ	踏反返	ふんぞるに同じ
フンタイ	粉黛	女のけしやう
ブンダイ	文臺	短冊をのせる臺
ブンタツ	聞達	出世
ブンタン	分擔	手わけしてつかさどる
ブンダン	文壇	文士や文學者の關係する活動範圍の全體
ブンチ	分地	土地をわけること
ブンチヨウ	文鳥	鳥の名
ブンチン	文鎮	書物かみなどのおさへ
ブンテン	文典	文章の法則を説ける書
フンド	忿怒	いかること
フンド	糞土	黒いやはらかい土
フントウ	奮闘	ふるひ戦ふこと
フンドウ	分銅	はかりのおもり
フンドシ	憤鼻揮	したおび
フンドリ	分捕	わけどり
フンヌン	紛耘	ごた／＼
フンバツ	奮發	ふるひたつ、きばる
フンバル	蹈張	ふみはる
フンバン	噴飯	笑ひにたへぬこと
ブンビ	分泌	液汁のじみ出ること
ブンビツロ	文筆労働者	作家とか文士とか、筆を以ての労働者である、労働者がシヤベルを持ちハの意、殊に生活のために文を書き心に染まね著作をする場合、特にこの語が適切である
フンビョウ	分秒	僅の時間

補遺

ブンブ	分賦	わりあて
ブンブカン	文武官	ケ官と武官を併せていつたもので軍人は武官其他の官吏は皆文官である
ブンブン	芬芬	香の高い形容
ブンベイ	分袂	たもとをわかつ、わかれ
ブンベン	糞便	大小便
ブンベン	分娩	子供を生み落すこと
ブンボ	墳墓	死體遺骨等死人の遺物を埋めて記念する場所の設備一切をいふ
ブンボツ	文房	文よむへや
ブンボク	文墨	詩文書畫の總稱
ブンボノハ	墳墓の發掘	墓を掘り返すこと
ブンボン	粉本	畫のしたがり
ブンマツ	粉末	こな
ブンマワシ	筆規	圓をかく道具の名
ブンマン	忿懣	いかること
ブンミヤク	文脈	文章のつゞき工合
ブンヤ	分野	ぶんげん、天の廿八宿に當る所
ブンユウ	責勇	つよいいきほひ
ブンラン	紛亂	まぎれ亂るゝこと
ブンラン	紊亂	みだすこと
ブンリ	分離	わかればなれる
ブンリ	文理	文章のすぢ
ブンリカイ	文理解釋	法文の字句を研詰して其規定の趣旨を明にするをいふ
ブンリユウ	分流	わかれのながれ
ブンリン	文林	文學者の仲間
ブンレイ	奮勵	ふるいはげむこと
ブンレツ	分裂	さけわかれること

七四四

補遺

Phylocracy 重農學派と邦譯せられたるものにして、農業は商工業に優り、土地以外に純生産物を産するものはない、その源泉は土地即ち自然である、従って社會に於ける階級の内で農業階級以外のものは皆不生産的である、と主張せるもの、派にして佛人ケネーの主唱せるもの

補遺

フイリツポ	Philpovich	オーストリアの經濟學者、所謂地租學派の泰斗
フール	Pool	トラストと等しく、占的企業聯合の手段にして各競争者間に營業又は其の營業よりする收益を分配し以て價格引下の競争を避けんとする組織を云ふ
フールス	Bourse	取引所
フカゼイ	附加税	或る租税に附加し、本税に對する租税なり、地租は本税にして其の附加税は地租附加税の如し
フカホケン	附加保險料	補保險料以外に保險料に必要なりとして純保險料に附加する金額
フキダシ	吹出	相場が固定したる場合、急に上騰すること(取引所用語)
フキネ	吹値	値段の意外に吹き出たること(同上)
フクホニイ	複本位	二種の金貨を以て本位貨幣とする貨幣制度、唯だ一種の金貨を以て本位貨幣とする制度は之を單本位と云ふ
フケンサイ	府縣債	府縣が自治團體たる法として起す負債
フケンノウ	府縣農會	農會を見よ
フコロン	富國論	Adam・スミスのthe Nature and Cause of Wealth of Nationsと云ふ長い名前の名著の略稱で、或は富國論と稱せられ、自由主義經濟學の基礎となりたるもの
フジハゲ	不時禿げ	天災地變の爲め其の事情の去りし相場が動的相場を現出すること(取引所用語)
フセイ	不勢	相場下落の情況(同上)
フセイサン	不生産的労働	労働の結果、生産したる物が其の生産に要する費用に足らざるを云ふ
フセイノキ	不正の競争	其の手段方法當なる競争なり、商法上商號又は營業の露渡の場合之を禁止す
フツクテキ	附屬的商行為	其の行為は、本來的性質は商行為にはあらず、商人が其の營業の爲めと見做さるる行為なり、對的商行為に對する語なり
フツクテキ	物的信用	一定の財産を有して生ずる信用なり、人的信用に對する語なり
フツピンキ	物品切手	物品の給付を目的とする證券なり、吳服切手、贈答切手、如し
フトコロア	懐合	仲買人が客の注文を見せかけ實際は自分が其の相手となること(取引所用語)

七四一

フム 踏む 安値の賣玉を損勘定で買戻すこと(同上)

フミアゲ 踏ん 踏んで相場の高くなること(同上)

フリダシ 振出 手形又は小切手等を發行し之れに依つて手形法上の債權債務を發生せしむる行為

ブル 株式の買方のこと、「ペヤ」(賣方の對照語(取引所用語))

フワタリ 不渡 小切手又は手形等が資金の不足の爲め支拂を受けざること

ブンバイゼイ 分配税法 國家の歳出額を豫定し之を府縣に分配して納税せしむるに當り、市町村に更に再分配し、納税せしむるを各個人に納税せしむるを納税例と稱す、納税例に分配せしむるが如し

ヘー アガル 經上 下から順をへてのぼ

ヘー 堀 土

ヘー 唯 呼ばれたときのこた

ヘー ア Hair 毛、頭髮

ヘー ア・ピン Hair-pin 東髪の留針

ヘー イ 平易 たやすいこと

ヘー イ 弊衣 やぶれたきもの

ヘー イ 平夷 たひらか

ヘー イ 兵營 陸海軍の營舎をいふ、例へば、陸軍の建物の如し

ヘー イ 兵役 軍隊内に入つて軍事的業務に從事すべき義務をいふ、男子十七歳より四十歳迄の義務は、兵役に在るに在らず、又此の限に在らずに兵役に關係する者

ヘー イ 兵役ノ關係 現役兵である兵後備兵であるとか海軍兵に備を置いてあるとか國民兵に備を置いてあるとかを指す

ヘー イ キノ 兵後ノ義務 軍隊に入つて働かざらなければならない義務をいふ

ヘー イ エン 米鹽 こめとしほ

ヘー イ オク 弊屋 やぶれたいへ

ヘー イ オンセ 平穩占有 暴力を用ひないで平和に其物を所持してゐるをいふ

ヘー イ ンター Painter 畫工

ペー イント Paint 顏料、塗料、ペンキ

ペー イカ 兵科 歩、騎、砲、工、輜、軍、航空、憲兵等の別

ペー イカ 弊家 やぶれた家、我家の稱

ペー イカ 平價 外國爲替相場上の言で、その各々國金本位金價に含まれ、米圓に含まれて、日本金と、米圓に含まれて、純金と、米圓に含まれて、六に含まれ、日米の爲替平價は四十九弗八四六

ペー イカ 併科 併せて科する

ペー イカ 平隊 ねること

ペー イカ Baker パン商人、パン製造人

ペー イカ 閉會 一般に用ゐらるる閉會を閉會と稱す、閉會の期を終了し、よつて天皇の御命令である

ヘイガイ	弊害	あしきならはし
ヘイカク	兵革	いくさのこと
ヘイカシユ	併科主義	各罪に付別々に刑を科するをいふ
ペイカチヨ	米價調節令	米の價格の高低を避ける爲め政府が米の買上げ賣出し等をすることに關する規則を定めた命令
ウセツレイ	平價ノ偽替	外國爲替手合に額面金額に等しき買値なるときはその爲替手合を平價の爲替手合と云ふ
ワセカノカ	平價ノ偽替	外國爲替手合に額面金額に等しき買値なるときはその爲替手合を平價の爲替手合と云ふ
ペーカリー	Bakery	パン屋、パン製造人
ヘイカン	平杆	體操機械の一
ヘイキ	兵器	武器
ヘイキキン	兵器金穀	暴動の用に供する銃劍、鎗藥、金銀、兵器、車、馬等の如きをいふ
ヘイキヨ	屏居	退きて家に居ること
ヘイキヨ	屏去	とり去る、はがしてしまふこと
ヘイゲイ	睥睨	にらむこと
ヘイケン	兵權	軍事上の權力
ヘイコ	閉戸	戸をとざすこと
ヘイコウ	平衡	つりあひ
ヘイコウ	閉口	屈服、こまる
ヘイゴウカ	併合管轄	管轄を異にする數人の被告人に對して二つ以上の裁判所に對ありたる場合に其裁判所を併せて管轄するをいふ
ヘイゴウカ	併合管轄	數人の被告人に對して二つ以上の裁判所に對ありたる場合に其裁判所を併せて管轄するをいふ
ヘイゴウサ	併合罪	二つ以上の罪を犯すを受けてみない場合に其二つ以上の罪を併合罪といふ
ヘイコク	弊國	自國の謙稱
ペーコン	Bacon	燻肉、豚の脊と横腹の(鹽)脂肉、ハム
ヘイサ	閉鎖	とぢること、營業所をとざして仕舞ふこと
ヘイサン	平産	やすらかな州産
ヘイシ	瓶子	酒をるる器
ヘイシ	斃死	たふれじに
ページ	Page	頁
ページエン	Pageant	野外劇、公共劇、本來は山車などの上で行はれる芝居風の觀物であつたのが、野外に移されて大仕掛な劇の實態となつた
ヘイジカイ	平時戒嚴	戰爭以外の事變を戒嚴をいふ、明治三十八年の日比谷機打事件大正八年の關東大震災の時にかれたものはこれである
ヘイジコフ	平時國際公法	平時に適用せらるる國際公法をいふ、即ち戰時國際公法を適用し得ざる事項以外の國際事項に關して適用せらるる國際公法なり
サイコウホフ	平時國際公法	平時に適用せらるる國際公法をいふ、即ち戰時國際公法を適用し得ざる事項以外の國際事項に關して適用せらるる國際公法なり

ウハイジチヨ	平時徵發	平時にあらざる徵發なり
ウハツ	演習	又は行軍等の場合に進行演習なり
ヘイジフウ	平時封鎖	或る二週間に對し、海軍の艦隊を封鎖し、その相手國の海岸に封鎖船を押しつけるのみに止まらず、その相手國に對する第三國の船舶の通過も押さへることをいふ。是は十九世紀に始まり、國際法の強行手段によるもの。是は十九世紀に始まり、國際法の強行手段によるもの。是は十九世紀に始まり、國際法の強行手段によるもの。
ヘイシヤ	弊社	會社、新聞社などの諷刺
ヘイシユ	兵種	徵兵の種類
ペイジユ	米壽	八十八のお祝ひ
ヘイシユウ	弊習	わるいならはし
ヘイシヨウ	併稱	ならびとなへる
ヘイシヨウ	聘招	まねきよぶ
ヘイシヨウ	兵仗	いくさ道具
ペイシヨク	米食	米を常食とすること
ヘイシン	嬖臣	きに入りのけらい
ヘイジン	兵刃	きれもの、はもの
ヘイジン	嬖人	氣に入つたもの
ヘイス	聘	まねく
ベース	Base	基礎、根據、出發點、(野球)塁、(音楽)低音、低音部、低音奏唱者
ベース・ア	Baseumpire	(野球)塁審、ランナー(走者)のベースに於ける生死を審判する者
ベース・ボ	Baseball	戶外競技の一種、野球、野球戲
ベース・ボ	Base-patter	野球をする人
ヘイセイ	弊政	悪い政治
ヘイセイ	兵制	徵兵制度、壯兵制度、備に關する制度を云ふ
ヘイセイ	兵勢	兵士のいきほひ
ヘイセイコ	兵政合一ノ制	陸海軍の事務の一般政治を掌る制度
ヘイセイノセ	兵籍	現役兵、豫備兵、後備兵の補給兵、兵の如き種類のもの云ふ
ヘイセキ	兵燹	いくさくわじ
ヘイセン	炳然	あきらか、はつきり
ヘイゼン	兵曹	武官の階級
ヘイソク	幣束	神を祈るに用ふるものとちふきぐこと
ヘイソク	閉塞	一隊
ヘイソク	屏息	おそれつゝしむさま
ヘイソク	弊俗	わるい風俗
ベータ	Veta	吠吠、印度の古典

ヘイタク 弊宅 自宅の謙稱
 ヘイタン 兵端 戦のいとぐち
 ヘイタンフ 兵站部 軍用品を貯へる處
 ヘイテイ 閉廷 法廷をとぢる
 ヘイテン 弊店 我店の謙稱
 ヘイドン 併呑 あはせのむ
 ペーパー Paper 紙、新聞紙、サンド
 ペーパー 紙、新聞紙、サンド
 ナイフ Paperknife 裁紙刀、書物の切つてなす小口を切るもの
 ヘイハク 幣帛 神へ供へる物
 ヘイバノタ 兵馬ノ大權 天皇が大元帥として陸海軍の統帥をなす大權をいふ、統帥權に同じ
 ヘイハン 平板 おもしろみなきこと、詩文等にいふ
 ヘイハン 復讐を再審理すること

ヘイフ 斃仆 たふれしぬること
 ヘイフク 弊風 わるい風習
 ヘイフツ 平伏 ひれふすこと
 ペーブメン Pavement 舗石道、舗道、歩道
 ヘイブン 平分 等しくわけける
 ヘイヘイボ 平々凡々 平凡でとるにた
 ヘイボ 弊舗 弊店
 ヘイボウ 平方 數學の語、同数の一乗
 ヘイボウ 兵法 戦、いくさのじゆつ、ひようほう
 ヘイボン 兵鋒 兵勢、軍隊のほこさき
 ヘイマツ 平凡 なみく
 米松 米國産の松、安風で體裁がよいので盛に輸入、多く安普請に用ふ

ヘイミヤク 平脈 普通のみやく
 ヘイミンサ 平民宰相 爵位なき平民で宰相になつた人
 ヘイミンシ ユギ 平民主義 位階勳等によつて皆一個の人間として、即ち一般平民を標準として、萬事を手軽に簡單に取扱ひ進行させようとする主義
 ヨクドク 平民食堂 一般下級の勤者のために當局者又は特志の人々によつて出來た、安風せむところ、公衆食堂ともいふ
 ヨウミンビ 平民病院 中流以下殊に勞院ために出來た貧賤診察の病
 ヨウミンビ 平面描寫 「文藝」主観的な部分のみを表面にあらはれたこと、その中に暗示するといふ行き方、人物を描いて、風采とか表情とか動作とかの外部にあらはれた

ヘイモツ 聘物 おくりもの、進物
 ヘイモン 聘問 みやげを持つての訪問
 ヘイモン 閉門 門をとぢる
 ヘイヤ・ネ Hairnet 毛髪を編んだ網、毛のはつれを防ぐため束髪その他洋風髪の上に被せるもの
 ヘイユ 平癒 全快、ぜんくわい
 ヘイユツ 弊邑 自村の謙稱
 ヘイヨウ 聘用 禮を盡し人を招き用ふ
 ヘイラン 兵亂 いくさのみだれ
 ヘイリン 米稟 こめぐら
 ベール Veil 面纱、女が顔にかけるうすぎぬ

ヘイレイ 聘禮 ゆひなふ、尊長を招く禮
 ヘイレツ 並列 駢列、ならぶ
 ヘイワウン 平和運動 「戦争は罪惡でに背くもの、人類はお互ひに人類や國境を境外にお互ひに相感じ相助くべきである」との見地から、平和の招致、戦争の絶滅を期するためのあらゆる運動
 ヘガス 剝 はがすの轉
 ヘキ 癖 くせ
 ベキ 羈 數學の語、三乗
 ヘギイタ 片木板 うすくはいだ板
 ヘキエキ 辟易 おそれたじろぐこと
 ヘキエン 僻遠 都に遠きこと
 ヘキガ 壁畫 かべにかいたえ
 ヘキキョウ 僻郷 かたみな

ヘキクウ 碧空 あたぞら
 ヘキグウ 僻隅 かたみな
 ヘキジ 僻事 ひがごと
 ヘキシユウ 癖習 くせ
 ヘキシヨ 壁書 公衆に示す張紙の類
 ヘキセツ 僻説 かたよつた説
 ヘキチ 僻地 かたみな
 ヘキトウ 劈頭 第一番
 ヘキユウ 僻邑 かたみなかのむら
 ヘキラク 碧落 あをぞら
 ヘキレキ 霹靂 かみなり、強大なるおと
 ヘキロウ 僻陋 いやしい、みなかじ
 ヘキロン 僻論 理にあはぬ論

ヘグ 剝 はぐの轉
 ヘクトグラ Hectogram 飽、百瓦
 トル Hectometre 稻、百米
 ベケ だめ、よからぬ物事
 ヘコオビ 兵兒帶 男のしごきおび
 ヘコム 陥 おちいす、ひけをとる
 ヘサキ 舳 船のかしら
 ペザント Peasant-art 農民が比較的
 アート 閑散な時に造る玩具彫刻の
 類、無技巧で原始的である
 のが多い、近年わが國にも
 一部の美術家によつて奨励
 されてゐる

ベシ 應 なるべし、であらうの
 意、まさに何かすべし
 となど調む
 ベシ 容 許容の義、可と略同じ
 須 すべからく何々すべし
 也、求也、かくせよと調む
 宜 よろしく何々すべしと
 がよき故さうせよとの意
 ベシ 壓合 おしあふこと
 ヘシアウ 拗折 おしひしいで折る
 ヘシオル 壓着 おしつけるに同じ
 ペシニズム Pessimism 厭世主義
 ヘス 減 へらす、少くする
 ベスト Best 最善、最上、至極、極力
 ベスト Pest 黒死病(猛烈な傳染病)
 その病原(ペスト菌)は多く
 鼠によつて傳播される

ヘソ 臍 ほぞ
 鳴咽 すゝりなき
 ヘソクリガ 臍線金 内しよら金
 ヘソス Pathos 哀感、人間の心の奥
 深くにある悲しみの情
 ヘソノオ 臍尾 胎兒の臍から胎盤に
 通じる細長い肉の管
 ヘソノシタ 臍下 おへそのした
 ヘタ 蒂 うてな、へそ
 ベター・ハ Better-half より良き半
 分、即ち愛妻、夫が妻に對
 してさよ
 ベタキン 總金 全體が金色のこと
 ヘダツ 隔 障也、壁也、中にしき
 りを入るゝ也
 ヘダツ 障 隔也、界也、さゝへ、
 へだつる義
 ヘダツ 阻 山川道路のへだたりに
 用ゐる、またへだて止
 むる義にも用ゐる

ヘタツ 閒 すきまをこしらへる義
 にも用ゐる、問蔵は一年間
 おくをいふ
 Pedantic 學者ぶる、知つた
 か振りの、字句に拘泥する、
 野暮な
 ヘチマ 絲瓜 草の名
 ベツエン 別宴 別れのさかもり
 ベツカ 別課 本課のほかの課目
 ベツキ 別記 別にしるす
 ベツギ 別儀 ほかのわけ
 ベツギョウ 別業 しもやしき、別荘
 ヘツケン 僻見 まちがつたかんがへ
 ヘケン ヘケン
 ベツケン 瞥見 ちらと見ること
 ベツコウ 別項 別のかでら
 ベツコウ 釐甲 たいまい

ベツコン 別懇 とりわけしたしいこ
 ベツサンセ 別産制 夫婦各自各々自己
 の財産を分有し、
 自ら之を使用し収益し管理
 し、處分することを得る制
 度をいふ
 ベツシ 蔑視 みさげる、さげしむ
 ベツジ 別辭 別れの言葉
 ベツシツ 別室 別のへや
 ベツジョ 蔑如 いやしみかろんず
 ベツジョウ 別條 かはつたこと
 ベツジョケ 別除權 例へば抵當權者が
 其擔保物の代價に
 付一般の債權者に關係なく
 自己債權を優先せしむること
 を得るが如く一般の内よ
 り別段の取扱を受けんこと
 を請求する權利なり
 ベツソウ 別莊 別業、別墅

ベツソウユ 別莊行 拘留又は監獄にゆ
 不良少年などがいふ
 ベツダン 別段 とりわけ
 ヘッチ・マリ Hedge marriage 出来合ひ
 結婚、野合
 ヘツツイ 竈 かまど
 ヘット Fat 西洋料理の脂肪
 ベット Pet 愛するもの、愛人、愛
 玩物
 ベッド Bed 寢床、寢處、苗床、花壇
 ベットウ 別當 官の名
 ベツドゥ 別働 別にはたらく
 ヘッド・ウ Head work 頭を使ふ仕事
 ヘッド・タ Head-tile 「映畫」冒頭の字
 幕
 ヘッド・ラ Head light 汽車、自動車
 などの前燈、(船の)橋燈

ベツバ 別派 別のえだわかれ
 ベツバ—ミ Peppermint 青い酒
 ベツバイ 別杯 わかれのさかづき
 ベツピン 別品 上等の品
 ベツピン 別嬪 みめのよい女、美人
 ベツブツ 別封 別に封じる
 ヘツラウ 詔 へつらひてとり入る
 義、詔、詔、詔、詔
 人の氣に入るやうにつ
 いしやうをいふ也
 ヘツラウ 阿 おもねるとも調む、先
 方の意に叶ふやうに媚
 び従ふ也、阿世、阿諛
 口才ありておもねりへ
 つらふ也、佞好、佞邪
 ヘツラウ 佞 口才ありておもねりへ
 つらふ也、佞好、佞邪
 ベツリ 別離 わかれはなれる
 折 へぎとる
 ヘツル Pedestrianism 徒歩主義、
 「使用せぬものは退化する、
 アニズム

ベテン 交通機關發達のため足、身
 體を動かすことが少なく、身
 體が弱くなる、この弱く
 なりつゝある自己の身體の
 ため大に歩くと主張する
 もの
 べてん 巧に欺すこと、一
 人を謀に陥れることを「ベ
 テンにかける」といふ
 「ベテン師」といふ
 ヘド 反吐 めづくこと
 ヘドオツク 嘔吐 食物を戻し吐く
 ヘドニズム Hedonism 快樂主義、快樂
 説
 ベニ 紅 色の名
 ベニア 脂肪 ロベニ
 Veneer 張り木、被せ木、
 薄木に桐、楠などの良材を
 張つたもの、普通ベニア板
 といつてゐるが、ヴィニール
 が正しい
 ベニガラ 紅殼 ベンガラと同じ

ペンニイ Penny 片、英國の錢の單位
 ベニサシ 片紅 一、無名指のこ
 と、薬指
 ベバ—ミン ベツバ—ミント、青い酒
 ヘバリツク 粘着 ねばりつく
 ヘビ 蛇 動物の名
 ヘビーオカ 運動語として、「全力をあげ
 る」、「全速力」の意、一般に
 もいふ、ヘビーは重い、強
 い、大きな、烈しいの意
 ベビー—オ Baby—organ 赤ん坊オルガ
 ン、小形オルガン
 ペプシン Pepsin 胃液、消化素
 ヘブ(ヴ)ン Heaven 天、天国、天の神
 ヘベレケ 泥酔 本心を失ふ程に酒に
 酔ふ
 ヘボ 下手 普通以下
 ヘモグロビ Hemoglobin 血液中の赤
 色素、血球素

ヘヤ 部屋 家内にしきりたる室
 ヘラ 篋 竹を細長く平くそいだ
 もの
 ヘラズグチ 不滅口 悪口
 ベラボウ 篋棒 人をのゝしる言葉
 ベラミー Belle—ami 美貌の友、佳人
 の友、情夫
 ベランダ Veranda
 ベランメイ 篋棒奴 べらぼう奴のなま
 り
 ヘリ 縁 ふち
 ヘリオスタ Heliosat 太陽の光線を通
 當のところに送る平面鏡
 ヲト
 ヘリクタル 謙 己を卑下すること
 ヘル 經 時をへる、又經由
 ヘル 減 加または増の反對、數
 の少くなる義
 ヘル 耗 虚也、息の反對、欠の
 生ずる義、衰耗、消耗

ヘル 綜 賤のたて糸を揃へ列ね
 ベル Bell 呼鈴、よびりん
 ベル Belle 美人、佳人、絶世の美人
 ベルト Belt 帯、調帯
 ヘルプ Help 助力、救治
 ヘルメット Helmet かぶと、夏かぶる
 笠、狭の帽子
 ベ(ヴェ)ル Venmouth 苦蕒で香味をつ
 けた白葡萄酒、リキユール
 モット
 ペン Pen 洋筆
 ヘン 邊 あたり
 ヘンアイ 偏愛 一方のみを愛すること
 ヘンアツ 變壓 壓力を變ずること
 ヘンイ 偏倚 かたよる
 ヘンイ 變異 かはること

ペンイタイ 便衣隊 支那國民の宣傳隊
 で、軍服を着ずに
 平民で敵地に乗り込み、民
 衆をアゲつて(その項参照)
 躍起させる一隊
 ケンボウテキ 片意的憲法 一人又は或
 志によりて成立したる所の
 憲法をいふ、即ち我が國の
 憲法の如きは片意的憲法の
 一なり
 ヘンエイ 片影 一片のかげ
 ヘンエキ 變易 うつりかはり
 ペンエキ 便益 つがふよきこと
 ヘンカ 變化 かはり
 ヘンカイ 邊海 あたりのらみ
 ヘンカイ 變改 あらためること
 ペンカイ 辯解 言ひ辯すること、訊
 無い斯々である或は左様では
 あるが其理由は云々と申述
 べることといふ

ヘンカク	變革	かへらためる
ヘンガク	扁額	がく
ヘンガラ	紅殻	印度のベンガラから来る赤黒い繪の具
ヘンカン	變換	かへること
ヘンカン	返還	もどしかへす
ヘンカン	返簡	へんじ
ヘンカン	冕冠	王の冠
ペンギ	便宜	たより、つがふ
ペンキ	番瀝青	Paint 塗料の名、油漆
ペンギシユ	便宜主義	犯罪を構成する被告の境遇、犯罪の動機、悔悟の状況等種々な事情に依り起訴しないでもよいといふ主義
ペンギシヨ	便宜處分	或る事件につき行政法規の存せざる場合、之に適用すべき
ヘンキヤク	返却	かへすこと
ヘンキョウ	邊境	くにぎかい
ヘンキョウ	偏境	かたみなか
ヘンクツ	偏屈	かたくな
ヘンケイ	變形	かへつたかたち
ヘンケイシ	變形修理	加工して形を變加工して役に立つ物に作り上げるをいふ例へば火薬の粒を粉末にするは變形、水分を含む火薬を乾燥するは修理である
ペンケイツ	景天	鐘慶草、草花の名
ヘンケン	偏見	ひがんだ見識
ヘンケン	變幻	形をかへること
ヘンケンジ	變權事實	權利を變更する原因となる事實、例へば債權の譲渡、債務の引受の如し
ヘンコ	偏固	かたくな
ヘンコ	變故	つねとかはつたこと
ヘンコウ	變更	一度確定したるものを後に至りて改むることをいふ
ペンコウ	辯口	しゃべること
ペンゴシ	辯護士	法律に依り一定の資格を有する者で、裁判所の命又は當事者の依頼を受けて訴訟事件其他法律事務を取扱ふを業務とするものである
ヘンサイ	變災	わざはひ
ヘンサイ	返濟	かへしすます
ヘンサイ	遍在	ひろく存在すること

ペンサイ	辨濟	債務者が債務の履行をいふ
ペンサイテ	辨財天	七福神の一
ペンサキ	洋筆先	べんぢくの先につけるもの
ペンサク	鞭策	むちうつ
ヘンサン	編纂	あみあつめる意味で、こしらへること
ヘンシ	變事	かはつたこと
ヘンシ	變死	天壽に依らずして他の不時の原因によりて死亡すること
ヘンシタイ	變死體	變死又は變死の疑ある死體をいふ
ヘンシタイ	變死體ノ檢視	病氣老衰無く他段、自殺の時ある死體をしらべて見ること
ヘンシツシ	變質者	過度の文明は、多し苦しめ、精神的にも肉體的にもいろいろと變質させたり、或ある者は病に發達し、或
ヘンシムツ	ソウザイ	者は退化した、これ等を總括して變質者といふ
ヘンシヤ	變死密葬罪	變死體を警察を經ないで埋葬する罪
ヘンシヤク	編者	書物をあんだ人
ヘンシユ	扁鵲	支那の古の名醫の名
ヘンシユ	騙取	かたりとること、だましてとるをいふ
ヘンシユ	拊手	手をうちつてよろこぶ
ヘンシユウ	扁舟	小舟
ヘンシユウ	偏執	頑固、かたいぢ
ヘンシユウ	編輯人	新聞紙の編輯即ち記事を集めこれを整理組立して新聞に刷る様にする名義人
ペンジョ	便所	かはや
ヘンシヨウ	返照	入目のひかり
ヘンシヨウ	泛稱	總稱
ペンショウ	辨償	特定の物を引渡すべし義務あるも、その物を引渡すこと不可能となりたる場合その代償として金銭を以てすること、又は他人の債務を代つて果すこと等に用ゐらるゝ語なり
ペンシン	偏身	半身
ペンシン	偏心	いちづに思ひこんだ心
ヘンシン	返信	返事
ペンジン	Benzine	石油精(揮發性石油の一種)、脂肪溶解等の效がある
ペンス	Pence	片、ペンニイの複數
ヘンスイ	邊陲	くにのはし
ヘンセイ	編制	くみたて
ヘンセツ	變節	みさを、かへること
ヘンセツ	變說	説をかへること

ペンゼツ	辯舌	辯口、べんこう
ヘンセン	變遷	うつりかはり
ヘンセン	蹁躚	舞などでたちめぐる
ペンソ	辯疏	いひわけ
ヘンソク	變裝	みなりをかへること 又銃砲火薬類取締法に於ては火薬類を火薬類でない様に装ふことを變装といふ
ヘンソク	變造	本物の一部を變更すること 本物の通貨變造に就ては本物の通貨の一部分を變更して他の通貨に似た物を作るをいふ
ペンゾール	Benzol	コールターからとる揮発性の軽油、油繪のペンキなどに混せて用ふ
ヘンソク	變則	かはつたきそく
ヘンダイ	篇題	表題
ヘンタイシ	變態心理	異常の心理、即ち夢中、睡眠中、
ヘンタク	變態性慾	同性愛又は異性法によつて性慾を満足する如きものをいふ
ヘンタク	貶謫	官をさげて邊國にうつす
ヘンタク	鞭撻	むちうつこと
ヘンタン	偏袒	かたはだぬぎ
ペンチ	鞭笞	むち
ペンチ	Bench	長椅子、腰掛、ロハ臺
ヘンチツ	篇帙	書物
ヘンチツ	貶黜	官を退けおとすこと
ペンチャラ	辯茶羅	おべんぢやら
ヘンチヨウ	偏重	かたよりおもんずる
ヘンテコ	變挺	へんなこと、かはつたこと
ペンテン	辨天	辨財天
ペンテン	便殿	高貴の御休所
ヘントウ	蓬豆	たかつきの類、禮器の名
ヘントウ	扁桃	木の名
ヘンドウ	變動	かはりうごくこと
ペントウ	辨當	行厨
ペンネイ	便佞	くちまへのよい人
ペン・ネーム	Pen-name	筆者の號
ヘンノウ	返納	かへしをさめること
ヘンバ	偏頗	或一方の利益を計るが如き不公平なことをいふ
ヘンバイ	返杯	かへすさかづき
ペンバクシ	辯駁書	新聞記事の事實は實證は斯々であるといつて辯駁を爲し世人の疑を解くことを求むる書面

ペンバクト	辯駁討論	辯論を討はすこと
ペンバツ	辨髮	毛をあみさげたる髮
ヘンビ	邊鄙	ゐな
ペンビ	便祕	大便の通ぜぬこと
ヘンブ	貼侮	けなされあなどられること
ペンブ	拊舞	手をうってまふこと
ヘンブク	邊幅	身のまはり
ヘンベイ	扁平	ひらたいこと
ペンベイ	便嬖	君にへつらひて氣に入る人
ヘンベキ	偏僻	こりかたまつたくせ
ペンベツ	辨別	わかまへわかつこと
ヘンベン	翩翩	鳥蝶などの舞ふさま
ペンベング	齊	草の名
ヘンボウ	邊防	國境のまもり
ヘンボン	鬮翻	ひるがへるさま
ヘンム	片務	一方ばかりつとめること
ヤクムケイ	片務契約	當事者の一方を負擔する契約又は雙方共に負擔する契約も其間に代價報酬の關係無きものをいふ
ペンメイ	辯明	あかりをたてること
ヘンメンコ	片面行爲	一人の意思表示する所の法律行爲をいふ
ペンモウ	辨妄	事のまぢがひをいひひらく
ペンモウ	便蒙	初學者にはやわかり
ヘンモク	篇目	表題
ヘンヨウ	邊要	國境の要害
ペンラン	便覽	便利に見られること
ヘンランシ	變亂終熄	戰爭其他の事態が全く済むこと
ユウソク	辨理	事務を取あつかふこと
ペンリ	辨理公使	國を代表して外國に駐在して外交事務を處理すること
ペンリコウ	公使と同一なれども異なる	全權
ペンレイ	勉勵	つとめはげむ
ヘンレキ	通歴	あまねくへめぐること
ヘンロ	通路	順路
ペンロ	便路	ちかみち、べんりなみち
ペンロン	辯論	訴訟法上辯論とは口頭辯論のことをいふ
ベア	「アル」を見よ	
ヘイカ	平價	「法定平價」の略語
サケ	平價切下	本位貨幣の含有する分量を引き下げることをいふ
サケ	平價切下	純金二分の一、銀二分の一、銅二分の一、ニッケル二分の一、アルミニウム二分の一、錫二分の一、鉛二分の一、その他を含有するものをいふ
サケ	平價切下	切り下げたこととなる、その結果外國貨幣との換算比率に影響を及ぼす、法定平價の項参照

帆 舟の
穂 稻などのほ
秀 めきいでて月につくこと、ひいづること
歩 あゆみ、あし、あゆみ
畝 かた
補 うね、せ
圃 すけ、添役
圃 はたけ
百 も、ひやく
ボア (婦人用)毛皮の襟巻
ホアイト・リスト White list 白表と譯す、資本家同志が、労働者を雇入れ、又は労働組合を組織するために作った表、即ち比較的合理的な労働組合や、運動者

ホアン ケイ 保安警察 特殊警察に對する行政に附隨するものでは無く一般の治安秩序に對する危険を豫防排除するが爲めに「害の行ふ所の事務は即ちこれである」

保安林 水害又は風致を損り行政権を以て其森林の伐採、開墾、採掘を禁ずることを得せしむる所の森林をいふ

補遺 漏れを補ふこと
布衣 いやしき身分のこと
Boycott 取引拒絶、不賣同盟、同盟罷交などいふ、地主主など對し同盟反抗して社會上業務上の關係を絶ち自己の利権を得るの目的

ボイヤル 遂遣 おひはらうに同じ
ボイラー Boiler 蒸気釜、汽罐、鍋や釜等にもいふ
ホイロ 焙爐 物を乾かす具
ボイン 母印 母指の先に肉をつけて押すはん
ボイン 母音 あいうえおのこと、母韻
ボインター Pointer 指すもの(物にも人にもいふ)、時計の針、また西洋種獵犬の一種(獵物の所在をその附近に立つて鼻先で知らせる)
ボインツ・マンツ Pointsman 鐵道の轉轍手
ポイント Point 尖端、場所、點、「音楽」音符、「印刷」活字の大きさをはかる單位、ボイント活字、肉細し、「鐵道」列車を甲線から乙線に移す裝置轉轍器

苞 木の名
朴 木の名
苞 花のつばみを保護する

ホウ 鷗 おほとり
ホウ 法 法學上用ひらる、法も大體法とは人類社會生活に於ける行為の規範にせしむるものなり

防遏 ふせぎ止めること
防遏抑止 ふせぎとめること
頰當 めんぼほ
方案 たくらみ
法案 法律の下がき
胞衣 えな
包圍 かこみつゝむ、一圍 攻撃
抱圍 かへこむこと
ボーイ 男の子、給仕
ホウイ 僧のころも

ボウイ 暴威 あら〜しいいきほ
ボウイガク 法醫學 醫學及び自然科学上の問題を研究し又は鑑識する醫學の一種なり
ボウイコツト Boycott 少年斥候團、少年義勇隊などと譯す、英國陸軍中將パーデン・パウエルが軍隊的に訓練せんとするのが第一の主要目的

放逸 ほしいま、
暴飲 多く飲むこと
法院 朝鮮慶州に於ける裁判所をいふ
暴雨 ひどいあめ
法會 佛法のまつり
泡影 水のあわと物のかけ
防衛 自己又は他人の危害を防止せんが爲に國

ボウエイキ 防衛行爲 他人の不法行為に對し自己又は第三者の權利を防禦する爲め己むを得ずして強行したる行為をいふ、強盜に運ひたる者がこれに抵抗して強盜に傷を負はしめたる行為の如し
防衛上 自分で自身を守る必要の爲めといふこと
貿易 外國人との通商
防疫 傳染病を豫防すること
法益 法律の保護する利益をいふ、生命身體自由財產貞操感情名譽信用の如し
法益享有者 法益を有つてゐる人
法益侵害 生命自由名譽財產の如き法律の保護する利益をわかし損ずること

ホウエキハ 法益剝奪 生命自由財産等を奪ふことをいふ
 クダツ 法悦 深き信仰から神佛に境に入る心のよるこひ
 ホウエツ 微笑 ほゝをむの音便
 ホウエツト 詩人、歌人
 ホウエム 微風 鳥の名
 ホーエム Poem 詩、歌
 ホウオウ 鳳凰 鳥の名
 ホウオク 茅屋 あばらや
 ホウオクキ 房屋給與 阿片を販ふ場所を貸し與へること
 ニウヨ 法貨 法律上有效な貨幣
 ホウカ 放火 火を放つて物を焼くこと
 ホウカ 邦家 國家
 ホウカ 放課 定時の課業の終るこ

ホウカ 烽火 のろし
 ホウカ 放歌 大聲でうたふこと
 ホウガ 萌芽 草木のめをふくこと
 ホウガ 奉加 神佛に寄進すること
 ホウカイ 法界 一節
 ホウカイ 崩壊 くづれこはれる
 ホウガイ 法外 理にはづれたこと
 ホウガイ 方外 論外、物外
 ホウガイ 妨害 主として正當なる他人の權利自由を妨げること用ひらる
 ホウガイ 妨碍 さまたぐること
 ホウガク 邦樂 日本固有の音樂
 ホウガク 方角 むき
 ホウカツ 包括 ひきくるめる

ホウカツイ 包括遺贈 遺言に依り財産を贈與すること
 ホウカツザ 包括財産 財産の全部といふ
 ホウカツシ 包括承繼人 包括受遺者とも云ひ包括遺贈を受くる者を云ふ
 ホウカツニ 包括的 俗に「一まとめ」の意味なり、特定の「引つくるめ」の意なり、特定の「引つくるめ」の意なり、特定の「引つくるめ」の意なり
 ホウカツテ 包括的權限 一般的に廣い權限のこと
 ホウカツテ 包括的承繼 一團として受けつぐことをいふ、個々の權利義務を一つ／＼受けつぐの義務を無く、一切の權利義務をひつつくめて一團として受けつぐをいふ
 ホウカツメ 包括名義 包括的名義と單に包括的と云ふと同意義に用ひらる
 ホウカブリ 頰被 ほほかぶりの音便
 ホウカブリ Vocalist 聲樂家

ホ(ウ)ソロ Voca-solo 獨唱
 ホウカン 放還 はなち歸す
 ホウカン 寶鑑 よいかゞみ
 ホウカン 砲艦 軍艦の一種
 ホウカン 奉還 かへしたてまつる
 ホウカン 幫間 たいこもち
 ホウカン 芳翰 他人の手紙の尊稱
 ホウカン 包含 ふくむこと
 ホウカン 傍觀 そばでみること
 ホウカン 暴漢 あばれもの
 ホウカン 坊間 まちなか
 ホウカン 某官心得 主任官に代つて理事すること命ぜられたる官吏の名稱

ホウカンシヤ 傍觀者 傍で見てみる者
 ホウカンシ 寶冠章 婦人の佩用する勳章の一種
 キタイド 傍觀的態度 傍觀者の位置にあつて即ちある事物なり事件なり對してその渦中に入らず、むしろ冷やかな態度をとること
 ホウキ 拋棄 或行爲を爲す權利を棄てること
 ホウキ 放棄 拋棄に對する語、放棄するに用ひられ、放棄は無形物を打ち棄つるに用ひらる
 ホウキ 帝 ははきの音便
 ホウキ 芳紀 女のとしごろ
 ホウキ 蜂起 むらがりおこる
 ホウキ 耄期 おいぼれたとき
 ホウギ 謀議 はかりごとの評議

ホウキ 法規 法律規則の意に同じに使用せらるる、同一
 ホウキ 寶器 たからとなる道具
 ホーギー車 Boiler car 固定しないやうに取付けられた電車又は汽車の車輛、方向を變へるのに便利のため、動搖の少ないのが特徴
 ホウギサン 謀議參與者 參謀、部長の如きをいふ
 ホウキセイ 法規制定權 命令を制定し發布する權
 ホウキボシ 帝星 彗星
 ホウキメイ 法規命令 法規の性質を有する命令、即ち國民共同生活上の規則命令なり
 ホウギヤク 暴虐 ひどくいぢめる
 ホウギヤク 暴逆 手あらしこと
 ホウキユウ 俸給 官吏の職務上の義務履行に對する對償と